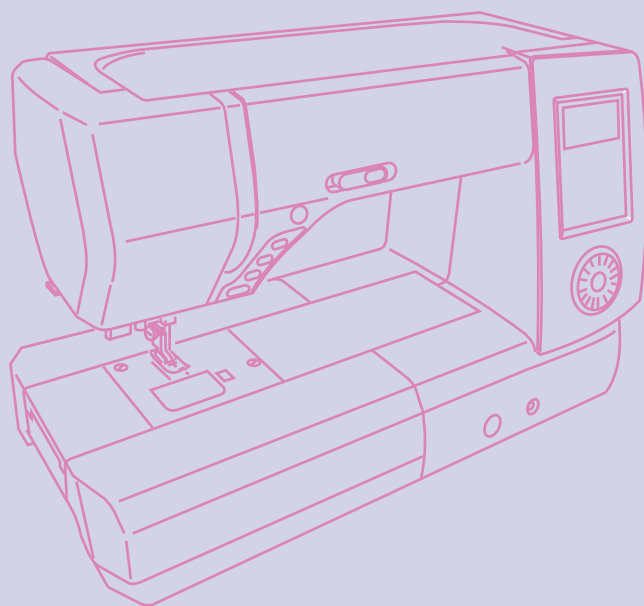
使い方の手びき

《取扱説明書》

Memory Craft 7700

JANOME

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。　FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示

警告　この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本文中の図記号の意味

	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。（左図の場合は一般的な注意）
	⃠記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。（左図の場合は分解禁止）
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。（左図の場合は一般的な強制）

⚠ 警告　感電・火災の原因になります。

必ず実行　一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。

必ず電源プラグを抜く　以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき
⚠ 注意　感電・火災・けがの原因になります。

分解禁止　お客様自身での分解はしないでください。
接触禁止　ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
禁止　ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

禁止　フットコントローラーの上に物をのせないでください。

禁止　曲がった針や、先のつぶれた針はご使用にならないでください。
禁止　このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。
付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。

注意　感電・火災・けがの原因になります。

注意　お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
必ず実行　ミシンの通風口はふさがないでください。
また、プラグ受けに糸くずや、ほこりがたまらないようにしてください

必ず実行　針および押さえは、確実に固定してください。
また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。

必ず実行　以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。
・押さえ、アタッチメントを交換するとき
・上糸、下糸をセットするとき

必ず実行　電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。

必ず電源プラグを抜く　以下のことをするときには、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
・ミシンのお手入れを行うとき
・針、針板を交換するとき

必ず電源プラグを抜く　ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
・正常に作動しないとき
・水にぬれたとき
・落下などにより破損したとき
・異常な臭い・音がするとき
・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目 次

◎お取り扱いについてのお願い 2
◎各部の名まえ 3
◎標準付属品と収納場所 .... 4～5
●標準付属品 4
●補助テーブル 5
●押さえポケットの付属品収納 5
◎操作方法 .... 6～30
●電源のつなぎ方 6
★「スタート／ストップボタン」を使用する場合 6
★フットコントローラーを使用する場合 6
●速さの調節 7
★スピードコントロールつまみ 7
★フットコントローラー 7
●操作ボタンのはたらき .... 8～9
●ジョグダイヤルと確定ボタンのはたらき 9
●押さえ上げ 10
●ニーリフトの取り付け 10
●操作パネルキーのはたらき .... 11～12
●押さえの外し方、付け方 13
●押さえホルダーの外し方、付け方 13
●上送り押さえと上送り装置のセット方法 14
★上送り押さえの取り付け方 14
★上送り装置のセット 14
●上送り装置のもどし方と
上送り押さえの外し方 15
★上送り装置のもどし方 15
★上送り押さえの外し方 15
●下糸の準備をしましょう .... 16～18
★ボビンを取り出します 16
★糸こまをセットします 16
★補助糸立て棒の利用 16
★ボビンに糸を巻きます 17
★ボビンを内がまにセットします 18
●上糸の準備をしましょう .... 19～21
★上糸をかけます 19
★糸通しの使い方 20
★下糸の引きあげ方 21
●針の取りかえ方 22
● 布に適した糸や針を選ぶ目安 22
●糸調子の合わせ方 23
★自動糸調子 23
★マニュアル糸調子 23
●押さえ圧調節ダイヤルの使い方 24
●送り歯のさげ方 24
●模様の選び方（もよう選択キーの使い方）........................ 25
●説明ボタン 26
●ミシンのお好みセット .... 27～30
◎実用ぬい .... 31～50
●直線ぬい .... 31～34
★針板ガイドラインの利用 32
★直線模様の針位置をかえるとき 33
★ぬい目のあらさをかえるとき 33
★ぬい目幅、ぬい目のあらさオート値変更........................ 34
★オート値を初期の状態
（購入時のセット状態）にもどす場合 34
★直線ぬい用針板の切りかえ方 .... 35～36
●その他の直線状模様 .... 37～38
●上送り押さえの使い方 39
★上送り調節ダイヤル 39
●しつけぬい 40
●ジグザグぬい 41
●かがりぬい 42
●その他のかがりぬい 43
●ファスナー付け .... 44～46
●三つ巻きぬい 47
●まつりぬい .... 48～49
●シェルタック 50
◎ボタンホール(BH) .... 51～67
●ボタンホールの種類と用途 51
●スクエアボタンホール .... 52～56
★ぬい方 .... 52～54
★芯入りボタンホール 55
★ボタンホールの幅をかえるとき 56
★ボタンホールのあらさをかえるとき 56
●スクエア（メモリー）
ボタンホール（MEM) .... 57～58
●ラウンドボタンホール 59
●キーホールボタンホール 59
●ニットボタンホール 60
●たまぶちボタンホール .... 61～62
●ボタン付け 63
●ダーニング .... 64～65
●かんぬき止め 66
●アイレット 67
◎アップリケ 68
●アップリケ 68
◎ 伝統的模様........................ 69～70
●スモッキング 69
●ファゴティング 69
●スカラップ 70

目　次

◎キルト .... 71～73
●針板角度目盛りの利用 71
●地ぬい 71
●パッチワーク 71
●キルティング 72
●フリーキルティング 73
●ワンポイント（とじぬい） 73
◎サテン .... 74～80
●ワンサイクルぬいの例 74
●組み合わせ（記憶）連続模様ぬいの例 .... 75～76
●模様の長さ調節 76
●反転を使った連続模様ぬいの例 77
●模様長さ表示の機能説明 78
●記憶ぬいを途中でやめたとき 79
●コーディング 80
◎つなぎ模様 81
●つなぎ模様 81
◎飾り模様 .... 82～83
●直線模様（フレンチノット）の記憶 82
●ボーダーガイド押さえの使い方 83
◎文字ぬい .... 84～89
●文字選択 84
●ぬい例 .... 85～89
★ひらがな（ヨコ / タテ） .... 85～87
★文字サイズの縮小 88
★ひらがな、漢字の組み合わせ 89
◎編集機能（1） .... 90～91
●記憶の確認 90
●記憶の修正 .... 90～91
★模様の削除 90
★模様の挿入 91
★模様のコピー（記憶） 91
◎編集機能（2） .... 92～94
●統一マニュアル方式 .... 92～93
●個別マニュアル方式 94
◎保存 / 呼出し機能 .... 95～96
●模様の保存 95
●模様の呼出し 96
◎２本針ぬい .... 97～98
◎模様の形の整え方 99
◎ミシンのお手入れ 100
●かまと送り歯、糸切り部の掃除 100
●内がまと針板の組み付け 100
◎こんな表示が出た場合 .... 101～102
★ブザー音の種類 102
◎ミシンの調子が悪いときの直し方 103
◎オプション品の紹介 .... 104～108

◎お取り扱いについてのお願い

◇ご使用の前に

① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。

② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

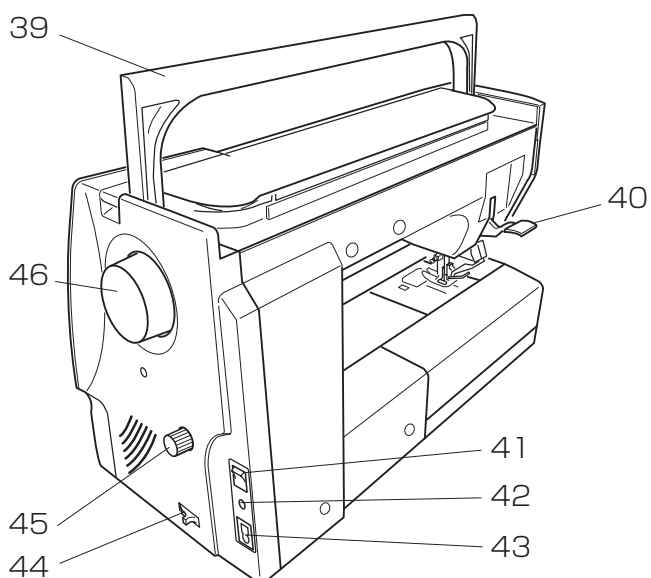
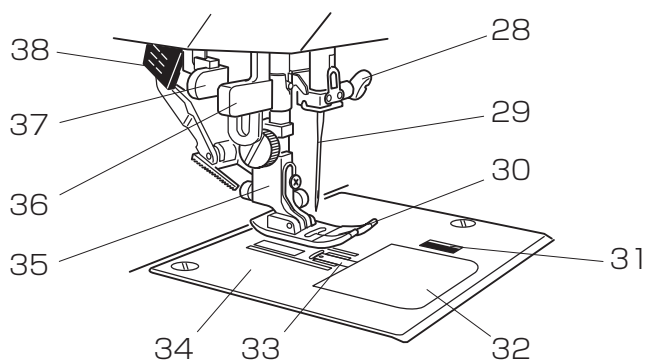
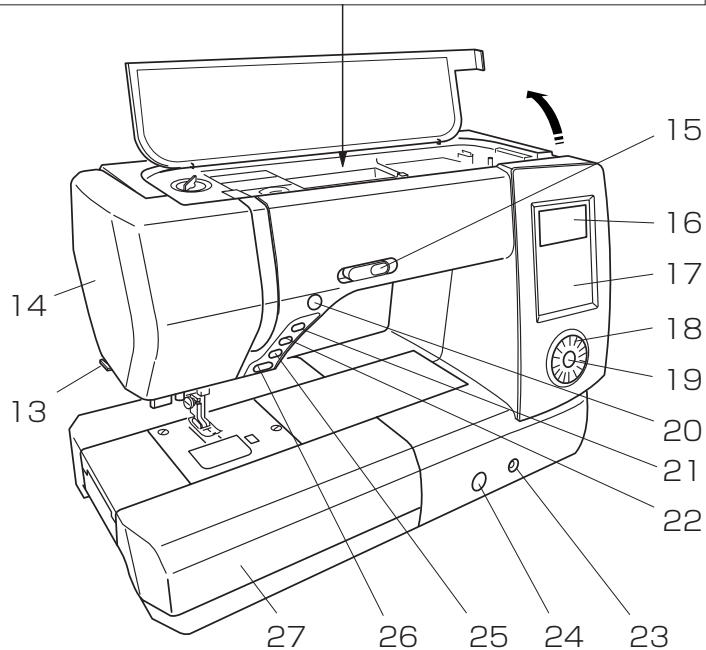
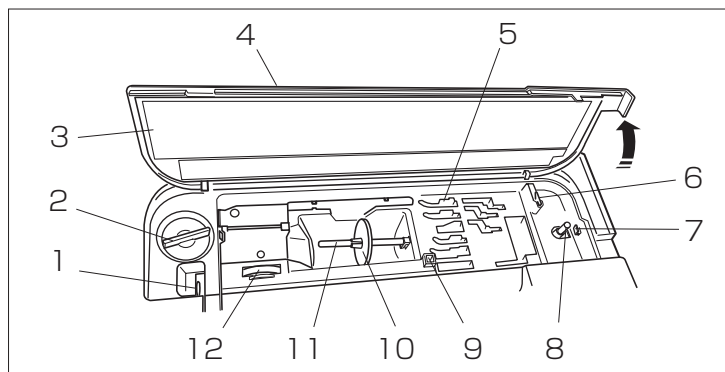
① 長時間日光に当てないでください。

② 湿気やほこりの多いところは避けてください。

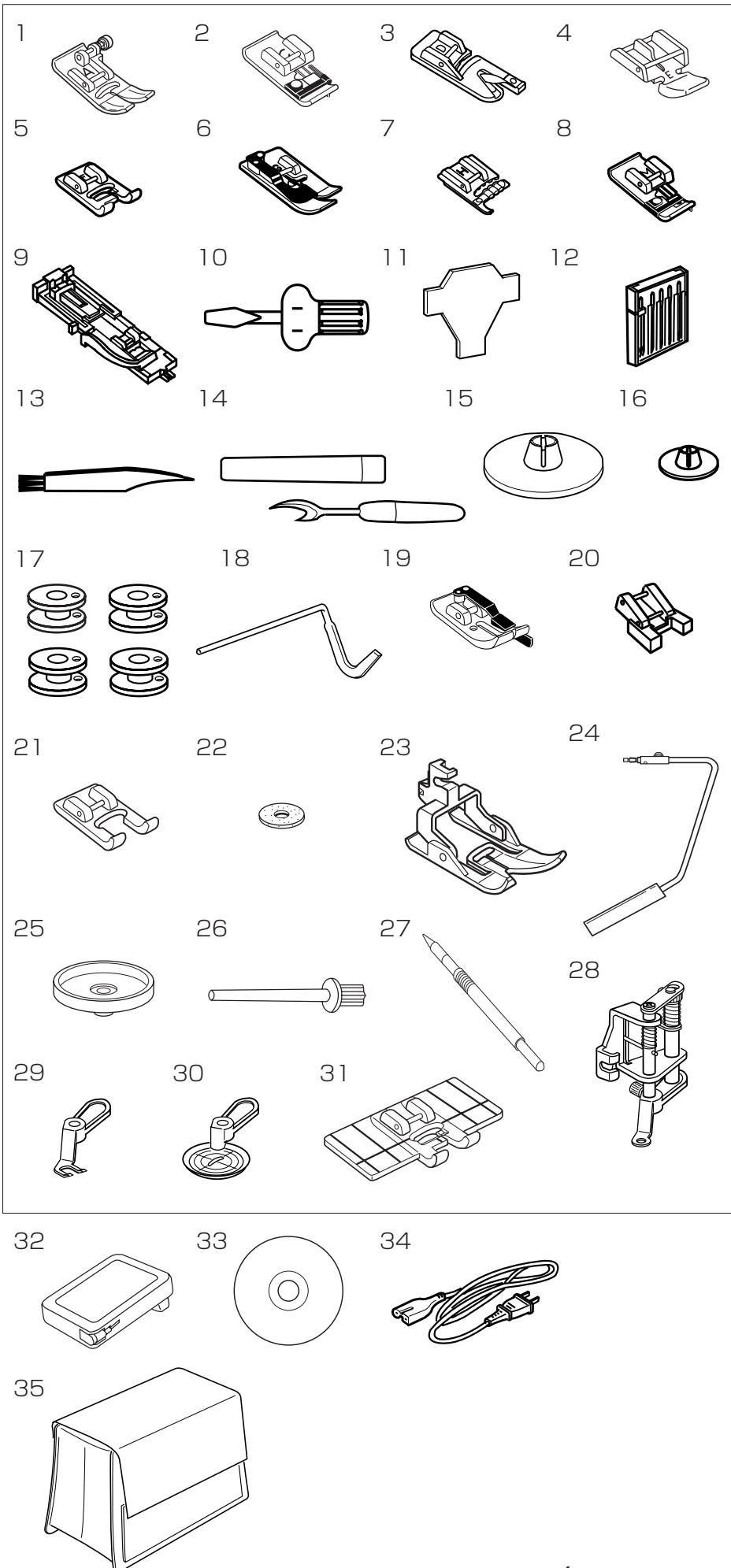
③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

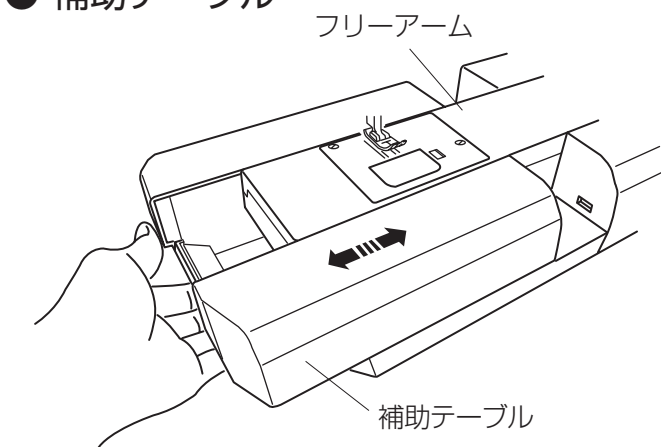
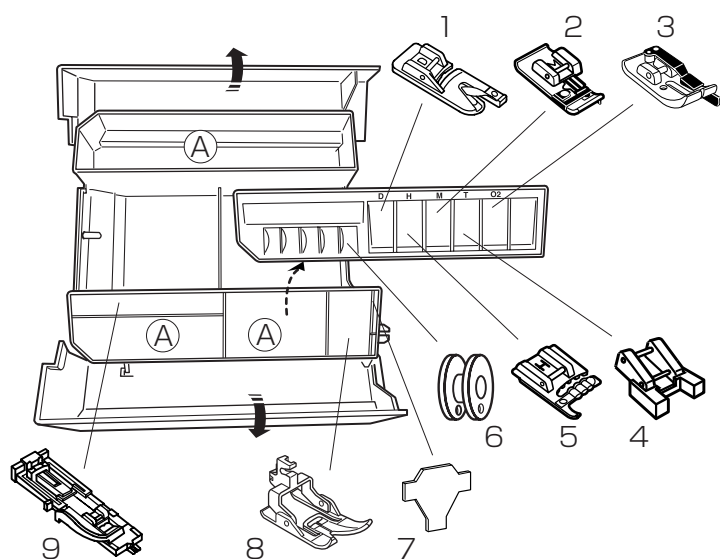
◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたときは、「こんな表示が出た場合」（101～102ページ）や「ミシンの調子が悪いときの直し方」（103ページ）により点検・調整を行ってください。

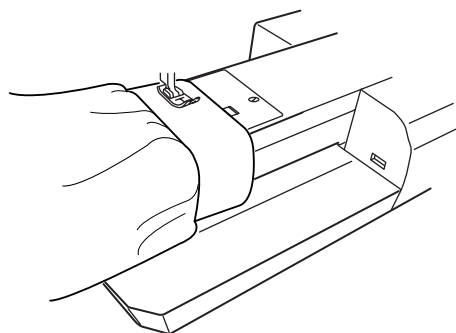
◎各部の名まえ

1. 天びん
2. 押さえ圧調節ダイヤル
3. 早見板
4. 天板
5. 押さえポケット
6. 糸切り（下糸巻き用）
7. ボビン押さえ
8. 糸巻き軸
9. 補助糸立て棒取り付け穴
10. 糸こま押さえ（大）
11. 糸立て棒
12. 糸調子ダイヤル
13. 糸切り
14. 面板
15. スピードコントロールつまみ
16. 表示画面
17. 操作パネル
18. ジョグダイヤル
19. 確定ボタン
20. 糸切りボタン
21. 上下停針ボタン
22. 止めぬいボタン
23. ニーリフト取り付け口
24. 送り調節ねじ
25. 返しぬいボタン
26. スタート／ストップボタン
27. 補助テーブル
28. 針止めねじ
29. 針
30. 押さえ
31. 角板開放ボタン
32. 角板
33. 直線ぬい用針板
34. 針板
35. 押さえホルダー
36. 糸通し
37. ボタンホール切りかえレバー
38. 上送り装置
39. 手さげハンドル
40. 押さえ上げ
41. 電源スイッチ
42. フットコントローラープラグ受け
43. プラグ受け
44. ドロップつまみ
45. 上送り調節ダイヤル
46. はずみ車

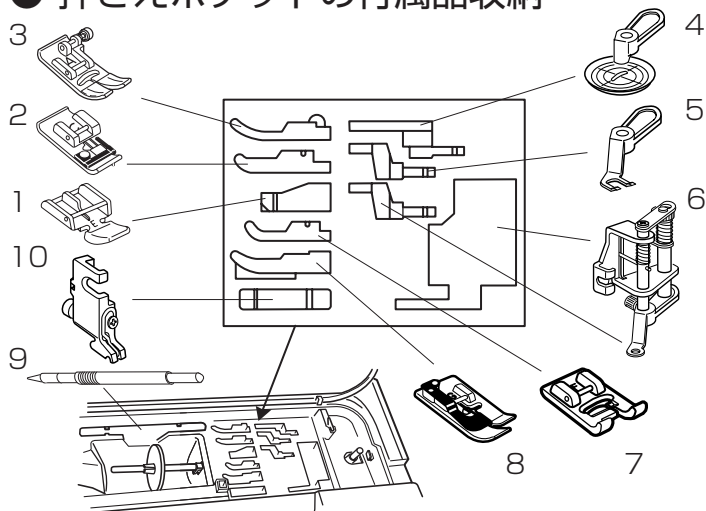
◎標準付属品と収納場所

● 標準付属品

1. A：基本押さえ
※ミシン押さえホルダーに付いています。
2. C：たち目かがり押さえ
3. D：三つ巻き押さえ
4. E：ファスナー押さえ
5. F：サテン押さえ
6. G：まつりぬい押さえ
7. H：ひも付け押さえ
8. M：縁かがり押さえ
9. R：ボタンホール押さえ
10. ドライバー
11. ドライバー（板金）
12. 針ケース
13. ミシンブラシ
14. シームリッパー
15. 糸こま押さえ（大）
※ミシン糸立て棒に付いています。
16. 糸こま押さえ（小）
17. ボビン
※もうひとつは、ミシン内がまに入っています。
18. L：キルター
19. O2：パッチワーク押さえ
20. T：ボタン付け押さえ
21. F2：クラフトＦ押さえ
22. フェルト
23. AD：上送り押さえ
24. ニーリフト
25. 糸こま受け台
26. 補助糸立て棒
27. タッチペン
28. QB-H:交換式フリーキルト押さえ (丸穴押さえ付き)
29. 前あきフリーキルト押さえ
30. 透明樹脂フリーキルト押さえ
31. ボーダーガイド押さえ
32. フットコントローラー
33. 説明DVD
34. 電源コード
35. ミシンカバー

● 補助テーブル

【補助テーブルの外し方】
補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。
※補助テーブルを取り付けるときは、フリーアームにそわせて取り付けます

【補助テーブルの付属品収納】

1. D：三つ巻き押さえ
2. M：縁かがり押さえ
3. O2：パッチワーク押さえ
4. T：ボタン付け押さえ
5. H：ひも付け押さえ
6. ボビン
7. ドライバー（板金）
8. AD：上送り押さえ
9. R：ボタンホール押さえ

※その他の小物は、Ⓐ 部に収納できます。

【フリーアームの使い方】
そでぐちやすそなどのぬい、および、ふくろ物のくち端の始末に利用します。

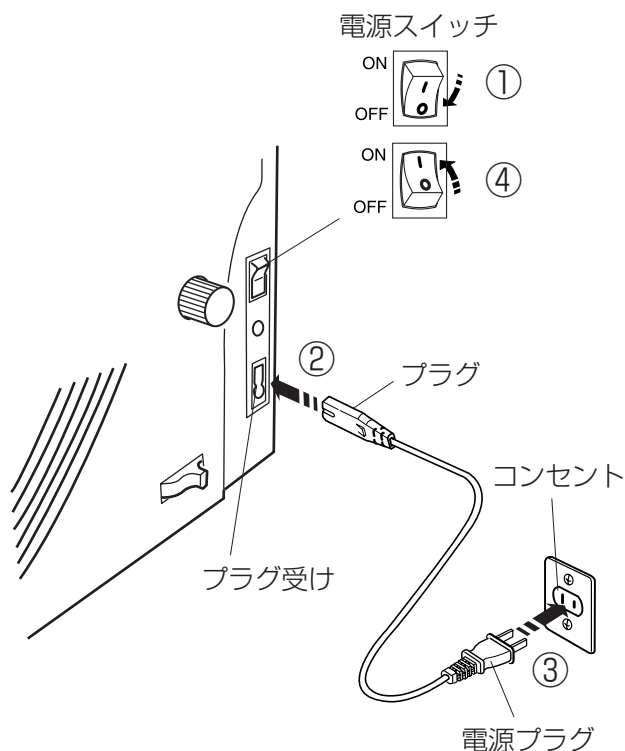
● 押さえポケットの付属品収納

【押さえポケットの収納】

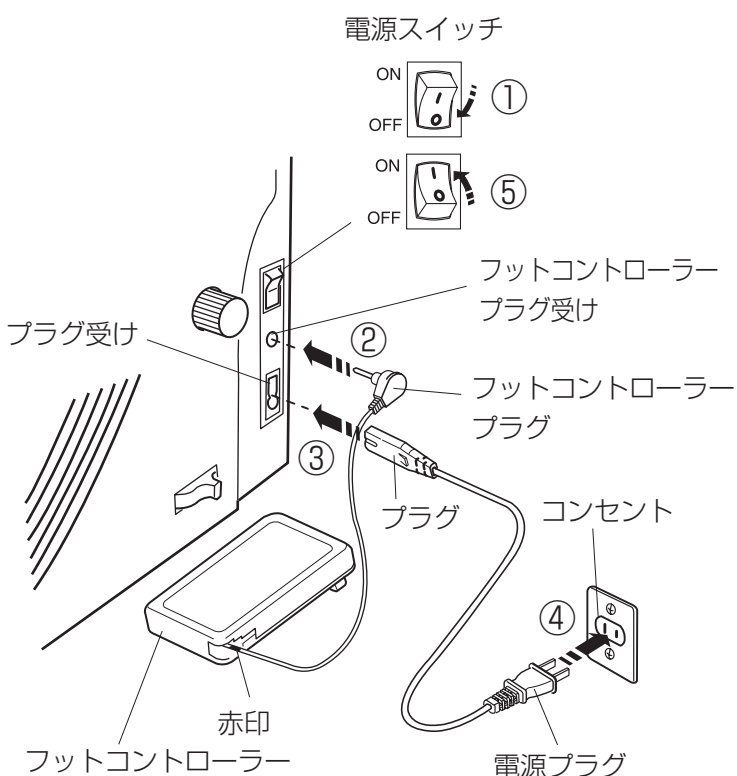
1. E：ファスナー押さえ
2. C：たち目かがり押さえ
3. A：基本押さえ
4. 透明樹脂フリーキルト押さえ
5. 前あきフリーキルト押さえ
6. QB-H：交換式フリーキルト押さえ
7. F：サテン押さえ
8. G：まつりぬい押さえ
9. タッチペン
10. 押さえホルダー

◎操作方法

● 電源のつなぎ方

⚠ 警告

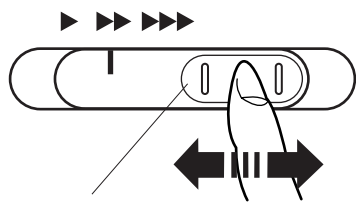
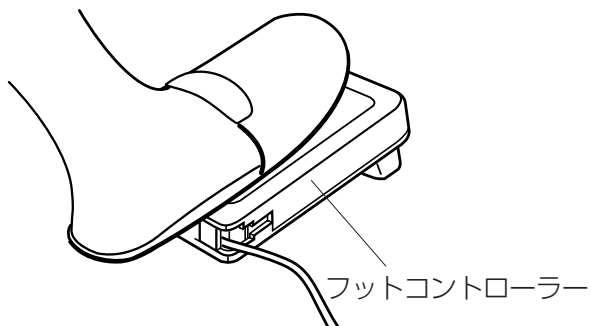
・電源は一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
・ミシンを使わないときは必ず電源スイッチを「OFF」（切）にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電・火災の原因**になります。
・電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどが付着していると、湿気などにより絶縁不良となり、**火災の原因**になります。

★「スタート／ストップボタン」を使用する場合

① 電源スイッチを「OFF」（切）にします。
② プラグをプラグ受けに差し込みます。
③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
④ 電源スイッチを「ON」（入）にします。

★フットコントローラーを使用する場合

（フットコントローラーはモデルにより、オプションになります。）

① 電源スイッチを「OFF」（切）にします。
② フットコントローラープラグをフットコントローラープラグ受けに差し込みます。
③ プラグをプラグ受けに差し込みます。
④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
⑤ 電源スイッチを「ON」（入）にします。

※ フットコントローラーを使用する場合は「スタート/ストップボタン」は作動しません。
※ コードを引き出したときに赤印以上は引き出さないでください。

●速さの調節

★スピードコントロールつまみ

ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。
左側に動かすと遅く、右側に動かすと速くなります。

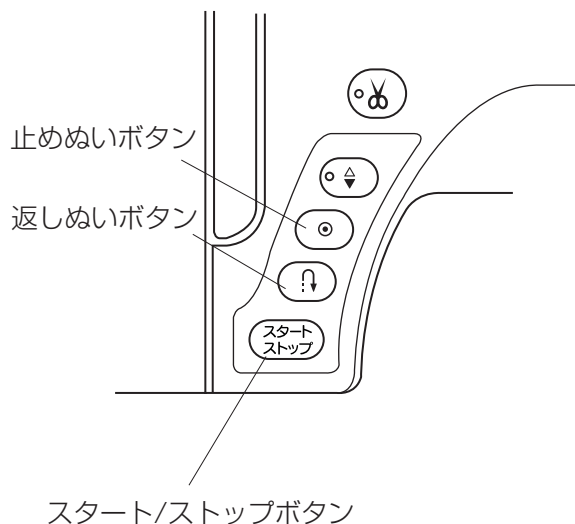
★フットコントローラー

フットコントローラーを使用するときは、スピードコントロールつまみを ▶▶▶ にセットします。フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節できます。
フットコントローラーをはなすと、通常、針が上の位置で止まります。

深く踏む→速くなる。
浅く踏む→遅くなる。

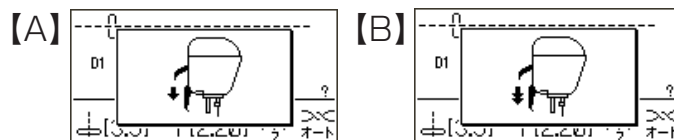
※ スピードコントロールつまみでセットした位置はフットコントローラーをいっぱいに踏み込んだときの最高速度になります。

⚠ 注意
フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。ケガや故障の原因となります。

●操作ボタンのはたらき

【スタート / ストップボタン】

ボタンを押すと、ゆっくり動き出し、スピードコントロールつまみでセットした速さで動きます。もう一度押すとミシンは止まります。
ボタンを押しつづけている間は、ミシンはゆっくり動きます。

※ スタート / ストップボタンを使用するとき、フットコントローラーの接続は外してください。

※ 押さえ上げをさげないでミシンをスタートしたとき【A】注意画面が表示されます。また、押さえ上げが補助リフト位置にあるときに、スタート / ストップボタンを押すと【B】注意画面が表示されます。
押さえ上げをさげてスタートしてください。
（押さえ上げ位置は、10ページをごらんください。）

※ 運転中はボタンが赤色に点灯します。
停止中はボタンが緑色です。

【返しぬいボタン】

《運転中の返しぬい》

模様 D1S D1 D4 9 10 11 93 151 152 153 154 は、ボタンを押しているあいだ返しぬいをします。その他の模様のときには、ボタンを押すとすぐに止めぬいをして自動的に止まります。

《停止中の返しぬい》（スタート / ストップボタン使用時のみ）
ミシンが動いていない状態で返しぬいボタンを押すと返しぬいをし、指をはなすと止まります。

【止めぬいボタン】

模様 D1S D1 D4 9 10 11 93 151 152 153 154 155 156 は、運転中にボタンを押すと数針止めぬいをして自動的に止まります。
その他の模様のときには模様を完成させたあと止めぬいをし、自動的に止まります。

【上下停針ボタン】

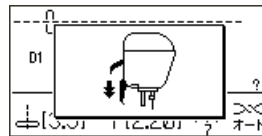
ミシンが止まっているときボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に切りかえて上下停針ランプが点灯し、下にあるときは上に切りかえて上下停針ランプが消灯します。

※ 運転中でも停止位置の切りかえができます。

※ 上位置に切りかえた状態でぬうと、ミシンを止めたとき針は上位置で止まり、下位置に切りかえた状態でぬうと針は下位置で止まります。

※ 下位置に設定しておいても、糸切り後とボタンホール、ダーニング、文字をぬい終わったときは上位置で止まります。

※ 押さえ上げが補助リフト位置にあるときに上下停針ボタンを押すと、下の【B】注意画面が表示されます。
押さえ上げを普通にあげた位置にしてください。

【B】

【糸切りボタン】

ぬい終わったあとに押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。
糸切り中は糸切りランプが点滅します。

【糸切りの注意事項】

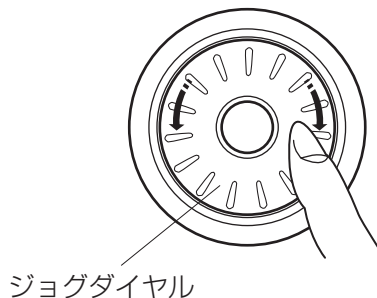
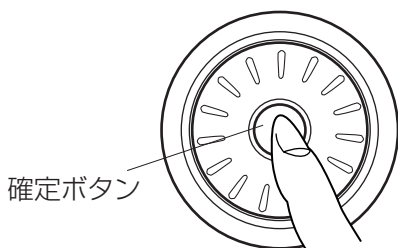
※ 30番および30番より太い糸、または特殊糸を切るときには面板に付いている糸切りを使用してください。

※ 糸切り後は下糸を引き出さなくてもぬうことができます。

※ 糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になりますので、「ミシンのお手入れ」を参考に糸くずを取り除いてください。
（100 ページをごらんください。）

※ 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。

※ 糸が切れず糸がからんでしまった場合は電源を切り、針板を外して、からんでる糸を取り除いてください。（100 ページ参照）

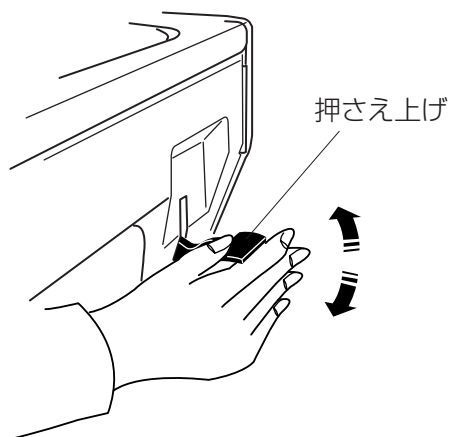
●ジョグダイヤルと確定ボタンのはたらき

【ジョグダイヤルのはたらき】

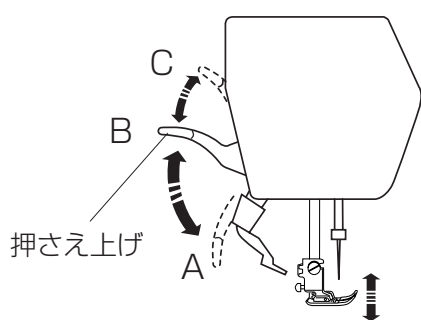
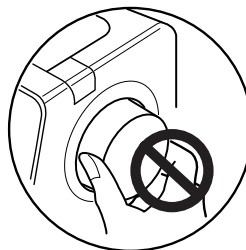
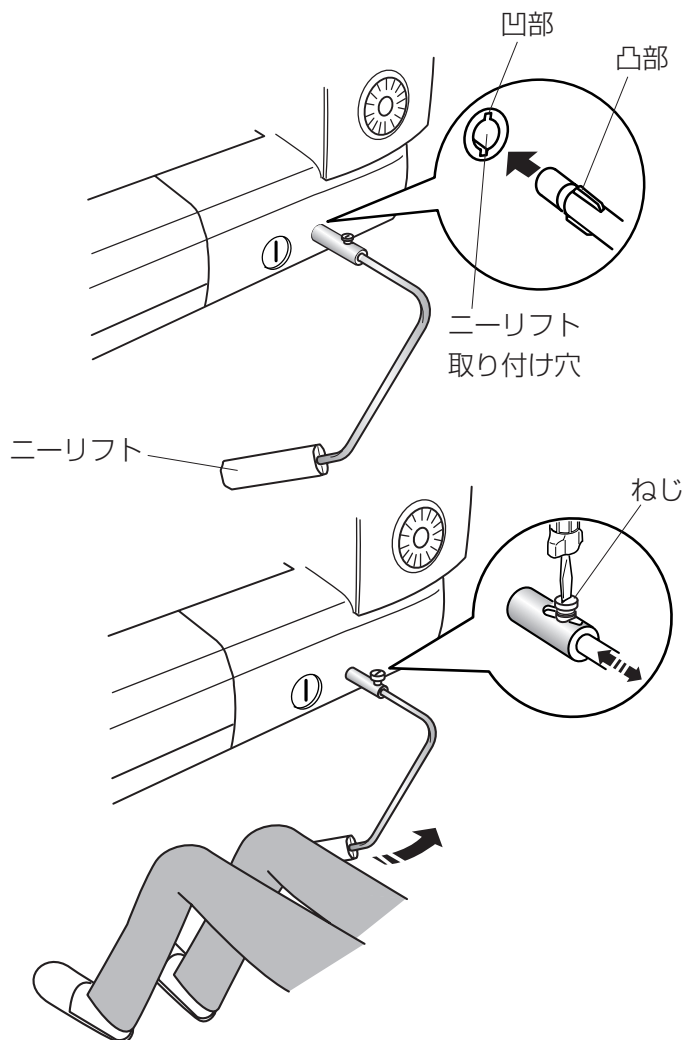
ジョグダイヤルは時計方向、反時計方向にまわします。

1. 模様を選ぶときには、模様アイコン、または模様を移動させて選ぶことができます。
2. 文字ぬいのときは、カーソルを移動させて文字を選ぶことができます。
3. ミシンのお好みセットでは、カーソルを移動させて設定項目を選びます。
4. 保存／呼出機能では、保存している模様を表示させます。

【確定ボタンのはたらき】

確定ボタンはジョグダイヤルで選んだ項目の確定をします。

●押さえ上げ

押さえ上げで、押さえのあげさげを行ないます。
普通にあげた位置よりさらにあげることもでき、上送り装置のセットや厚い布を入れるときの補助リフトとして使用します。

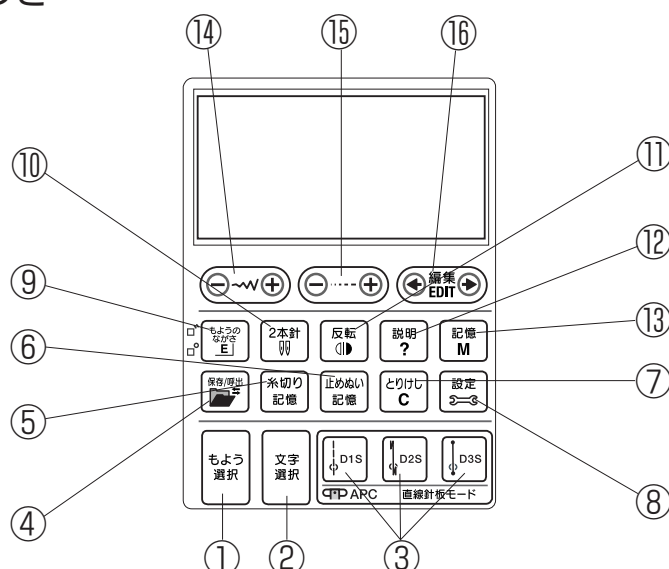
A さげた位置 .... ぬうときはさげておきます
B 普通にあげた位置 ...... 布の出し入れや押さえの交換のときにあげます
C さらにあげた位置 ...... 上送り装置をセットするとき（補助リフト位置） または厚い布を入れるときにあげます

※Cのさらにあげた位置（補助リフト位置）では手ではずみ車をまわさないでください。

●ニーリフトの取り付け

ニーリフトは手を使わずに押さえのあげさげができるので、キルトなどをぬうときに使うと便利です。

取り付けは、ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

ニーリフトの角度調節は、ねじをゆるめ、ニーリフトの出し入れをして、お好みの位置でねじをしめます。

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり、もどすと押さえがさがります。

※ ぬい途中はニーリフトにふれないようにしてください。

●操作パネルキーのはたらき

①もよう選択キー（25 ページ参照）

模様のカテゴリ選択画面を開きます。

②文字選択キー（84 ページ参照）

文字ぬいに使います。

③直線針板模様のダイレクト選択キー（35 ページ参照）

ダイレクト選択で直線針板専用模様が選べます。

④保存／呼出キー（95 、96 ページ参照）

模様を記憶または編集したあとに保存するときに使います。
保存した模様を呼び出すときにも使います。

⑤糸切り記憶キー（76、87 ページ参照）

記憶した模様の終わりにボタンを押します。ぬいが終わると止めぬいをして自動的に糸切りを行います。
ボタンを押すと、糸切りボタンの糸切りランプが点灯して糸切りを記憶したことを示します。

⑥止めぬい記憶キー（74 ページ参照）

記憶した模様の最後に押しておくと、ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

⑦とりけしキー（26、30、90 ページ参照）

ボタンを押すと記憶した模様を 1 つ取消します。
ボタンを長く押しているとブザーが「ピピッ」と鳴って記憶した模様がすべて取り消されます。
説明画面などを閉じる場合にも使用します。

⑧設定キー（27 ページ参照）

ミシンをお好みのセットにするとき使います。

⑨もようのながさ調節キー（76、85 ページ参照）

サテン模様の模様の長さをかえるときに使います。

文字ぬいのときには、濁点、半濁点に使います。

⑩ 2 本針キー（97 ページ参照）

2 本針ぬいをするときに使います。

⑪反転キー（77、79 ページ）

模様を選んでからボタンを押すと選んだ模様を反転します。
記憶ぬいを途中で止めたときに押すと、ぬいかけた模様のはじめにもどります。（途中頭出し）

⑫説明キー（26 ページ参照）

ぬい情報が表示されます。

⑬記憶キー（27、74、79、88 、91、95 ページ参照）

模様を選んでからボタンを押すと、ボタンを押した数だけその模様を記憶します。
さらに他の模様を選んでから記憶ボタンを押すと、前の模様に続けて次に選んだ模様を記憶します。（最大 50 個）
記憶ぬいを途中で止めたときに押すと、記憶模様のはじめにもどります。（先頭頭出し）
ミシンのお好みセットでは、確定キーの役割をします。
模様を選んで記憶キーを押すと、編集モードになります。

⑭ぬい目の幅調節キー（33、34、41、56、88 ページ参照）

ぬい目の幅または直線ぬいの針位置をかえるときに使います。

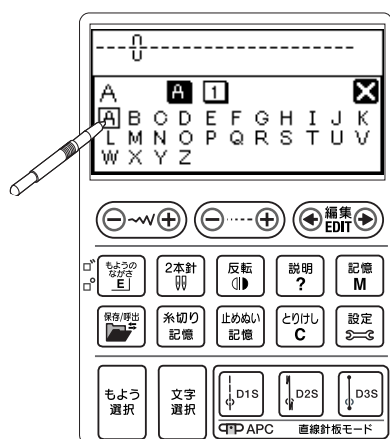
文字ぬいのときには、文字サイズの縮小に使います。

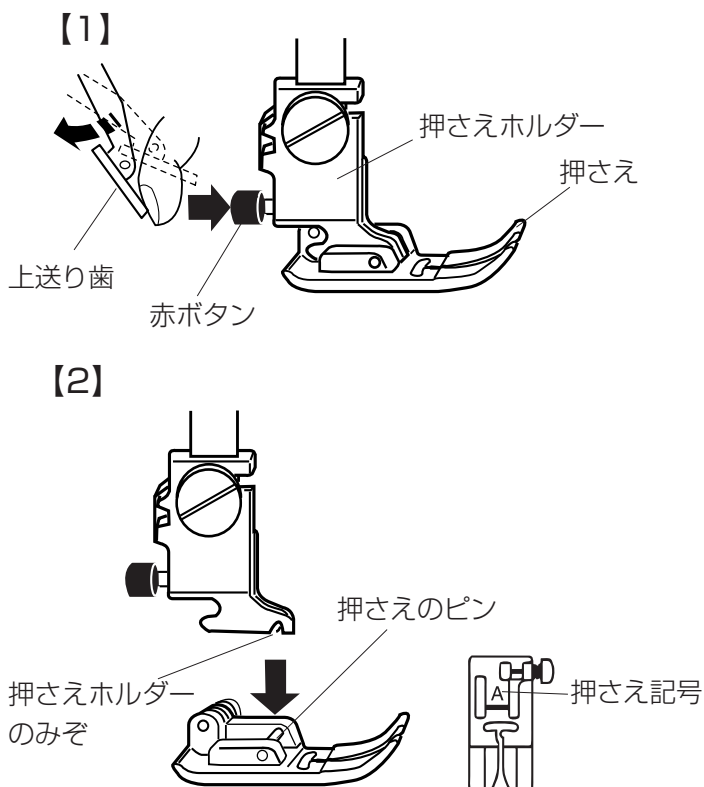
⑮ぬい目のあらさ調節キー（33、34、41、56、67 ページ参照）

ぬい目のあらさをかえるときに使います。

⑯編集キー（25、90 ページ参照）

記憶した模様の確認、削除、追加などの編集をするときのカーソル移動に使います。
カテゴリ選択画面と、模様選択画面のカーソル移動に使います。

【操作パネルの押し方】（タッチペンの使い方）

タッチペンは､操作パネルや画面のキーを選ぶときに使用します｡
※とがったもので画面にふれると故障の原因になります。

●押さえの外し方、付け方

> ⚠ 注意
> 押さえの取り外し、取り付けは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。ケガの原因になります。

【1】

【2】

【1】押さえの外し方

① 針を上げ、押さえ上げをあげます。

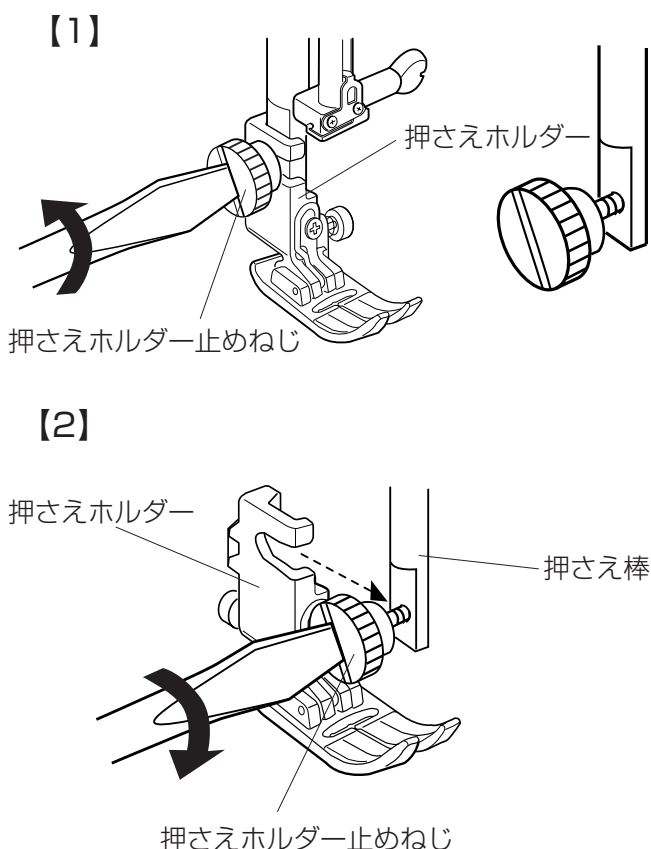
② 押さえホルダーの赤ボタンを押して、押さえを外します。

※ 赤ボタンが押しづらいときは、上送り歯を押さえホルダーの赤ボタンを押せる程度に少し持ちあげて外します。

【2】押さえの付け方

押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをさげます。

※ 押さえには、記号が付いていますので模様に合ったものを使用してください。

●押さえホルダーの外し方、付け方

> ⚠ 注意
> 押さえホルダーの取り外し、取り付けは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
> ケガの原因になります。

【1】

【2】

【1】押さえホルダーの外し方

① 針をあげ、押さえ上げをさげます。
ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめます。

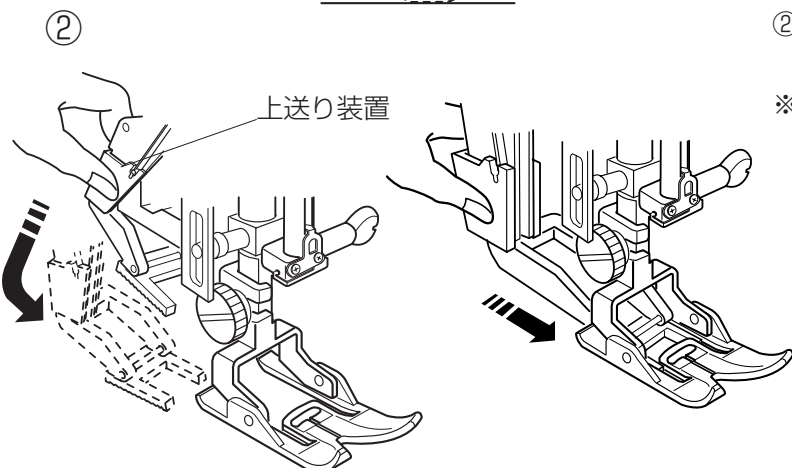
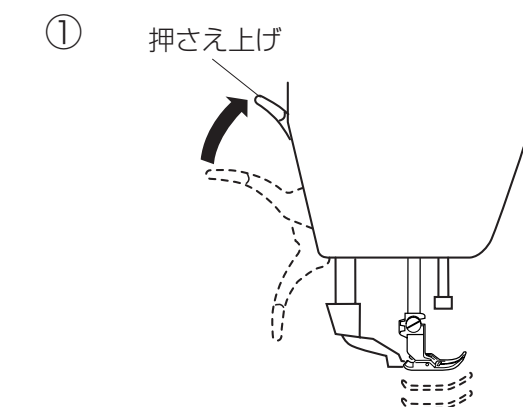
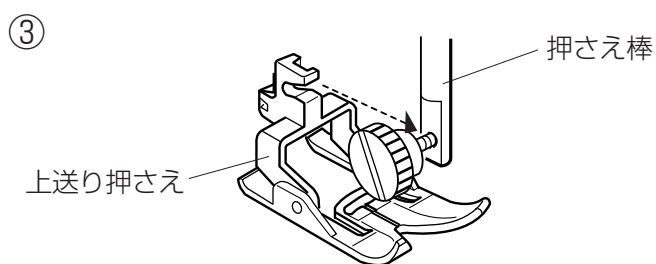
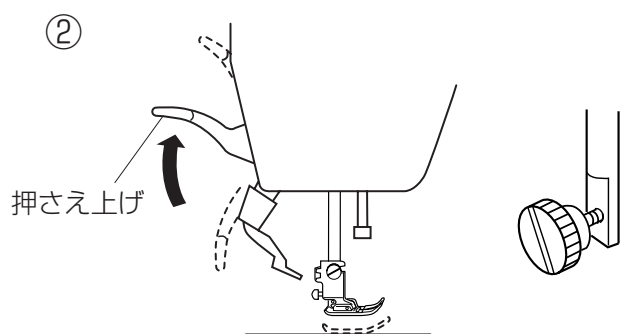
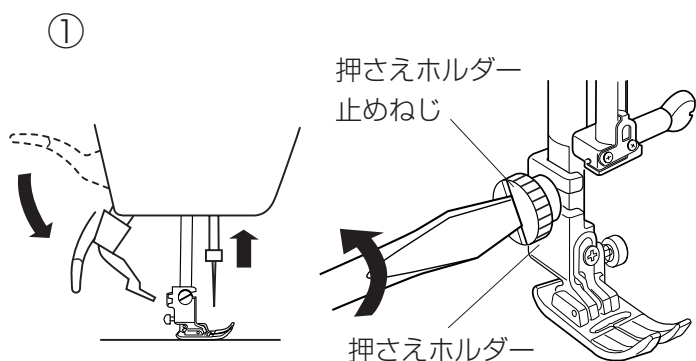
② 押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじを指で左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。

※ 押さえホルダー止めねじが外れたときには、押さえ上げをさげてから取り付けてください。

【2】押さえホルダーの付け方

① 押さえ上げをあげます。
押さえホルダーを押さえ棒に取り付け、押さえホルダー止めねじを押さえホルダーに軽くふれる位置まで右にまわします。

② 押さえ上げをさげ、針板上面で押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

●上送り押さえと上送り装置のセット方法

上送り装置を使用するときには、上送り押さえを使います。
セット方法は 、説明ボタンで確認することができます。
（26 ページをごらんください。）

★上送り押さえの取り付け方

①

① 押さえ上げをさげ、針を外します。
ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめます。
（針の外し方は、22 ページをごらんください。）

②

② 押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじを指で左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。

③

③ 上送り押さえを押さえ棒に取り付け、押さえホルダー止めねじを上送り押さえに軽くふれる位置まで右にまわします。
押さえ上げをさげ、針板上面で押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

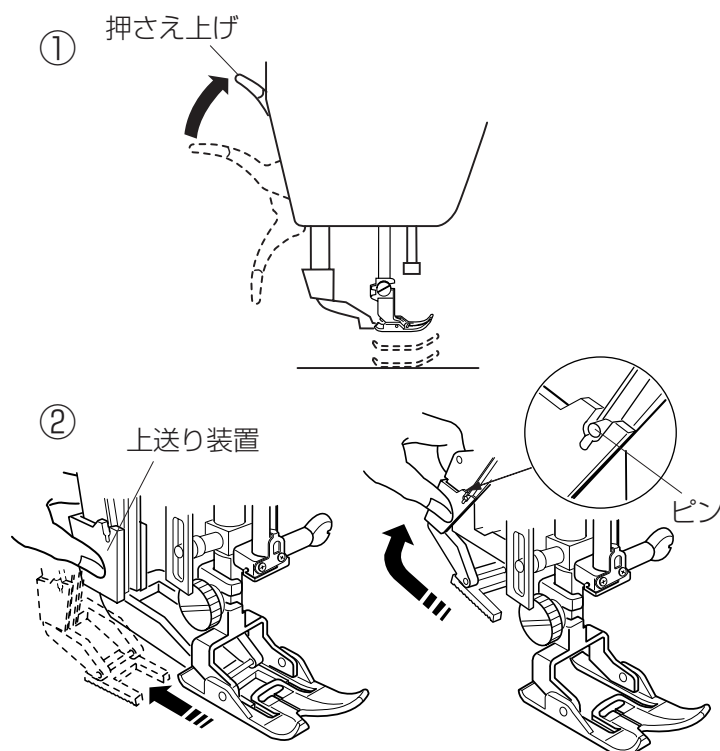
★上送り装置のセット

①

① 押さえ上げをいちばん上（補助リフト位置）にあげます。

②

② 上送り装置を下にさげ、図の矢印方向に動かして上送り押さえにセットします。
※ 上送り押さえをセットしたら、針を取り付けます。

●上送り装置のもどし方と上送り押さえの外し方

★上送り装置のもどし方

① 押さえ上げをさげ、針を外します。
押さえ上げをいちばん上（補助リフト位置）にあげます。
（針の外し方は、22 ページをごらんください。）

② 上送り装置を下にさげながら引き出し、上に引きあげてもとの位置（上送り装置の溝にピンが入る位置）にもどします。

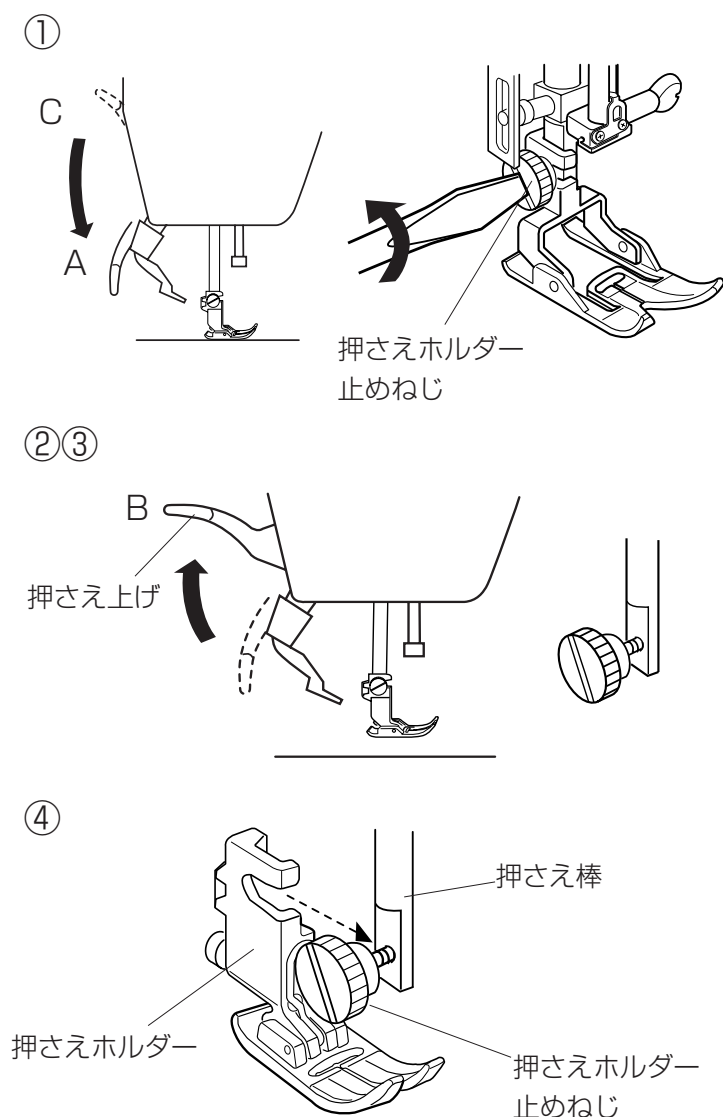
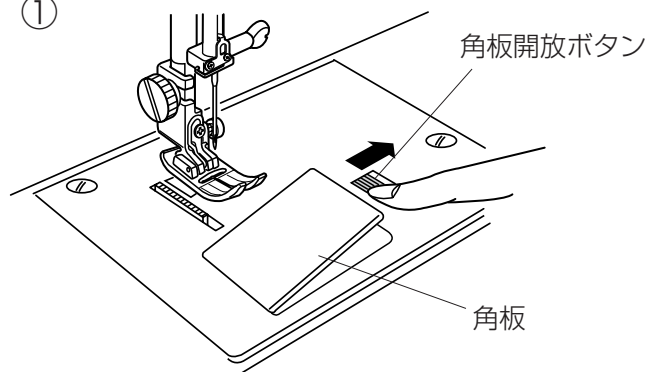
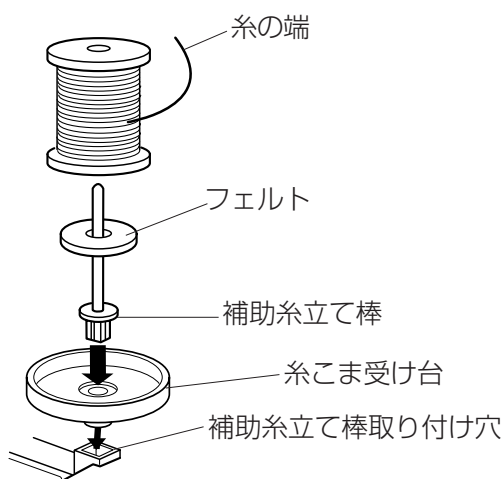
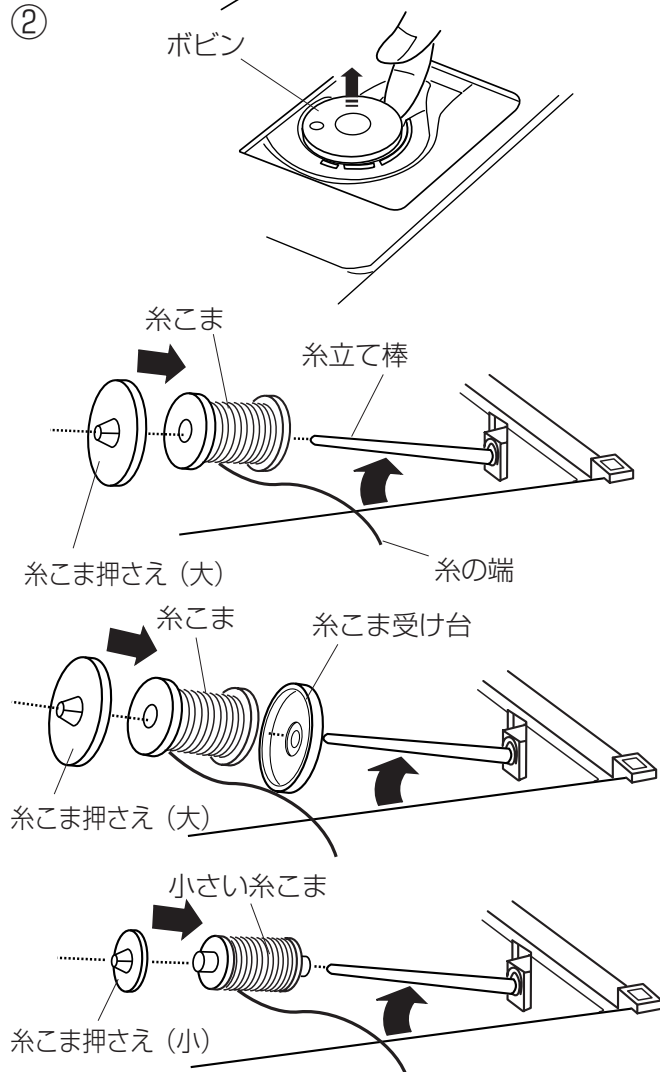
★上送り押さえの外し方

① 押さえ上げを補助リフト位置 C からいちばん下位置 A にします。
押さえホルダー止めねじをゆるめます。

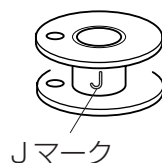
② 押さえ上げを普通にあげた位置 B にします。

③ 押さえホルダー止めねじを指でゆるめ、上送り押さえを外します。

④ 押さえホルダーを押さえ棒に取り付け、押さえホルダー止めねじを押さえホルダーに軽くふれる位置まで右にまわします。
押さえ上げをさげ、針板上面で押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

※ 押さえホルダーを取り付けたら、針を取り付けます。

●下糸の準備をしましょう

★ボビンを取り出します

① 角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

② ボビンを取り出します。

お願い

ボビンはＪマーク付きのジャノメ専用プラスチックボビンを使用してください。他の、紙ボビン等を使用すると、ぬい不良の原因になります。

★糸こまをセットします

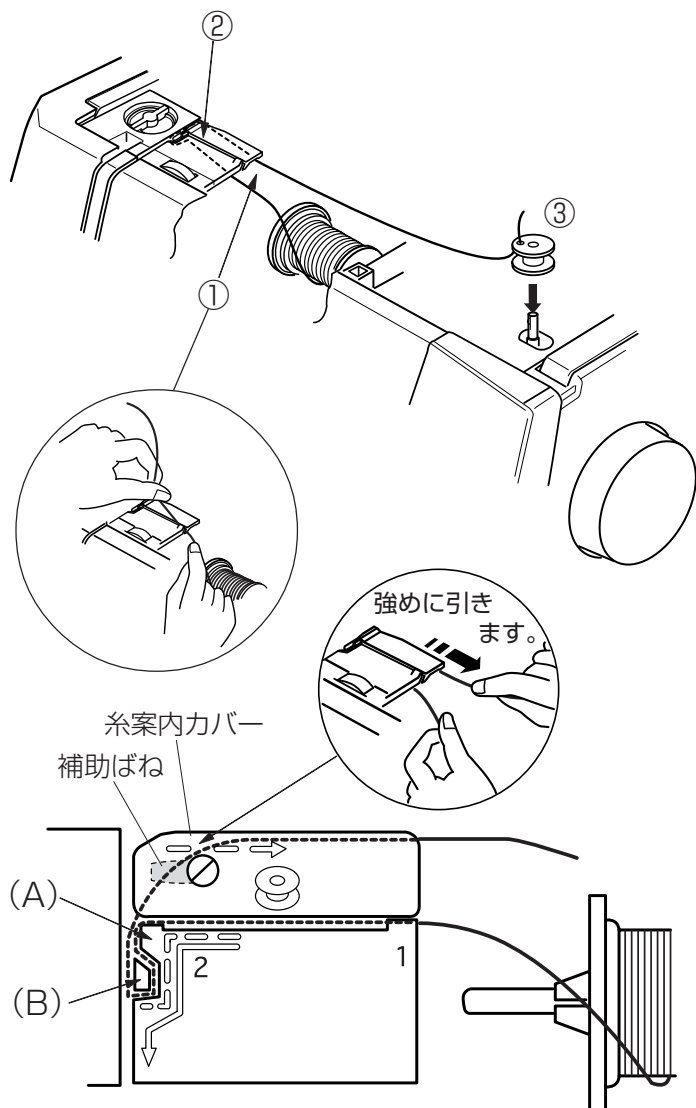
糸立て棒を軽くおこし、糸の端が下から手前に出るようにして、糸こまを入れ糸こま押さえで糸こまを押さえます。

※ 糸が外れる場合は、糸こまの下に糸こま受け台をセットします。

※ 糸こま押さえ（小）は、小さい糸こまに使用します。

★補助糸立て棒の利用

補助糸立て棒での利用もできます。補助糸立て棒を使うときは、取り付け穴にセットします。糸の端は糸こまの右側からうしろに出るようにします。

※ ２本針ぬいのときにも利用します。

★ボビンに糸を巻きます

※ スピードコントロールつまみは、いちばん右側の位置 ▶▶▶「はやい」にセットします。

① 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むように糸案内カバーのすきまに糸を通します。

② 糸案内（A）と糸案内（B）に糸を通し、糸案内カバーにかけて（補助ばねの下を通す）右に引き出します。

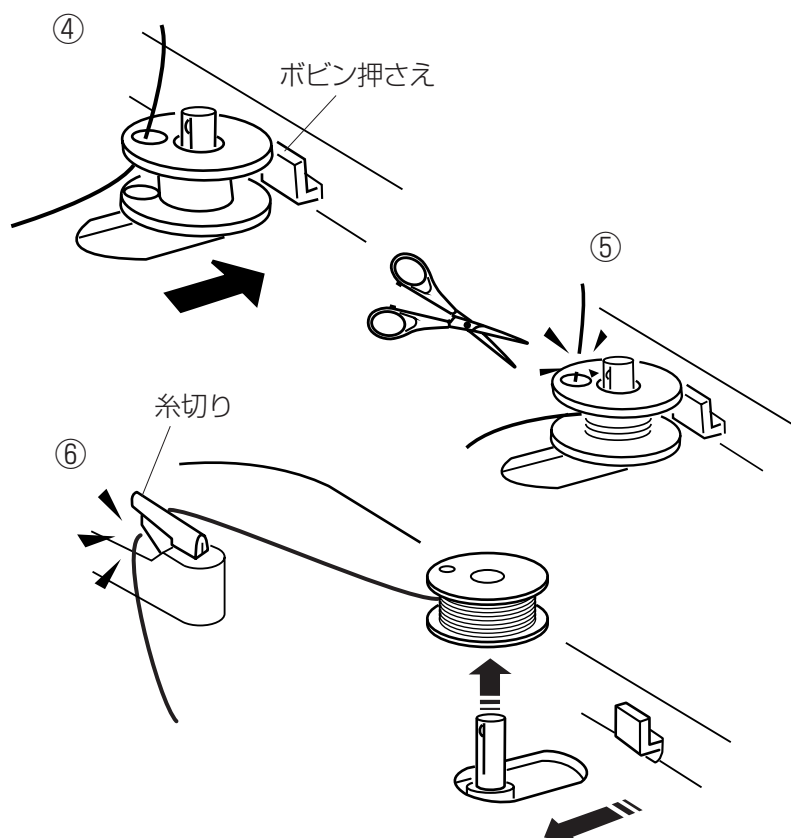
※ 糸案内カバーにかけるときは、補助ばねの下を通るように矢印方向に強めに引いてください。補助ばねの下を通していないと糸巻き不良の原因になります。

③ ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

④ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

⑤ 糸の端をつまんだまま、ミシンをスタートして、ボビンに糸が 3 重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

⑥ 再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸巻き軸をもどし、ボビンを糸巻き軸から外して、糸を糸切りで切ります。

※ 糸巻き軸は必ずミシンが止まってから動かしてください。
※ 糸巻きは、安全のために、ミシンがスタートしてから約 2 分間で自動停止します。
※ 押さえ上げが補助リフト位置になっていると、スタート／ストップボタンは使用できません。

★ボビンを内がまにセットします

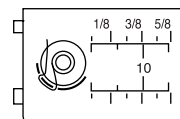
⚠ 注意

ボビンを内がまにセットするときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
ケガの原因になります。

①

① 糸の端を矢印方向に出しボビンを内がまに入れます。

※ 角板に糸の方向を表示しています。

②

② 糸の端を引きながら手前のみぞ（A）にかけます。

③

③ 糸を引きながら左へ移動させ、左側のみぞ（B）のところに出します。

④

④ 糸を左側のみぞ(B) にかけるように向こう側へ出します。

※ 糸を引き出したとき、ボビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ボビンを上下逆に入れかえてください。

⑤

⑤ 下糸は 10cm くらい引き出して角板を左側から合わせてつけます。

●上糸の準備をしましょう

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
上下停針ボタン

① ②

(A)
(B)
2
1
糸案内カバー

③

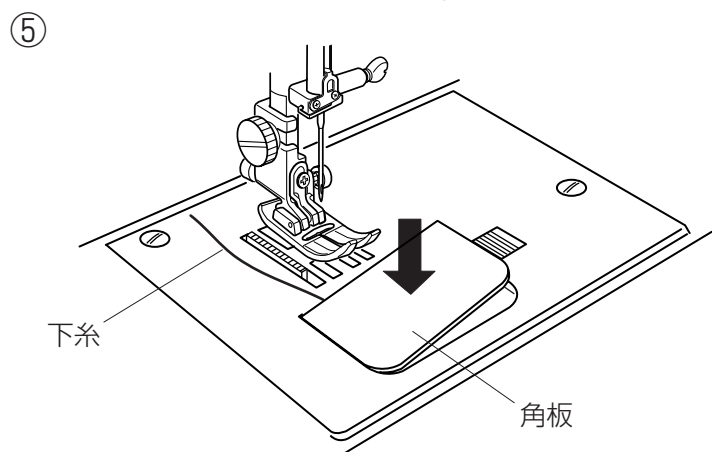
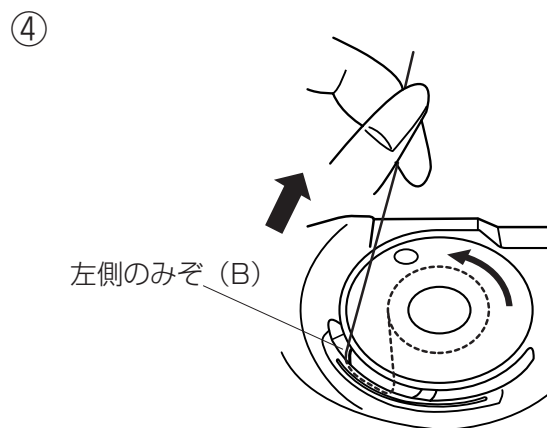
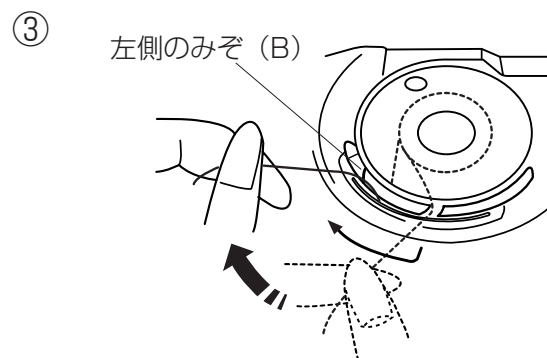
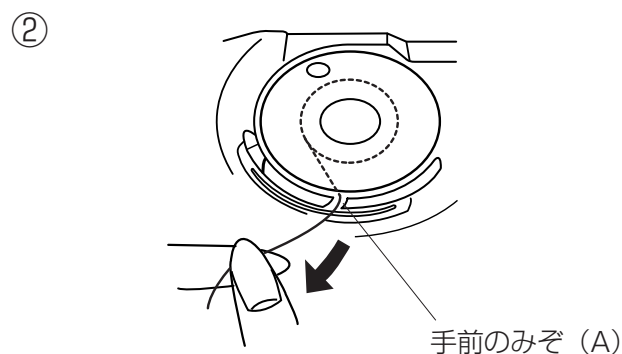
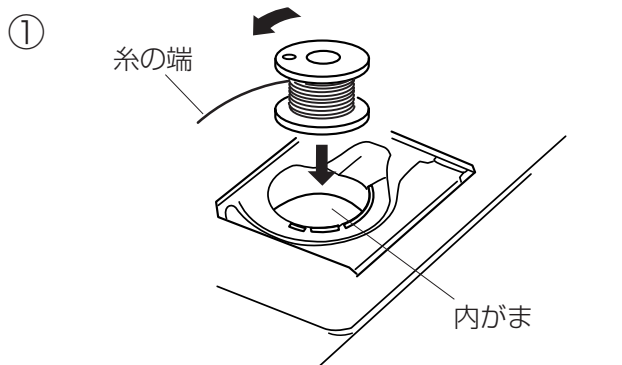
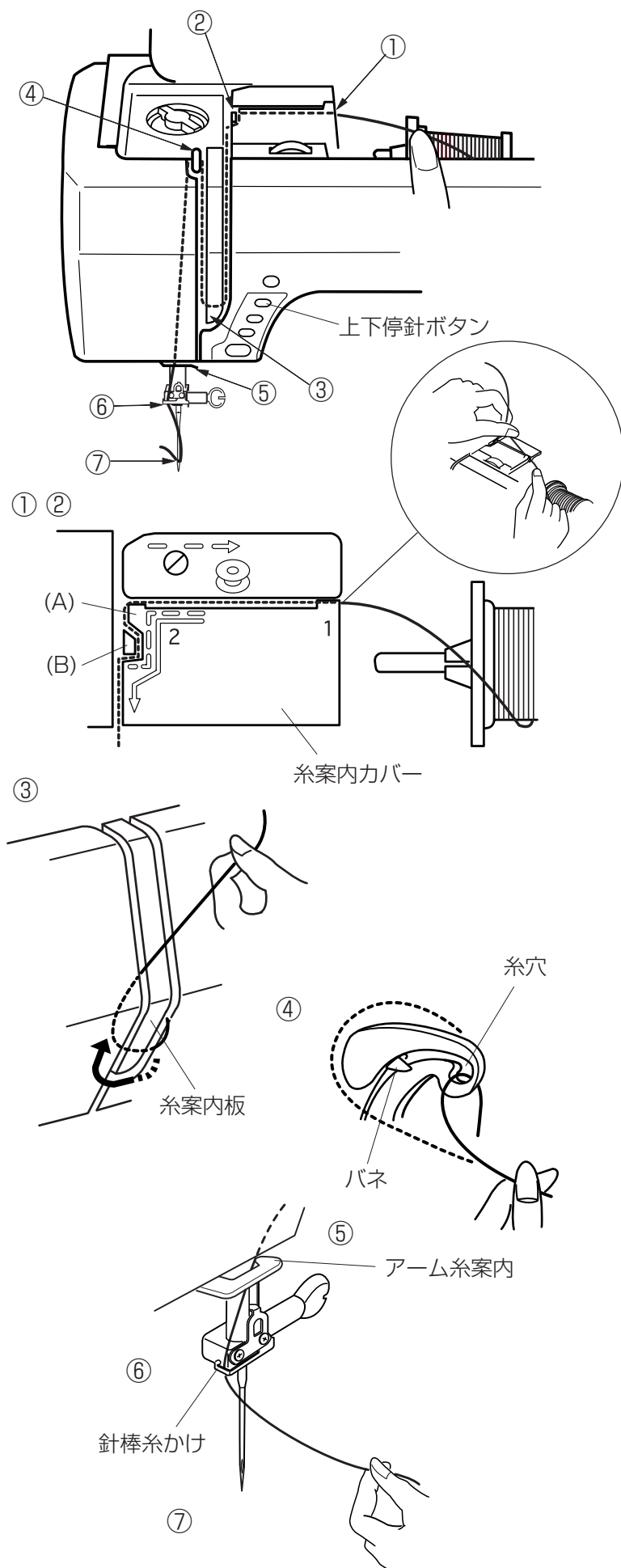
糸案内板

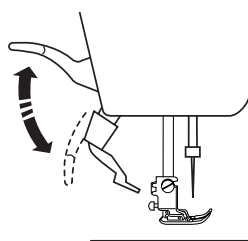
④

糸穴
バネ

⑤
アーム糸案内

⑥
針棒糸かけ

⑦

★上糸をかけます

【準備】

1. 押さえ上げをあげます。
2. 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを押して針をあげます。
3. 電源スイッチを切ります。

⚠ 注意

準備が終わったら、必ず電源スイッチを切ってください。**ケガの原因**になります。

※ 上糸は①～⑦の順にかけます。
※ 糸こま外れ防止のため、必ず糸こま押さえを使用してください。

① 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むようにして糸案内カバーのスキマに通します。

② 糸案内（A）と糸案内（B）に糸をまわし、みぞにそって手前に糸を引き出します。

③ 糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。

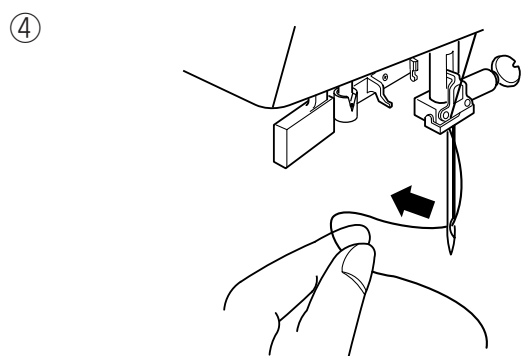
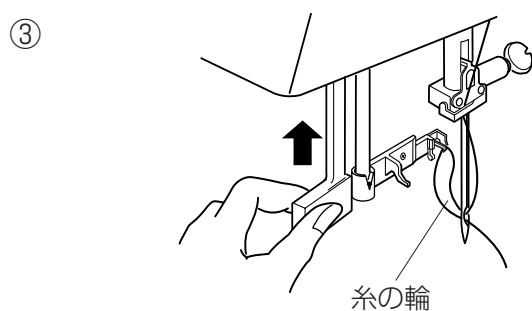
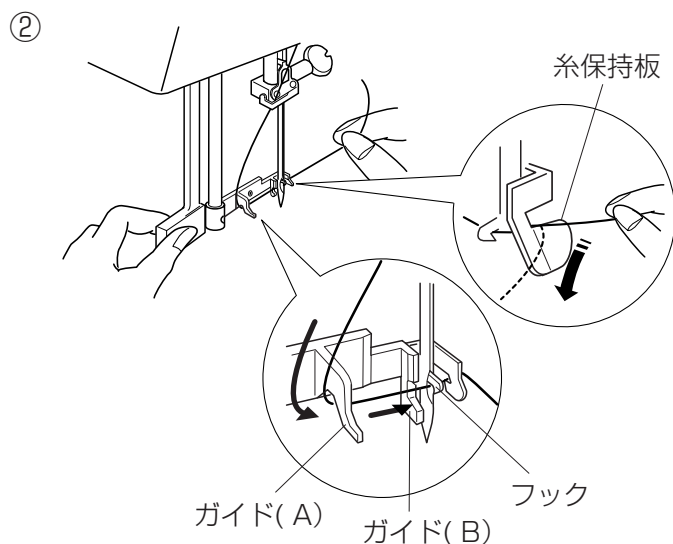
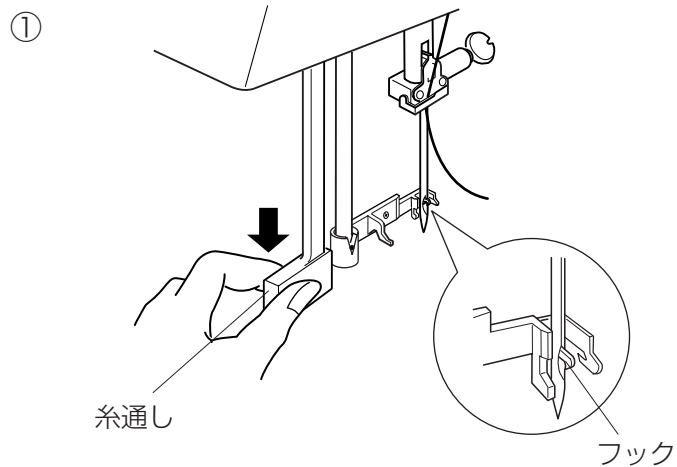
④ 糸こま側の糸を押さえながら、天びんに右からうしろへまわし、バネを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。

⑤ アーム糸案内に右からかけます。

⑥ 針棒糸かけに左からかけます。

⑦ 糸通しを使って針に糸を通します。
（糸通しの使い方は 20 ページをごらんください。）

★糸通しの使い方

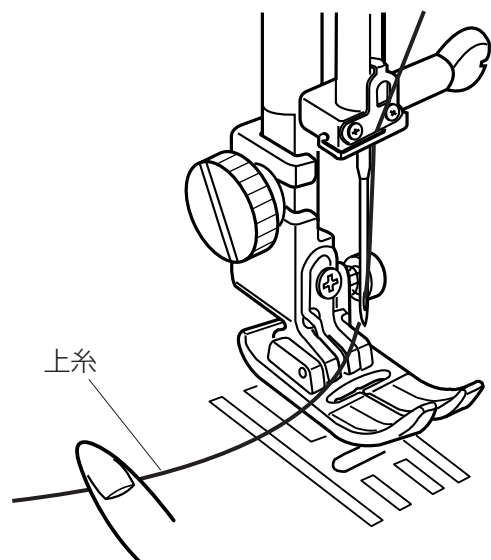
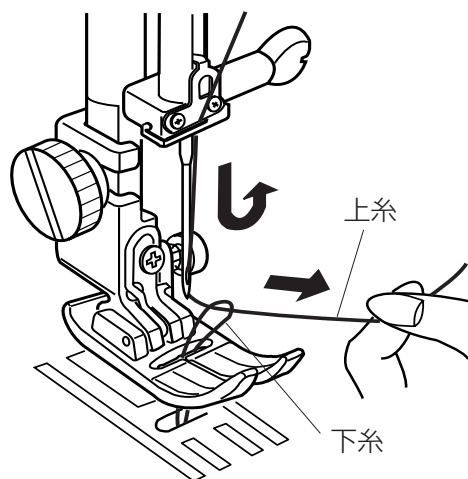
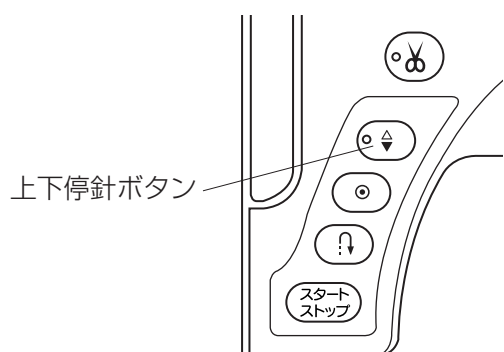
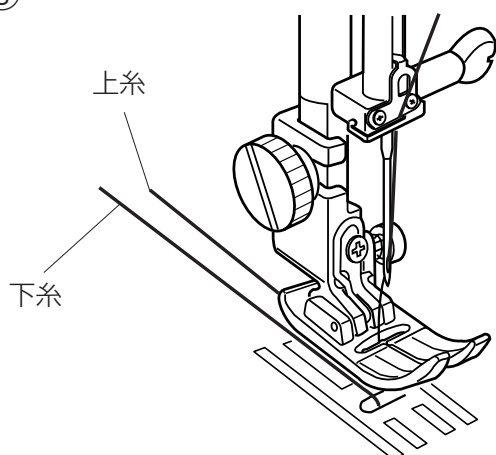
※ 針は、11番～16番
糸は、糸50～90番が使用できます。
※ 2本針のときは、糸通しは使えません。
※ 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを押して針をあげます。電源スイッチを切ります。
※ 押さえ上げをさげます。

⚠ 注意
糸通しを使うときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。 **ケガの原因**になります。

①
① 糸通しを止まるまで引きさげます。
糸通しが止まった位置で、フックが針穴に入ります。

②
② 糸を左側からガイド（A）にかけ、ガイド（B）の手前を通し、糸保持板に下からかけます。
（糸はフックの下を通ります。）

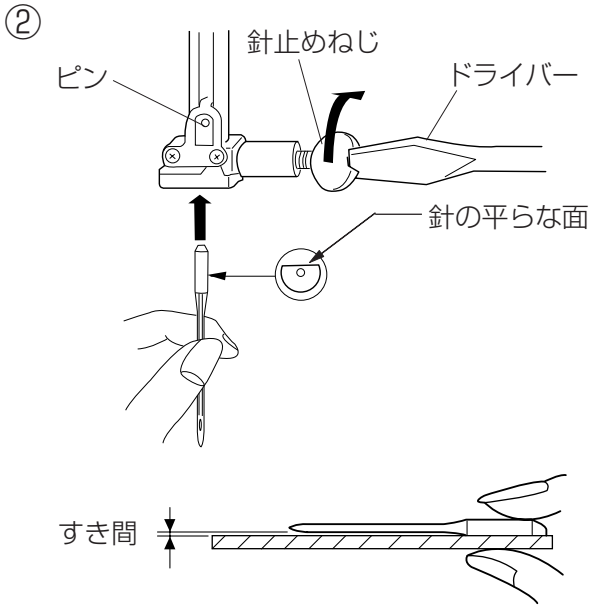
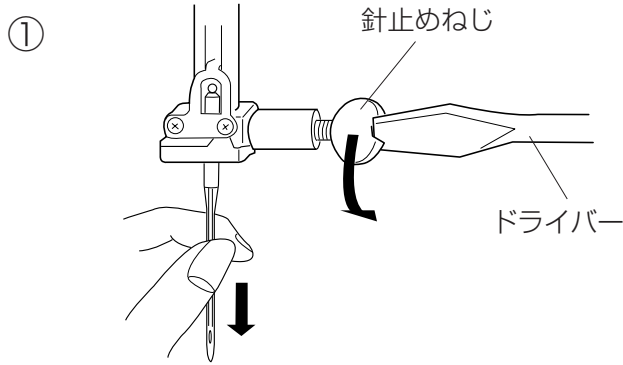
③
③ 糸通しを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。

④
④ 糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に出してから、針穴から糸の輪を引きだします。

★下糸の引きあげ方

① 押さえ上げをあげ、上糸の端を指で押さえておきます。

② 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。
上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

③ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10cm ほど引き出して、そろえておきます。

●針の取りかえ方

⚠ 注意
針の取りかえは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。 **ケガの原因**になります。

① はずみ車を手で手前にまわして針をいちばん上にあげます。
針止めねじを手前に１～２回まわしてゆるめ、針を外します。

② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっかりしめます。

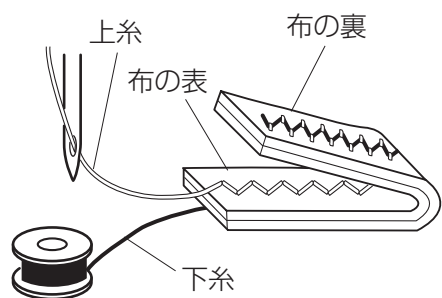
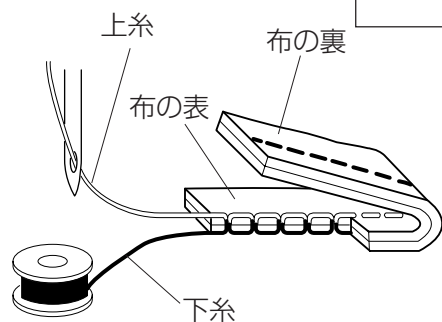
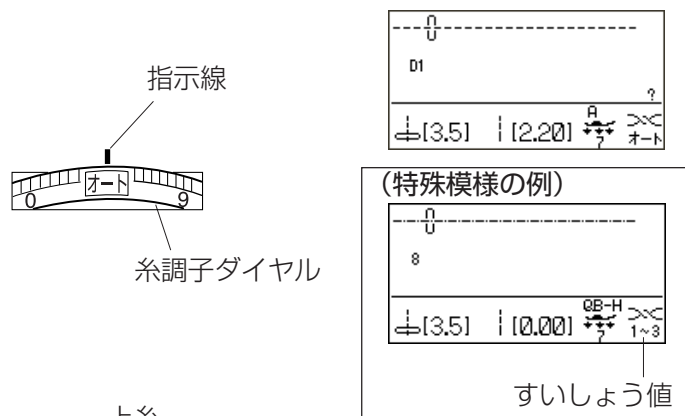
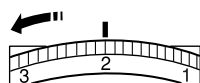
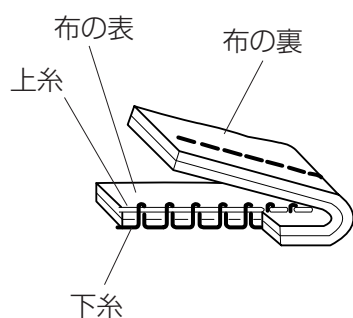
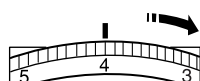
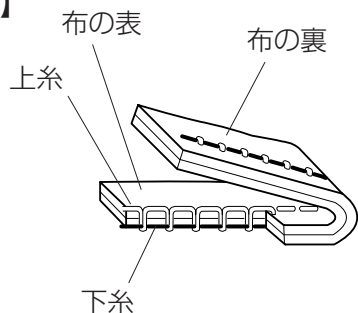
【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで均等に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

布　の　種　類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル　90 番	9 番～ 11 番
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	絹糸　50 番 綿糸　60 番 ポリエステル、ナイロン　50 番～ 90 番	11 番～ 14 番
		綿糸　50 番	14 番
厚い布	デニム ツイード コート地	絹糸　50 番 綿糸　40 番～ 50 番 ポリエステル　40 番～ 50 番	14 番～ 16 番
		ポリエステル　30 番 綿糸　30 番	16 番

※ 普通、上糸と下糸は同じ糸を使います。
※ うすい布には細い糸と細い針、厚い布には太い糸と太い針を使いましょう。
※ 針や糸は、実際にぬう布のはぎれを使って必ず試しぬいをして確かめてみましょう。
※ 伸縮性のある布（ニット地）や目とびしやすい布地などには、ジャノメブルー針を使用してください。

●糸調子の合わせ方

★自動糸調子

通常、糸調子ダイヤルの「オート」を指示線に合わせると、上糸と下糸がバランス良くぬえるように、自動セットされます。

※特殊なぬい方をする模様（例.しつけ 8）の場合、画面には「オート」のかわりに、模様に合った、すいしょう値を表示しますので、糸調子ダイヤルを合わせてください。

【バランスのとれた糸調子】

※ 直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

※ ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

★マニュアル糸調子

糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないときは、糸調子ダイヤルをまわして調節します。

【1】

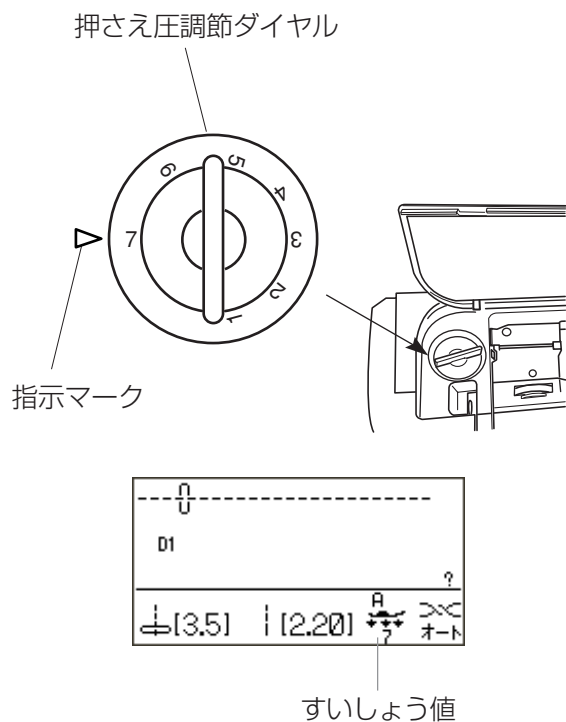
【1】上糸が強すぎるとき

下糸が布の表に引き出されます。
糸調子ダイヤルをまわして「3」を目安に数値を小さくします。

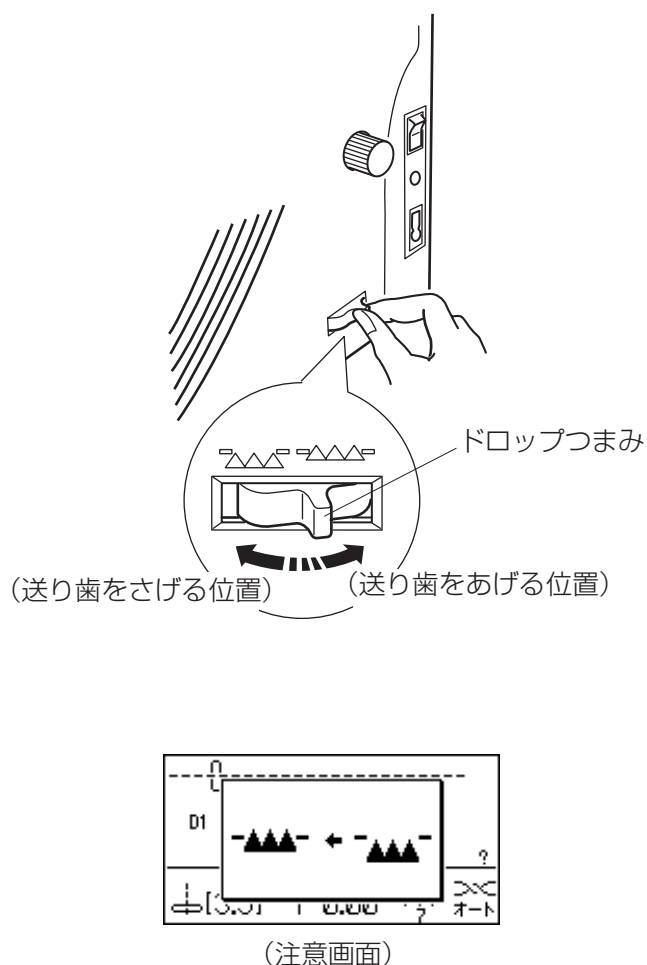
【2】

【2】上糸が弱すぎるとき

上糸が布の裏に引き出されます。
糸調子ダイヤルをまわして「3」を目安に数値を大きくします。

●押さえ圧調節ダイヤルの使い方

模様を選択すると、模様選択画面に模様のすいしょう押さえ圧が表示されます。
押さえ圧調節ダイヤルをまわして、すいしょう値（通常は「7」）を目安に、指示マークに合わせてください。

小さな数字に合わせると、押さえ圧は弱くなります。

●送り歯のさげ方

しつけぬいやボタン付けなどで送り歯をさげるときは、ドロップつまみを左に動かします。

※ 送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら送り歯をあげる位置にもどしておきます。送り歯はミシンが回転すると自動的にあがります。

フリーキルティングなどで送り歯をさげた状態でぬう場合、注意画面が一度表示されますが、ぬうことができます。
ボタンホールのカテゴリ（模様23～40、ただし模様34は除く）と、文字ぬいは送り歯をさげた状態でスタートすると注意画面が表示されますので、送り歯をあげてぬいます。

（注意画面）

●模様の選び方（もよう選択キーの使い方）

もよう選択キーを押すと、模様を 11（ジツヨウヌイ , BH, アップリケ , デントウテキモヨウ , キルト , サテン , ツナギモヨウ , カザリモヨウ , ロングステッチ , グショウモヨウ , プレイ）のカテゴリに分けた模様アイコン表示します。

ミシンの早見板を参考に模様アイコンを選びます。

①

① カテゴリを選ぶときは、ジョグダイヤルをまわして使用するカテゴリの模様アイコンを中央の四角のマークに合わせます。

※ 編集キーでも模様アイコンを選べます。（編集キーを押すごとに、模様アイコンが５つ進みます。）

※ 閉じるキーを押すと、ぬい実行画面にもどります。

②

② 確定ボタンを押します。

※ タッチペンで模様アイコンを押しても選べます。

③

③ ジョグダイヤルをまわして、模様を選びます。

※ 編集キーでも模様を選べます。（編集キーを押すごとに、模様が５つ進みます。）

④

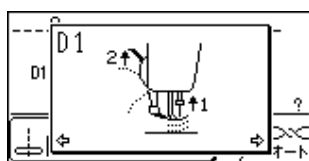
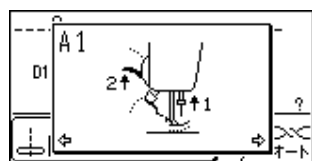
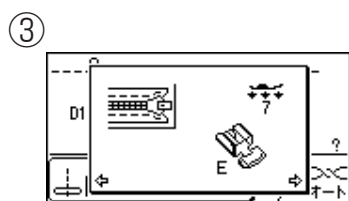
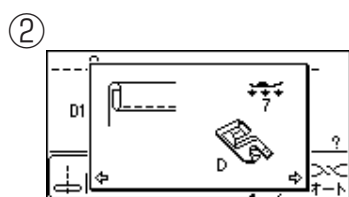
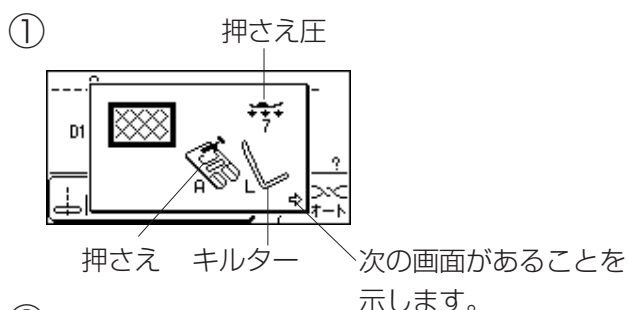
④ 確定ボタンを押し、模様を選ぶと、ぬい実行画面になりぬうことができます。

※ タッチペンでも模様を押して選べます。

※ 模様 23 ～ 35 のときは、ぬい実行画面の前に注意画面が数秒表示されます。注意画面の表示時間は、ミシンのお好みセットで設定できます。（28 ページ参照）

●説明ボタン

説明キーを押すと、模様に合ったぬい情報が表示されます。
説明キーを押すか､ジョグダイヤルをまわして説明画面を切りかえます。
説明キーが使用できる模様には表示画面に？マークが付いています。
説明キーが使用できる模様は、

模様 D1 D2 D3 D4 9 24 35 36 132 です。

例. 模様 D1

① キルティングに必要な押さえ、押さえ圧、キルターを表示
※ 説明キーを押すか、ジョグダイヤルをまわして説明画面を切りかえます。

② 三つ巻きぬいに必要な押さえ、押さえ圧を表示

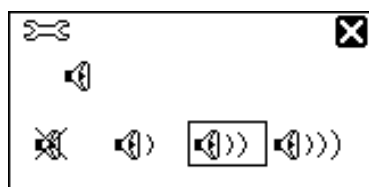
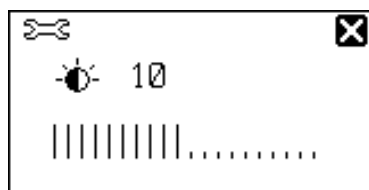
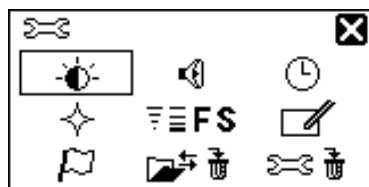
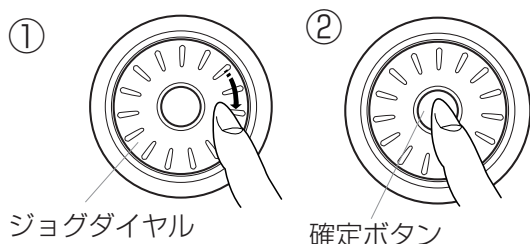
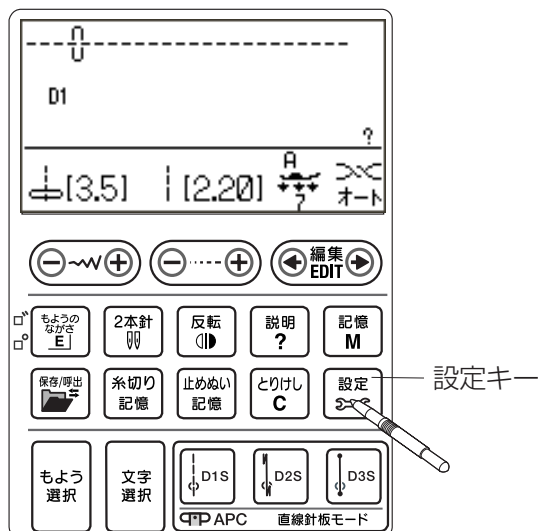
③ ファスナー付けに必要な押さえ、押さえ圧を表示

※ ファスナー付け画面の次に、上送り押さえの取り付け手順（A1 ～ A6）と、上送り装置のもどし方手順（D1 ～ D6）が表示されます。
安全のため、手順 A1 ～ A6、D1 ～ D6 のときは、スタート/ストップボタンなどの運転ボタンは効かないようになっています。
画面をもどすときには、とりけしキーを押してください。
または、説明キーを押し続けて、最後の説明ページの次は , ぬい実行画面になります。

①

②

③

● ミシンのお好みセット

設定キーを押すと、ミシンのセット専用画面が表示されます。ミシンの状態をお好みの状態にセットすることができます。

【項目の選び方】

① 設定項目のアイコンをジョグダイヤルをまわして、選びます。

※ タッチペンでも選べます。

※ 閉じるキーを押すと、前の画面にもどります。

② 確定ボタンを押します。

【画面のコントラストの設定】

表示画面の明るさの調節ができます。

①ジョグダイヤルをまわして、お好みの明るさにします。
「0」から「20」の数値で設定します。

②ジョグダイヤルの確定ボタンを押すと設定されます。

※ 初期の値（購入時のセット状態）は「10」です。

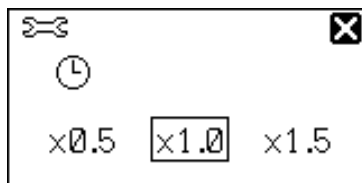
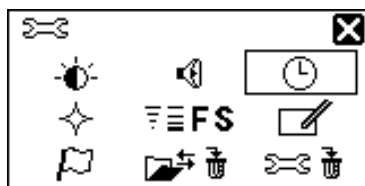
【ブザー音の設定】

お好みによりブザー音量をかえることができます。

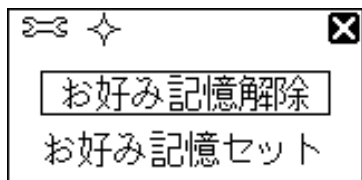
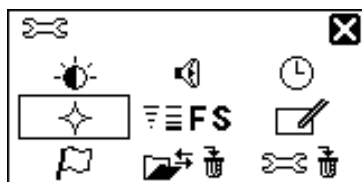
① ジョグダイヤルをまわして、お好みの音量レベルを選びます。
「消音」「 小さめ」「普通」「大きめ」で音量レベルを選びます。

②ジョグダイヤルの確定ボタンを押すと設定されます。

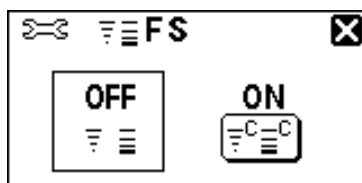
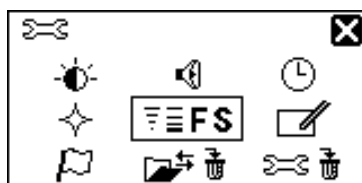
※ 初期の値（購入時のセット状態）は「普通」です。

※ タッチペンまたは、記憶キーでも設定できます。

【ウインドウ画面表示時間の設定】

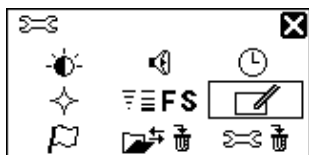
ウインドウ画面表示時間を設定できます。
（ウインドウ画面は、画面にもう一つ重ねて表示している画面です。）
購入時の状態× 1.0（約２秒）に対して、
× 0.5（倍）（約１秒）....... 短くなります
× 1.5（倍）（約３秒）....... 長くなります

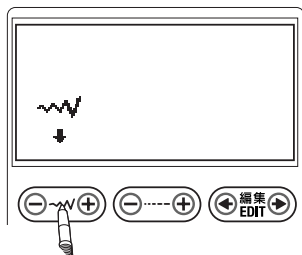
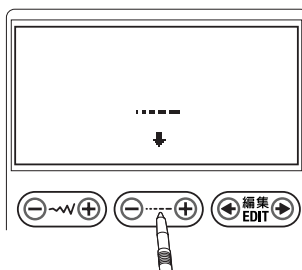
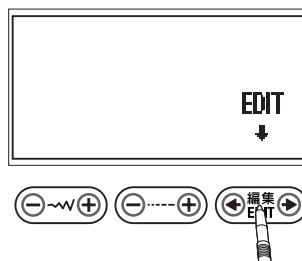
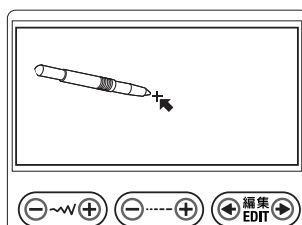
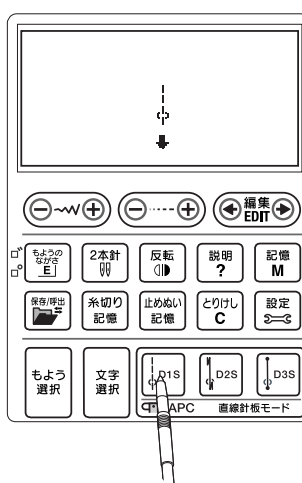
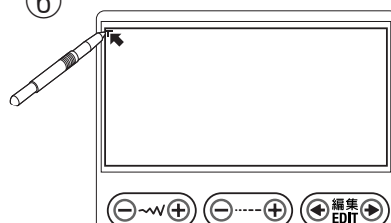
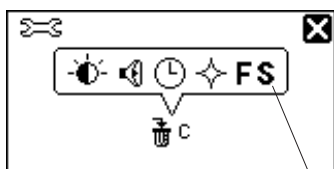
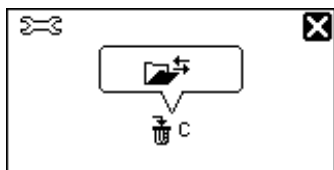
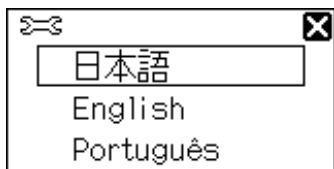
① ジョグダイヤルをまわして､お好みの表示時間を選びます。
② ジョグダイヤルの確定ボタンを押すと設定されます。
※ タッチペンまたは、記憶キーでも設定できます。

【お好み記憶の設定】

「お好み記憶セット」にすると電源を切っても最後にぬった模様を呼び出すことができます。

① ジョグダイヤルをまわして､「お好み記憶セット」を選びます。
② ジョグダイヤルの確定ボタンを押すと設定されます。
※ お好み記憶を設定したあとは、電源を投入すると電源を切る前にぬっていた模様が表示されます。
※ 初期の値（購入時のセット状態）は「お好み記憶解除」です。
※ タッチペンまたは、記憶キーでも設定できます。

【ぬい目の幅、ぬい目のあらさお好み記憶の設定】

ON に設定しておくと、ぬい目の幅、あらさのオート値の変更ができます。

① ジョグダイヤルをまわして、「ON」を選びます。
② ジョグダイヤルの確定ボタンを押すと設定されます。
初期の値（購入時のセット状態）は「OFF」です。
※ タッチペンまたは 、記憶キーでも設定できます。

【キー位置の設定】

表示画面と操作パネルのキー位置調整ができます。画面と実際のキー位置がずれて、うまく押せないときは，次の方法で調整してください。

① ぬい目の幅 調節キーの中心をタッチペンで押します。

② 画面がかわったら、ぬい目のあらさ調節キーの中心をタッチペンで押します。

③ 画面がかわったら、編集キーの中心をタッチペンで押します。

④ 画面がかわったら、表示画面の中心「+」マークをタッチペンで押します。

⑤ 画面がかわったら、ダイレクト選択キー D1S の中心をタッチペンで押します。

⑥ 画面がかわったら、表示画面左上の「┌」マークをタッチペンで押します。
設定画面にもどります。

【言語の設定】

3カ国の言語が設定できます。
日本語
英語
ポルトガル語

① ジョグダイヤルをまわして、お好みの言語を選びます。
② ジョグダイヤルの確定ボタンを押すと設定されます。

※タッチペンまたは、記憶キーでも設定できます。

【保存項目のオールクリアーの設定】

保存/呼出キーで保存した模様全てを削除できます。

① とりけしキーを長押しすると削除されます。

※ 画面の C キーを長押ししても削除されます。

【オールクリアーの設定】

すべての設定した項目を、初期の状態（購入時のセット）にもどします。
※ 言語の設定は初期の状態（購入時のセット）にもどりません。

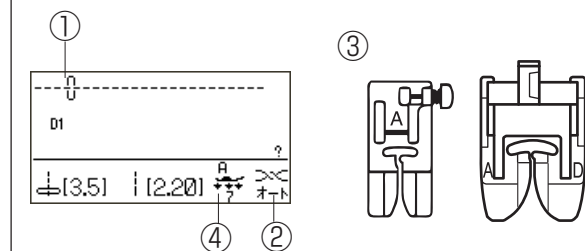
① とりけしキーを長押しすると画面に表示している項目が削除されます。

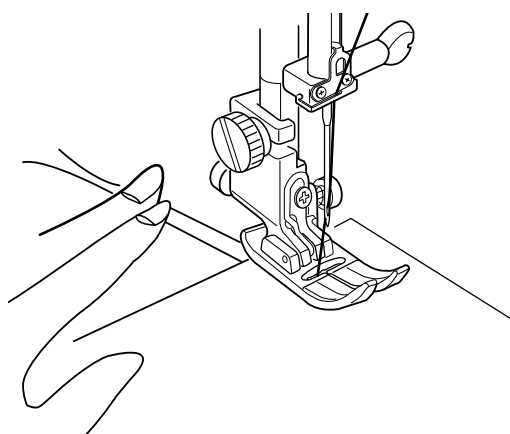
※ 画面の C キーを長押ししても削除されます。

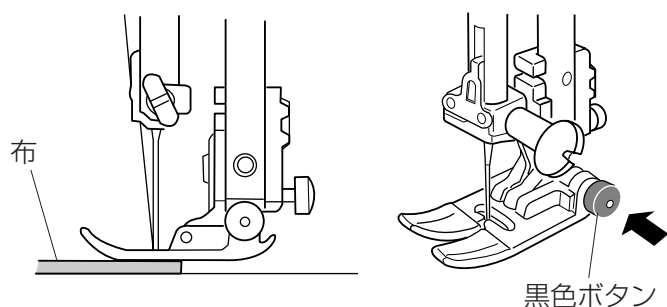
※ 電源投入時、画面に設定状態が表示されます。
オールクリアの設定をした場合、電源投入時にはブザー音の設定、ウインドウ画面表示時間設定の初期の状態（購入時のセット）が表示されます。
言語も表示されますが、設定した言語表示となります。

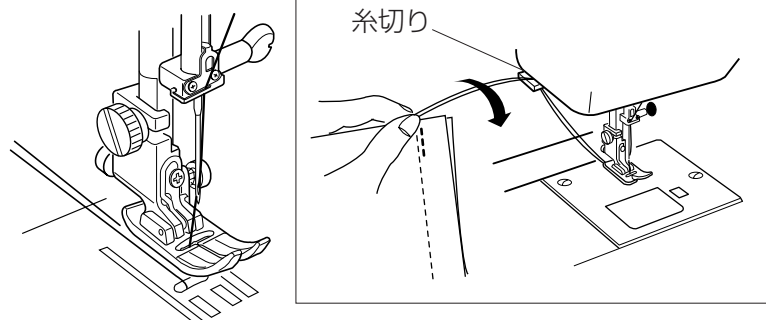
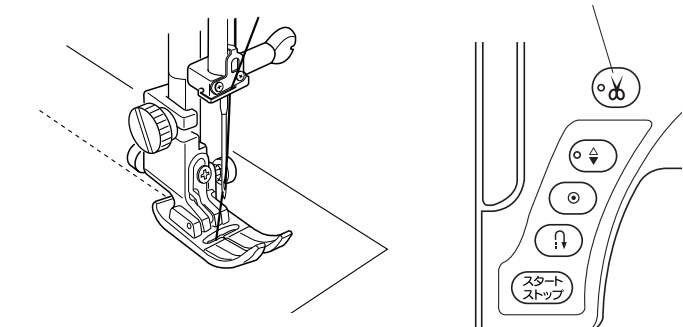
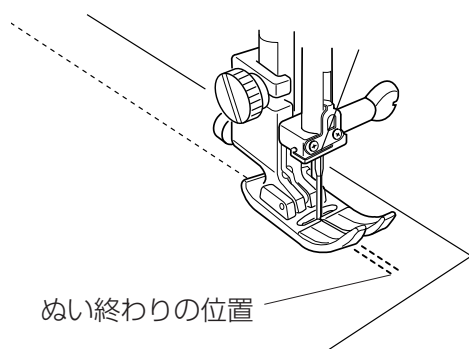
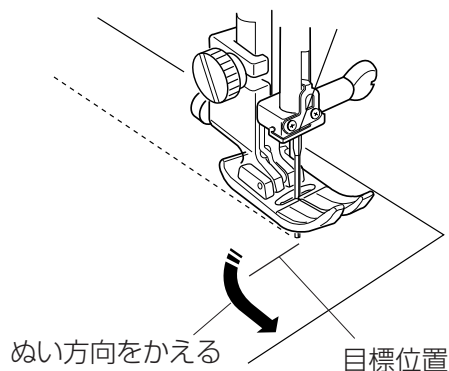
◎実用ぬい

●直線ぬい

ミシンのセット
① 模様 D1
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ、AD：上送り押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

【ぬい始め】

上糸と下糸を押さえの下に通し向こう側に引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。

【厚手の布端のぬい始め】

ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押しこみます。
ボタンを押したままで押さえ上げをさげます。
ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
押さえが完全に布の上にのると黒色ボタンの押し込みは自動的に解除されます。

【ぬい終わり】

ミシンを止め 、糸切りボタンを押して糸を切ります。

※ 30 番および 30 番より太い糸、または特殊糸を切るときには面板に付いている糸切りを使用してください。
押さえ上げをあげ、布を手前に返すようにして糸切りで糸を切ります。

【ぬい方向をかえるには】

目標位置の手前でミシンを止め、ぬい方向をかえる位置で針を布にさしたまま押さえ上げをあげます。ぬい方向をかえて押さえ上げをさげ、ミシンをスタートしてぬい始めます。

【ぬい終わりの返しぬい】

返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをしてからミシンを止めます。

※ 模様 D2 、D2S のぬい終わりの位置で返しぬいボタンを一度押すと、自動的に返しぬいをしたあと、再びぬい終わりの位置まで進んで止まります。

※ 模様 D3 、D3S のぬい終わりに返しぬいボタンを一度押すと、数針止めぬいをして自動的に止まります。

※ 自動返しぬい、自動止めぬいの詳しい使い方は、37、38ページをごらんください。

角度目盛り
針穴中央
インチ表示
手前側のガイドライン
ミリメートル表示
コーナーリングガイド

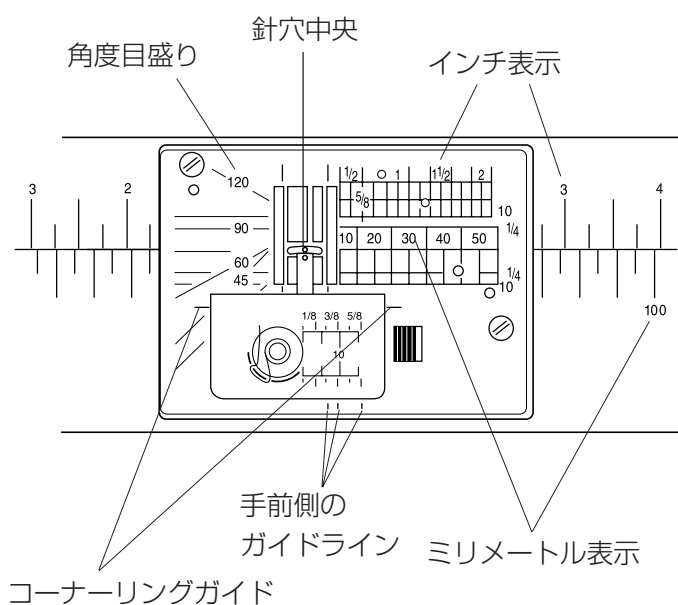
★針板ガイドラインの利用

① 針板右側には針穴中央からの長さが表示されています。

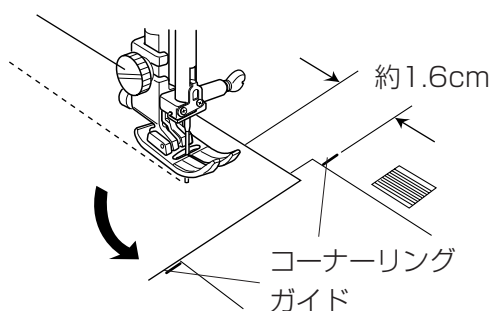
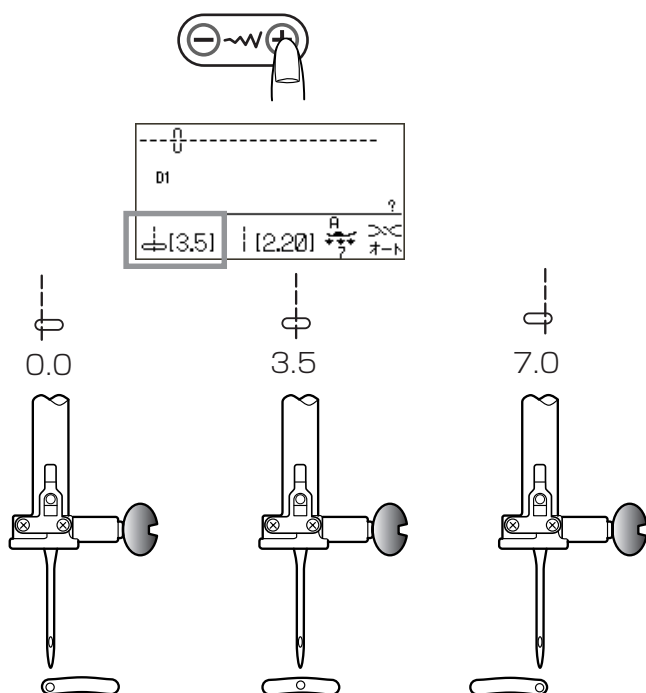
※ ガイドラインの数字は針穴中央からガイドラインの間かくを「ミリメートル」と「インチ」で示しています。

② 針板左側には、パッチワークのピース作りに使う角度目盛りが表示されています。

※ パッチワーク布片の形状により針板の角度目盛りに布端を合わせると印なしでぬえます。
（71 ページをごらんください。）

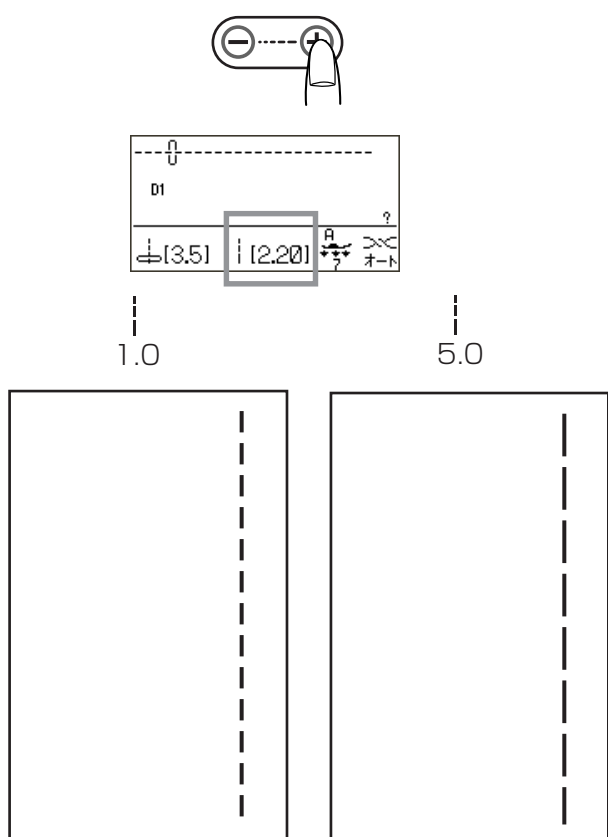
布端を針板のガイドラインに合わせてぬいます。

【コーナーリングガイドの利用】

布端から1.6cmのところで直角にぬい方向をかえるとき

① 布端がコーナーリングガイドのところにきたらミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさします。
② 押さえをあげ、布を回転させてガイドラインの 1.6cm（5/8）に合わせます。
③ 押さえ上げをさげ、ミシンをスタートします。

★直線模様の針位置をかえるとき

ぬい目の幅調節キーで針位置をかえることができます。

「−」を押すと針が左へ移動します。
「+」を押すと針が右へ移動します。

※ 数値は左針位置からの距離の目安を示しています。
※[ ]の付いた数値がオート値（購入時のセット状態）です。

★ぬい目のあらさをかえるとき

ぬい目のあらさ調節キーでぬい目のあらさをかえることができます。

「−」を押すと表示される数値が小さくなり、ぬい目が細かくなります。

「+」を押すと表示される数値が大きくなり、ぬい目があらくなります。

※ 数値はぬい目のあらさの目安を示しています。
※[ ]の付いた数値がオート値（購入時のセット状態）です。

★ぬい目の幅、ぬい目のあらさオート値変更

オート値（購入時のセット状態）を変更し記憶しておくと、電源を入れ直したときや、模様を選び直したときでも、変更した値でぬうことができます。

※ お好みセットで、ぬい目の幅、ぬい目のあらさお好み記憶設定を「ON」に設定している場合にオート値の変更ができます。（28 ページをごらんください。）

※ ［　］が付いている数値がオート値です。

例 . 模様 D1 のぬい目のあらさ変更

① ぬい目のあらさ調節キーを押して、お好みの数値に変更します。

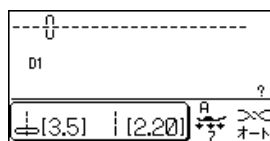
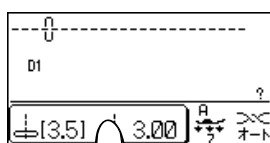
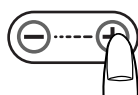
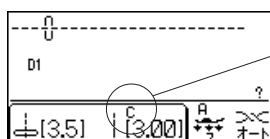
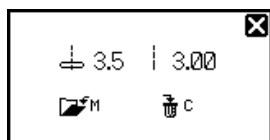
※ ぬい目の幅を変更するときは、ぬい目の幅調節キーを押して変更します。

② オート値変更キーを押します。

③

③ 記憶キーを押します。

※ オート値を変更すると C マークが出ます。

※ 新たにオート値を変更するときは、好みの数値に変更してもう一度、オート値変更キーを押し、記憶キーを押します。

記憶するときは 、記憶キーを押します。

（画面の M アイコンを押しても記憶できます。）

変更する前のオート値画面にもどすときは、とりけしキーを押します。

（画面の C アイコンを押してもオート値のもどすことができます。）

★オート値を初期の状態（購入時のセット状態）にもどす場合

① オート値変更キーを押します。

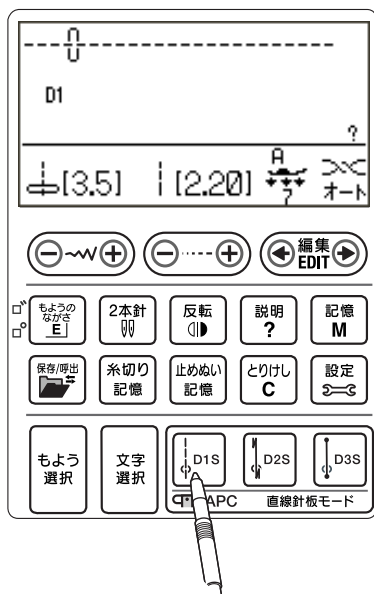
①

②

② とりけしキーを押します。

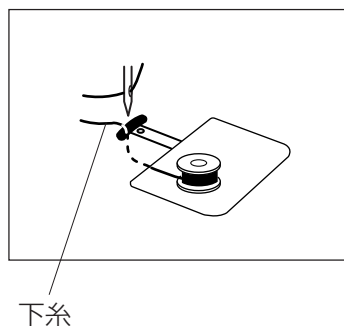
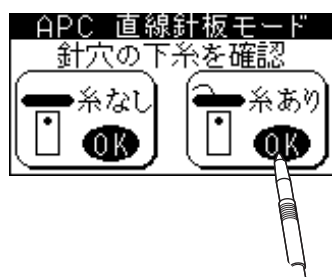
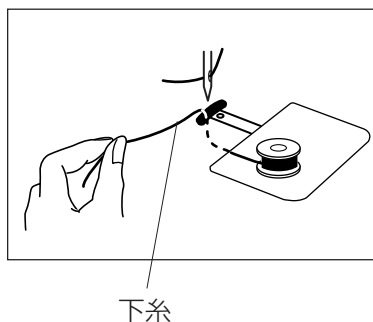
※ C マークが消え、ぬい目のあらさがオート値「2.20」にもどります。

★直線ぬい用針板の切りかえ方

①

ミシンのセット
① 模様 D1S D2S D3S
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... AD：上送り押さえ（すいしょう）、
A：基本押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル ... 7
※ 直線ぬい用針板を使用すると、針さし時のバタつきがなく、ぬい目が美しく仕上がります。
特に薄物のぬい始めにおすすめします。

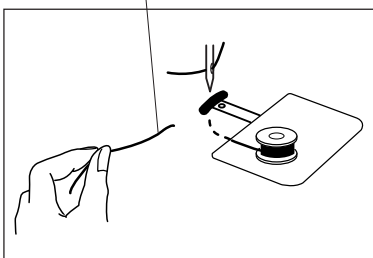
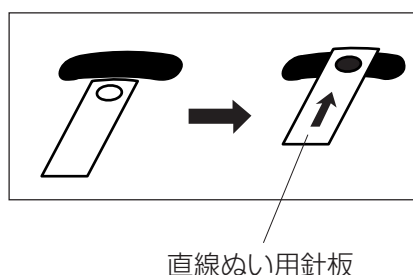
①ダイレクト模様 D1S を選びます。

②

下糸

②下糸注意画面が表示されます。
下糸が針板針穴より出てるか確認します。
下糸が針板針穴より出ていない場合は、糸なしの「OKキー」を押します。
下糸が針板針穴より出ている場合は、糸ありの「OKキー」を押します。
糸なしの「OKキー」を押したときは、そのまま直線ぬい用針板が閉まります。

③

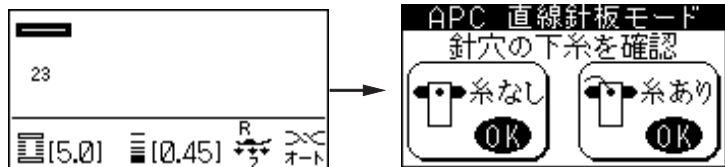
下糸

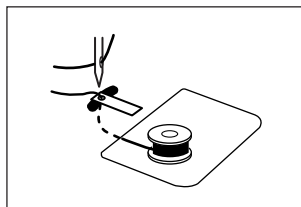
③糸ありの「OKキー」を押したときは、針穴から出ている下糸を持ち、「OKキー」を押します。

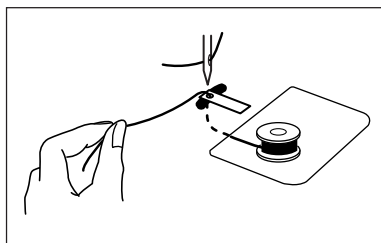
④⑤⑥

④自動的に下糸を切りますので、余分な下糸を取り除きます。
⑤「OKキー」を押します。

⑥直線ぬい用針板が閉まり、ぬい実行画面になります。

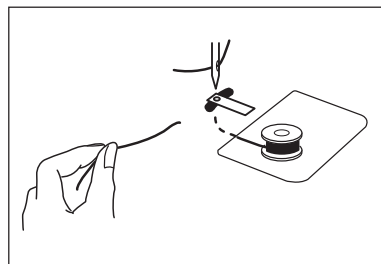
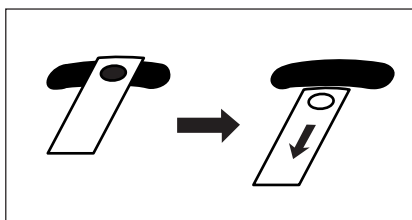
直線ぬい用針板

【直線ぬい用針板を戻すとき】

①

①他の模様（例.模様23）を選ぶと、下糸注意画面が表示されます。
下糸が直線ぬい用針板の針穴より出ているか確認します。

②

②下糸が出ていない場合は、 糸なしの「OKキー」を押します。直線ぬい用針板が戻ります。
下糸が針穴から出ている場合は、糸ありの「OKキー」を押し、手順③を行ないます。

③

③糸ありの「OKキー」を押したときは、針穴から出ている下糸を持ち、「OKキー」を押します。

④⑤⑥

④自動的に下糸を切りますので、余分な下糸を取り除きます。
⑤「OKキー」を押します。

⑥直線ぬい用針板が開き、ぬい実行画面になります。

直線ぬい用針板を使用時の注意

糸がらみ等で、布を外すときは、無理に布を引っ張らないでください。直線ぬい用針板の損傷の原因になります。

●その他の直線状模様

【直線ぬい】

ミシンのセット
① 模様 D4
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ、AD：上送り押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

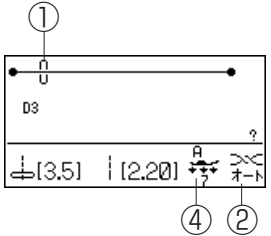
端ぬいに使用します。

【自動返しぬい】

ミシンのセット
① 模様 D2
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ、AD：上送り押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使用します。

【ぬい始め】

ミシンをスタートすると、ぬい始めに自動的に返しぬいをしたあと、直線ぬいをします。

【スタート・ストップボタン使用時のぬい終わり】

ぬい終わりの位置にきたらミシンを止め、返しぬいボタンを一度押します。
自動的に返しぬいをしたあと、再びぬい終わりの位置まで進んで止まります。

【フットコントローラー使用時のぬい終わり】

ぬい終わりの位置にきたらミシンを止め、返しぬいボタンを一度押します。
フットコントローラーを踏むと、数針返しぬいをしたあと、再びぬい終わりの位置まで進んで止まります。
※ミシンを運転したまま、返しぬいボタンを押しても同じように自動的に返しぬいをして止まります。

【自動止めぬい】

ミシンのセット

① 模様 D3
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ、AD：上送り押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

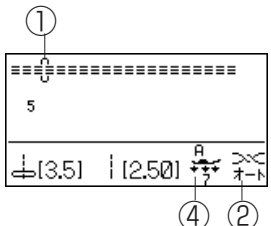
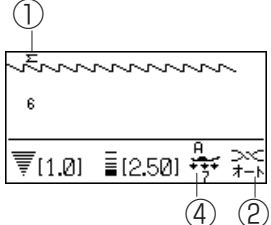
目立たないほつれ止めを自動的に行うときに使用します。

【ぬい始め】

ミシンをスタートすると、ぬい始めに自動的に止めぬいをしたあと、直線ぬいをします。

【スタート・ストップボタン使用時のぬい終わり】

ぬい終わりの位置にきたらミシンを止め、返しぬいボタンを一度押します。
数針止めぬいをして自動的に止まります。

【フットコントローラー使用時のぬい終わり】

ぬい終わりの位置にきたらミシンを止め、返しぬいボタンを一度押します。
フットコントローラーを踏むと、数針止めぬいをして自動的に止まります。
※ミシンを運転したまま、返しぬいボタンを押しても同じように自動的に止めぬいをして止まります。

【三重ぬい】

ミシンのセット

① 模様 5
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

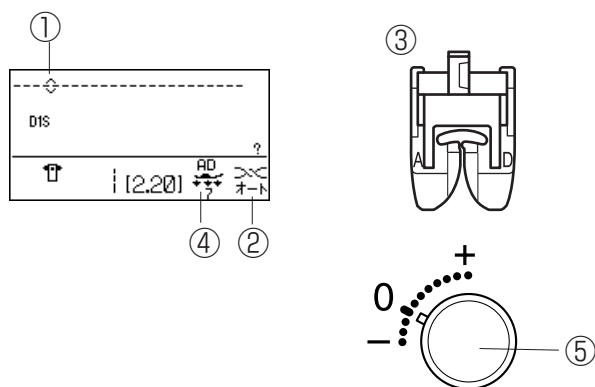
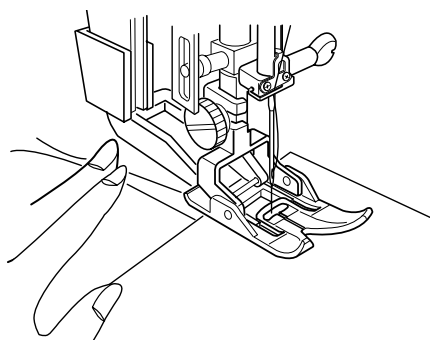
厚い布やニット地の地ぬい、補強ぬいに使います。

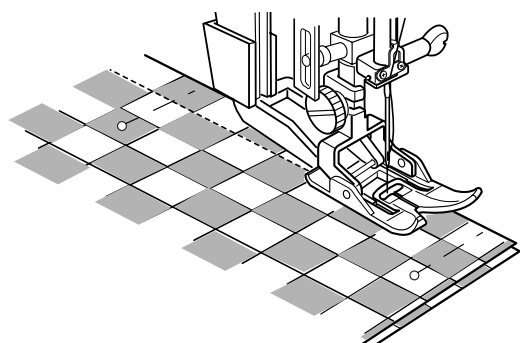
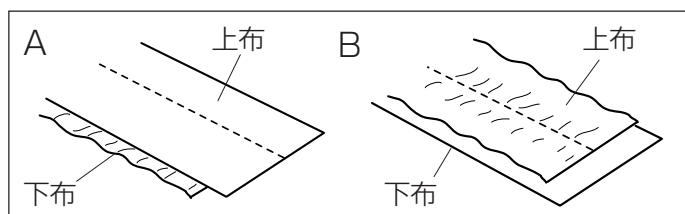
【伸縮ぬい】

ミシンのセット

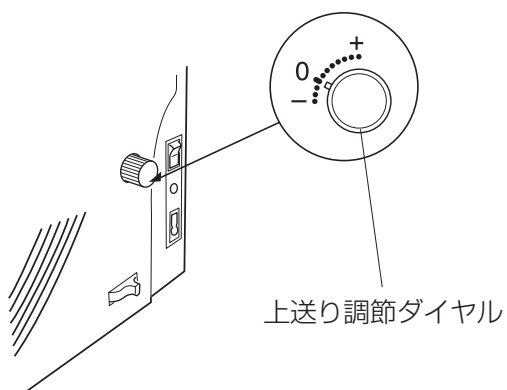
① 模様 6 7
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

ニット地のぬい合わせに使います。
布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。
※模様７は、うす地のニット地に使用します。

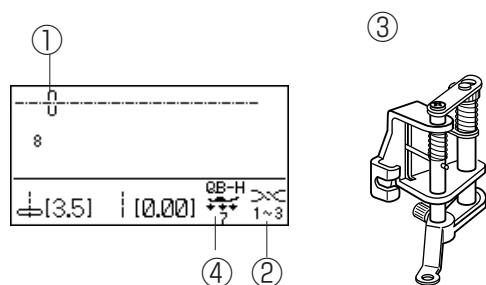
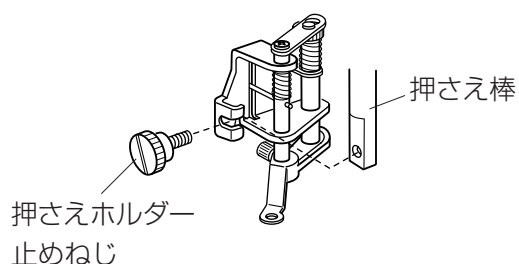
●上送り押さえの使い方

ミシンのセット
① 模様 ....
※ 早見板の D が付いた模様を使用してください。
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... AD：上送り押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7
⑤ 上送り調節ダイヤル 0
※ 上送り装置のセット方法ともどし方は、14、15ページをごらんください。

※ 上送り押さえは上布と下布でずれやすい布地、また皮など送りにくい布地を送りやすくします。

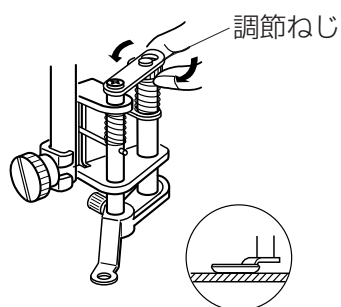
上糸と下糸を押さえの下に通し向こう側に引き出し、押さえをさげてぬい始めます。

しま地や格子じま、プリント地をぬうときには布地の端と最初のしまをぬい目のはじめのところで注意深くそろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。

★上送り調節ダイヤル

上布と下布でずれがある場合は、上送り調節ダイヤルをまわして調節します。

A 図のようなずれがある場合は、上送り調節ダイヤルを「＋」方向にまわします。
B 図のようなずれがある場合は、上送り調節ダイヤルを「－」方向にまわします。

上送り調節ダイヤル

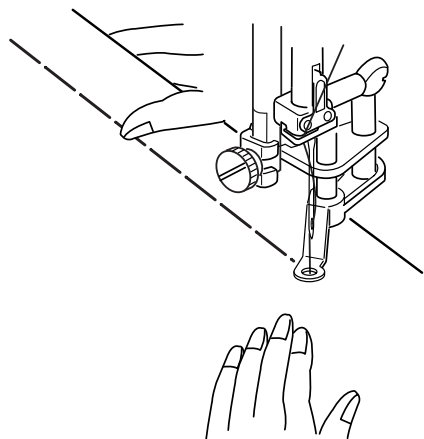
※ 上送り装置を使用しないときには上送り調節ダイヤルを「0」の位置にしてください。

●しつけぬい

【1】QB-H：交換式フリーキルト押さえの取り付け方

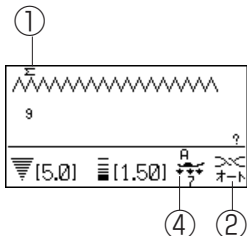
押さえホルダーを外し、押さえ棒に交換式フリーキルト押さえを取り付け、押さえホルダー止めねじをしっかりしめます。

【2】押さえ高さの調整

押さえ上げをさげ、調節ねじをまわして、押さえ高さの調節をします。

※ 押さえ高さは、押さえの下面がぬう布にかるくふれるくらいに調節します。

※ はずみ車を手で手前にまわし、針が押さえの穴の中央におりるか確認します。

【3】ぬい

1 針ぬったら自動的に止まります。

フットコントローラーの場合は、踏み続けていても 1 針ぬって止まります。

布を前後にピンと張ってぬいます。

1 針ぬって針が止まったら、ぬい目をつまんで布を向こう側に引きます。

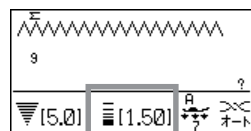
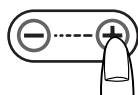
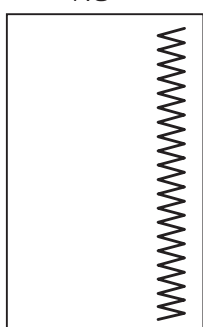
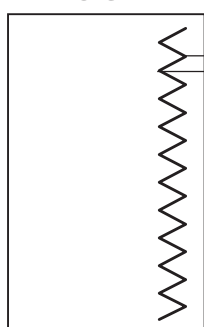
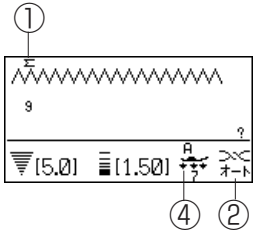
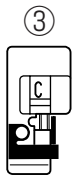
※ フットコントローラーを使用すると両手が使えて便利です。

●ジグザグぬい

【1】ぬい目の幅をかえるとき

ぬい目の幅調節キー「−」を押すと表示される数値が小さくなり、ぬい目の幅はせまくなります。
ぬい目の幅調節キー「+」を押すと表示される数値が大きくなり、ぬい目の幅は広くなります。
ぬい途中でも調節できます。

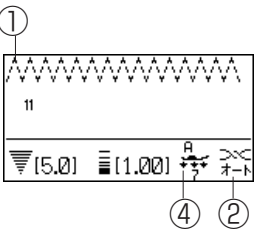
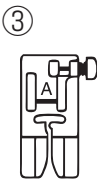
※ 数値はぬい目の幅の目安を示しています。

※ 模様 9 は中針位置が固定で、ぬい目の幅を変更すると左右針位置がかわります。
模様 10 は右針位置が固定になります。

【2】ぬい目のあらさをかえるとき

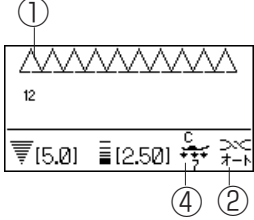
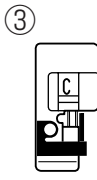
ぬい目のあらさ調節キー「−」を押すと表示される数値が小さくなり、ぬい目のあらさが細かくなります。
ぬい目のあらさ調節キー「+」を押すと表示される数値が大きくなり、ぬい目のあらさがあらくなります。
ぬい途中でも調節できます。

※ 数値はぬい目のあらさの目安を示しています。

●かがりぬい

【ジグザグぬいのたち目かがり】

ミシンのセット
① 模様 9
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... C：たち目かがり押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

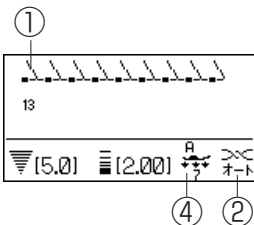
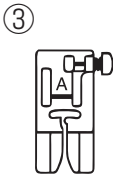
布端を押さえのガイドにあててぬいます。
布端のほつれ止めとして広く使います。

※ 模様 9 のぬい目の幅は 5.0 ～ 7.0 の間でぬいます。
※ ぬいの前に必ず押さえの針金に針があたらないことを確認してください。

【トリコットぬいのたち目かがり】

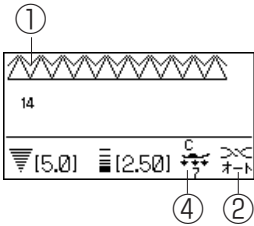
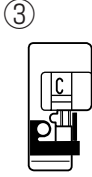
ミシンのセット
① 模様 11
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに使います。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

【かがりぬい】

ミシンのセット
①模様 12
②糸調子ダイヤル .... オート
③押さえ .... C：たち目かがり押さえ
④押さえ圧調節ダイヤル 7

地ぬいをかねた、たち目かがりに使います。
布端を押さえのガイドにあててぬいます。

※ ぬい目の幅は 4.5 ～ 7.0 の間でぬいます。
※ ぬいの前に必ず押さえの針金に針があたらないことを確認してください。

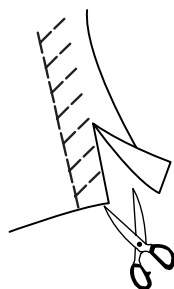
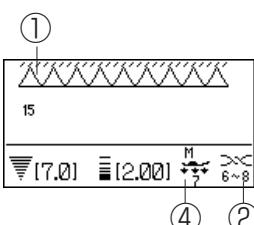
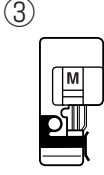
●その他のかがりぬい

【ニットステッチ】

ミシンのセット

① 模様 13

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... A：基本押さえ

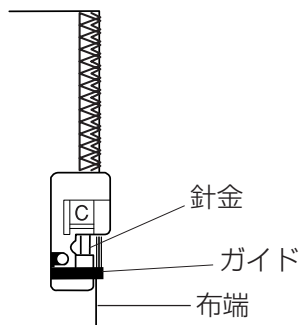
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

ニット地のかがりぬいに使います。
ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

【かがりぬい 1】

ミシンのセット

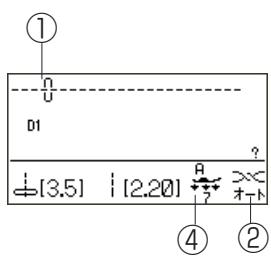
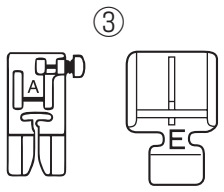
① 模様 14

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... C：たち目かがり押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

普通の布や厚い布のしっかりした布端をかがるときに使います。
布端を押さえのガイドにあててぬいます。

※ ぬい目の幅は 4.5 ～ 7.0 の間でぬいます。

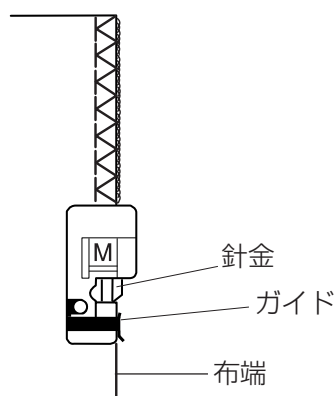
※ ぬう前に必ず押さえの針金に針があたらないことを確認してください。

【かがりぬい 2】

ミシンのセット

① 模様 15

② 糸調子ダイヤル .... 6 ～ 8

③ 押さえ .... M：縁かがり押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやすい布地のかがりぬいに使います。
布端を押さえのガイドにあててぬいます。

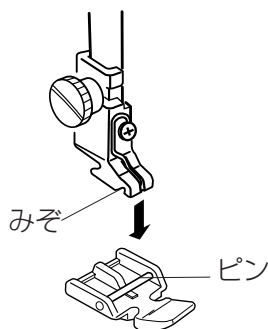
※ ぬい目の幅は 7.0 でぬいます。

※ ぬう前に必ず押さえの針金に針があたらないことを確認してください。

●ファスナー付け

ミシンのセット

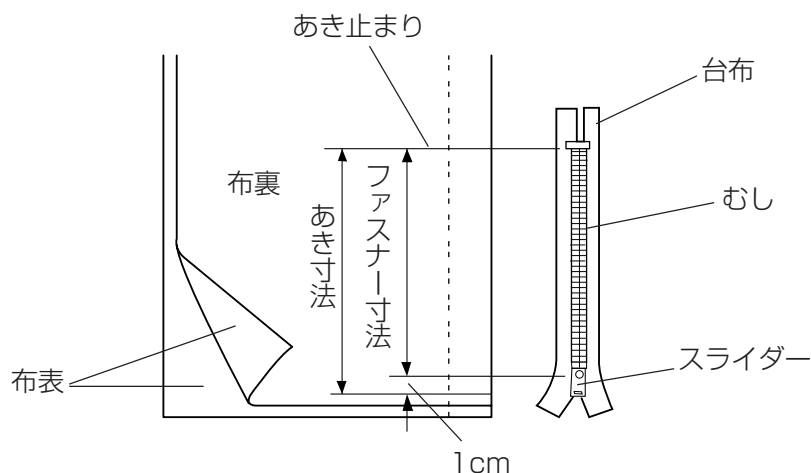
① 模様 D1
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ
E：ファスナー押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

【1】

【1】ファスナー押さえの付け方

ファスナーのむしの左側をぬうときは、押さえの右側のピンを押さえホルダーにセットします。
むしの右側をぬうときは、押さえの左側のピンを押さえホルダーにセットします。

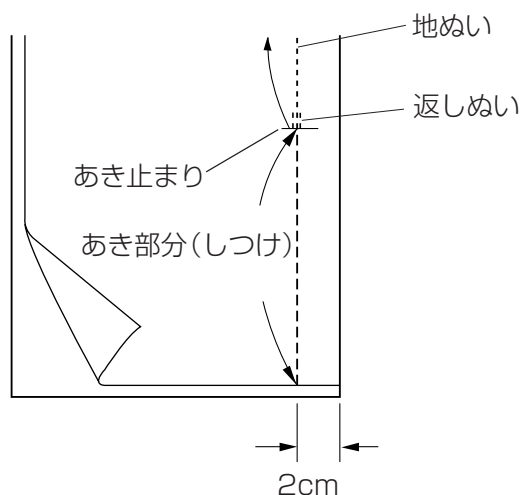
【2】

①

あき止まり
台布
布裏
むし
あき寸法
ファスナー寸法
スライダー
布表
1cm

【2】準備 （例：左脇あきのぬい方）

① ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法はファスナー寸法に 1cm プラスした寸法です。

② ③

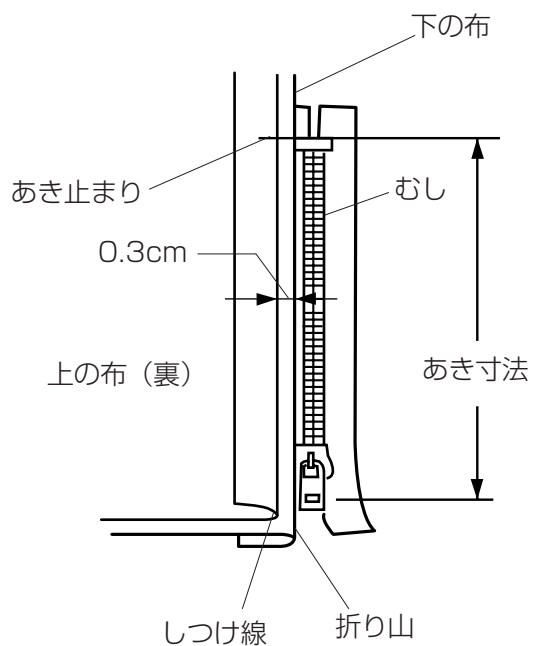
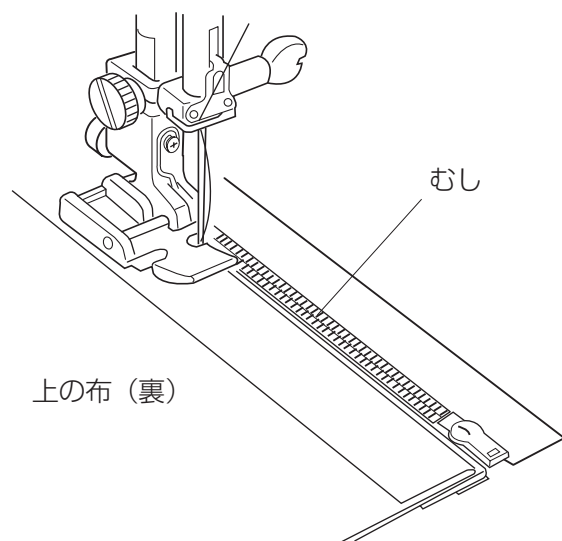
地ぬい
返しぬい
あき止まり
あき部分（しつけ）
2cm

② 地ぬいとしつけをします。
布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。
※ 地ぬいの部分はA：基本押さえを使ってぬいます。
③ あき部分は、ぬい目のあらさ0.5cmでしつけをします。
※ しつけは、ほどきやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。
しつけが終わったら、糸調子ダイヤルを「オート」にもどしてください。

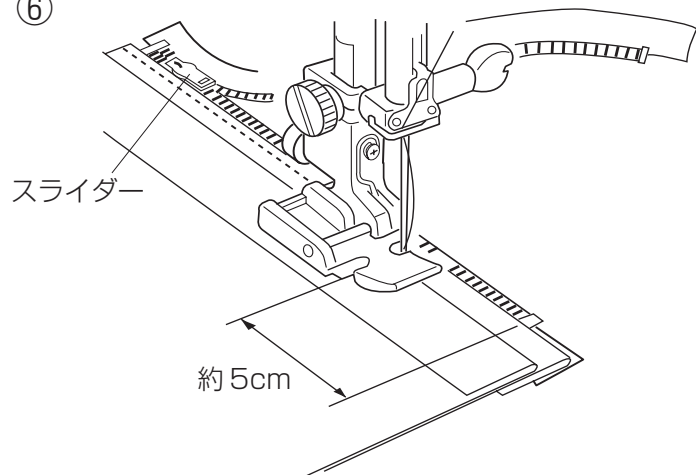
【3】

④

⑤

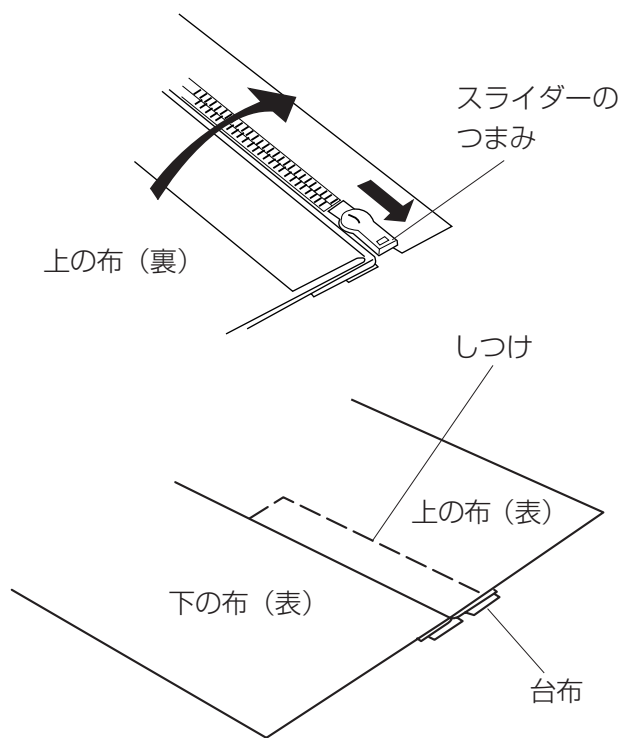
⑥

【3】ぬい方

④ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを0.3cm出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

⑤ ファスナー押さえの右側のピンを押さえホルダーにセットし、むしのきわを押さえの端（右側段部）にあて、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。

※ ぬい始めのほつれ止めは数針返しぬいをします。

⑥ ファスナーの端から約5cmほど手前でミシンを止め 、はずみ車をまわして針を布にさします。
押さえ上げをあげてスライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。

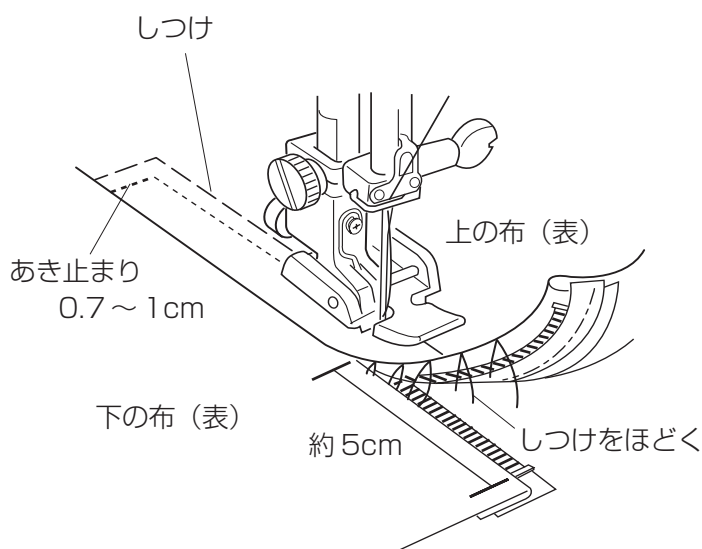
※ ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

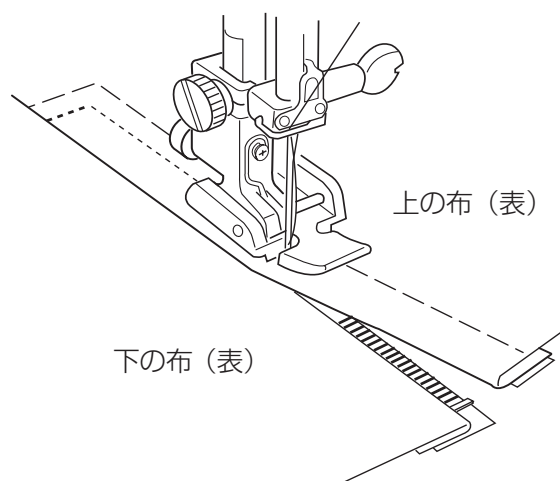
⑦

スライダーの
つまみ
上の布（裏）
しつけ
上の布（表）
下の布（表）
台布

⑦ ファスナーをとじ、スライダーを上にたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。
かぶせた布と台布をしつけで止めます。

※ しつけはＡ：基本押さえを使用します。
ほどきやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。
しつけが終わったら、糸調子ダイヤルを「オート」にもどしてください。

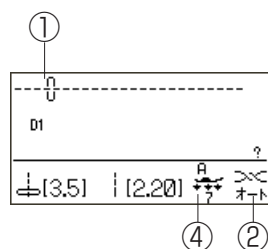
⑧

しつけ
あき止まり
0.7 ～ 1cm
上の布（表）
下の布（表）
約 5cm
しつけをほどく

⑧ ファスナー押さえの左側のピンを押さえホルダーにセットします。
上の布のあき止まりを 0.7 ～ 1cm ほど返しぬいしてから、むしのきわを押さえの端（左側段部）にあて、ファスナーの右側をぬいます。
ファスナーの上側を5cmほど残したところでミシンを止め、はずみ車をまわし針を布にさし、押さえ上げをあげて、準備の手順 ③ でぬったしつけ糸をほどきます。

⑨

⑨ スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。
ぬい終わったらぬい方の手順⑦でぬったしつけ糸をほどきます。

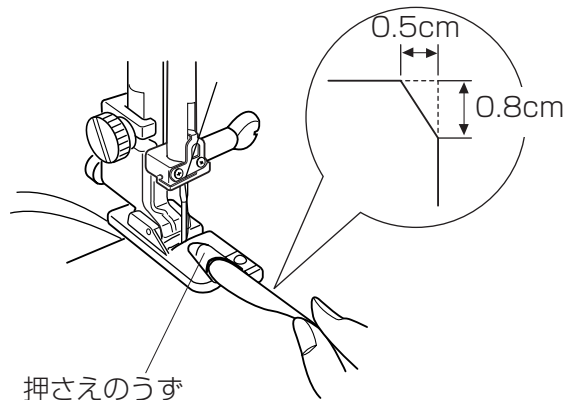
●三つ巻きぬい

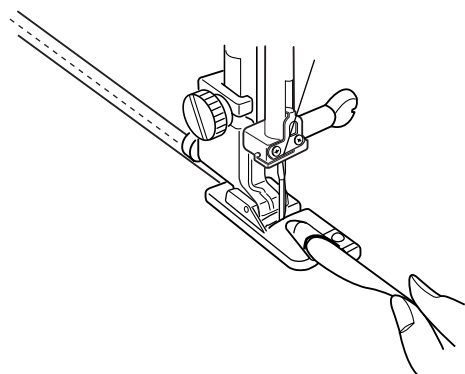
ミシンのセット

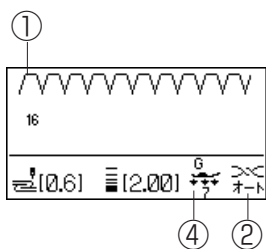
① 模様 D1

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... D：三つ巻き押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル ... ：7

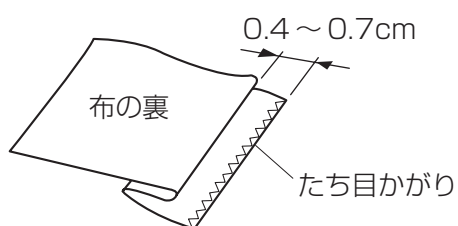
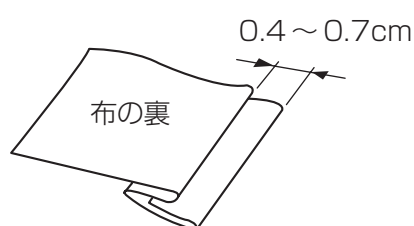
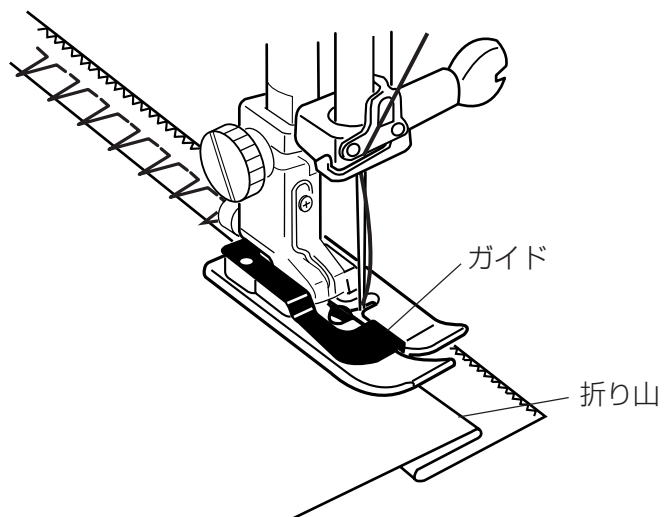
①

① 布を巻き込みやすくするため、布の角を少し切り、押さえのうずの中に布を針落ちにとどくところまで入れて、針をさして、押さえ上げをさげます。

②

② 上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、手ではずみ車を手前に３～４回まわします。
正しく巻き込まれたら、親指と人さし指で布をつまみ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

●まつりぬい

ミシンのセット
① 模様 16 17
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... G：まつりぬい押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

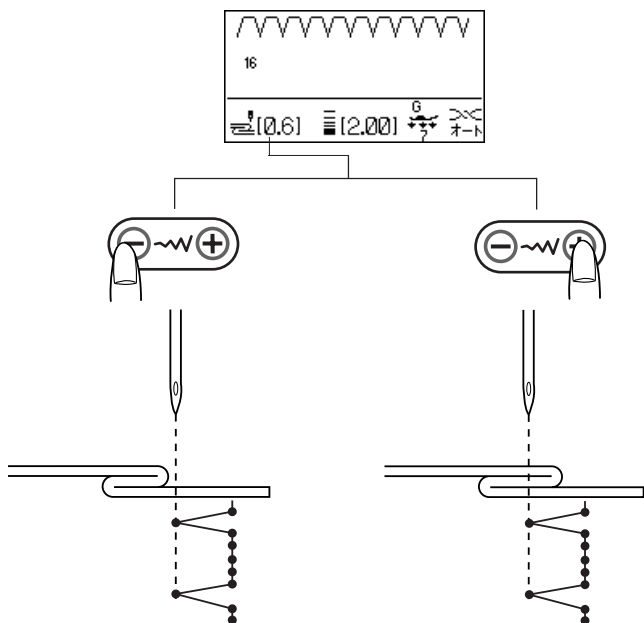
※模様 17 は伸縮性の布に利用します。

【布の折り方】

【厚い布の場合】

【うすい布、普通の布の場合】

①

① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山から外れないように、ぬい目の幅調節ボタンで針位置を調節してぬいます。

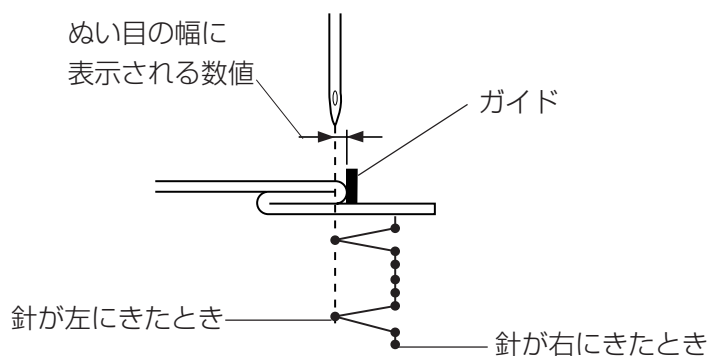
※ 模様 16 17 は、ぬい目の幅は変化せず、ガイドからの針位置がかわります。

②

② ぬい終わったら布をひろげます。

【針位置をかえたいとき】

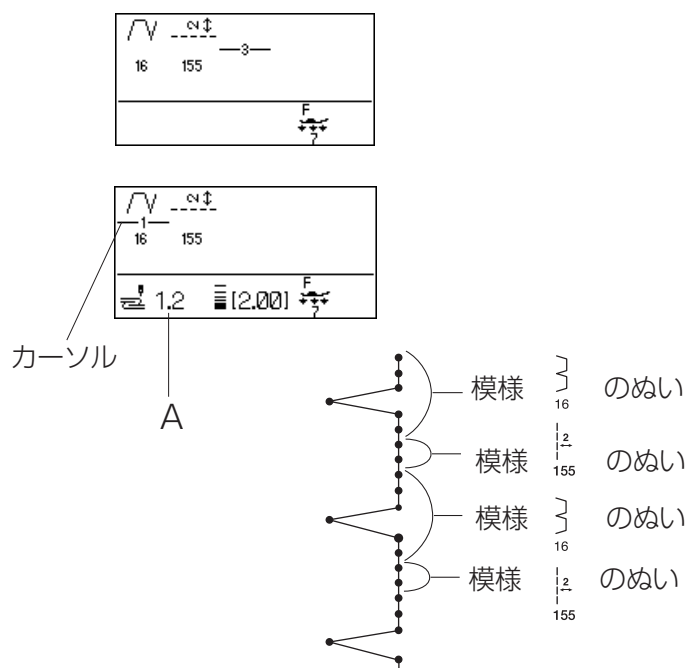
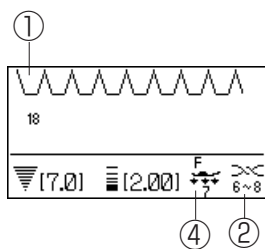
ぬい目の幅調節キー「−」または「+」を押します。
ぬい目の幅表示部の数値は、G: まつりぬい押さえのガイドと左側ぬい目との距離を示します。

「−」を押すと、針位置が右に移動します。

「+」を押すと、針位置が左に移動します。

【直線ぬい部のぬい目数を多くしたい場合】

模様 16 と、模様 155 または模様 156 のつなぎ模様を記憶してぬいます。
左記のように２針、または４針直線部のぬい目が増えます。

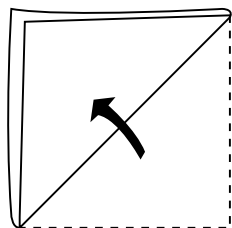
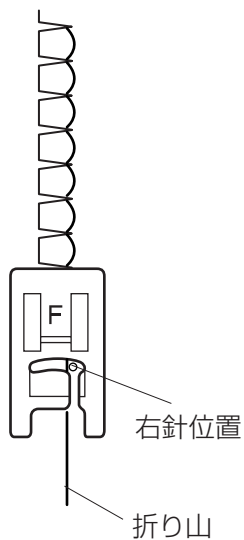
※ まつりぬいの針位置をかえたい場合、まつりぬい模様 16 の下へカーソルを移動させ、ぬい目の幅調節キーを押します。
（A は針位置を「1.2」にかえた画面です。）

なお、直線つなぎ模様 155 のぬい目の幅の調節は不要です。この模様は、前の模様の針位置と、ぬい目のあらさを引き継ぐつなぎ模様です。

●シェルタック

ミシンのセット

① 模様 18

② 糸調子ダイヤル .... 6～8

③ 押さえ .... F：サテン押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

① 布をバイヤスに２つ折りにします。

② 右の針位置が布の折り山のきわ（布の外側）におりるようにしてぬいます。

◎ボタンホール（BH)

●ボタンホールの種類と用途

②のメモリーボタンホールをのぞくボタンホールは、R：ボタンホール押さえにボタンをセットするだけで、自動的に最適なボタンホールをぬうことができます。

①

23

①スクエア

普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。

②

MEM

24

② スクエア（メモリー）

普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。

③

25

③片ラウンド

普通の布からうすい布に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。

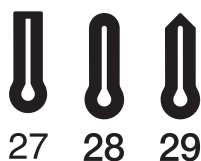
④

26

④両ラウンド

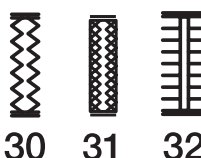
うすい布に使います。薄手のブラウスでよく使われます。

⑤

27 28 29

⑤キーホール

普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールです。
大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。
※模様 29 は、片方の口を補強したボタンホールです。

⑥

30 31 32

⑥ニット

伸縮性のある布に適したボタンホールです。
そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。
※模様 32 はうす地用です。

⑦

33

⑦たまぶち

たまぶちボタンホールを作る最初の工程になります。

●スクエアボタンホール

ミシンのセット

① 模様 23

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... R：ボタンホール押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

★ ぬい方

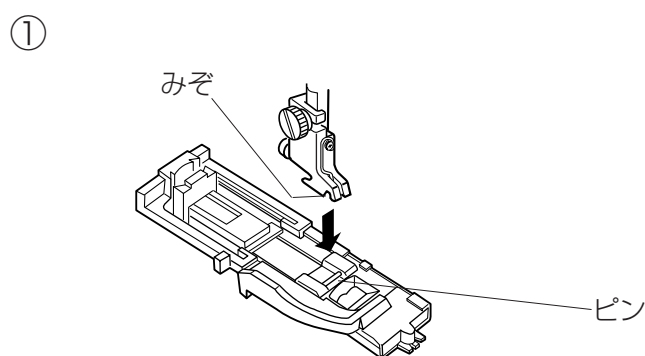
※ ボタンホールの長さは使用するボタンをボタン受け台にはさみ込むと決まります。

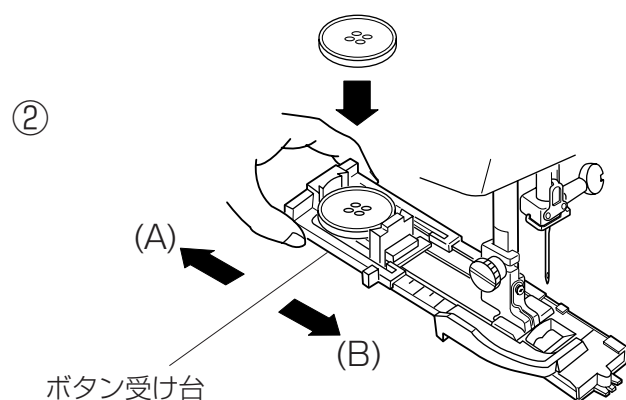
※ ボタンの直径1.0〜2.5cmまでボタンホールができます。

※ 伸縮性のある布には裏に伸びにくい芯地を貼ります。

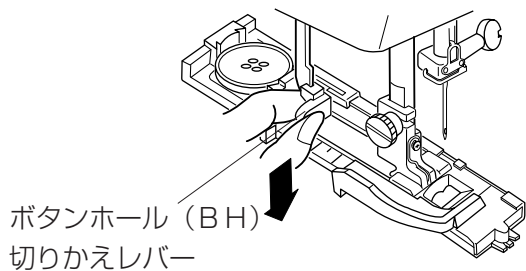
※ 必ず試しぬいをして正しくぬえることを確認してください。

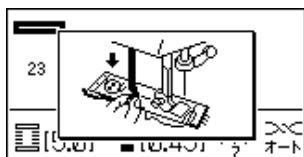
※ 布のボタンホールぬい位置にマークを付けてください。

①

① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
押さえホルダーのみぞと押さえのピンを合わせ、押さえ上げをさげてセットします。

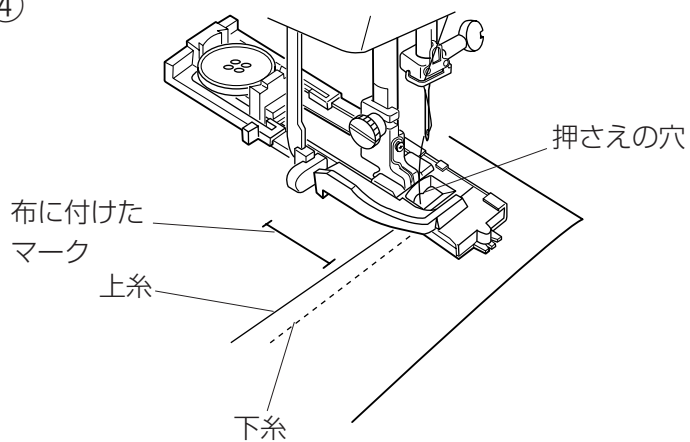
②

② ボタン受け台を(A)の方向へ引きボタンを乗せて(B)方向にもどしてはさみ込みます。

※ ボタン受け台とボタンのすき間をあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。

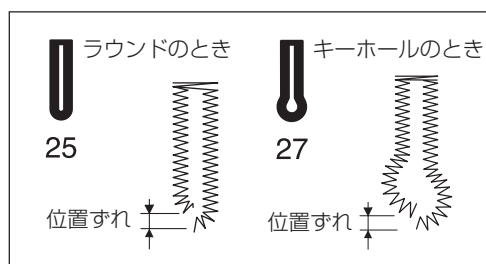
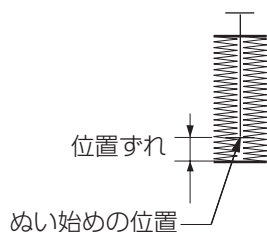
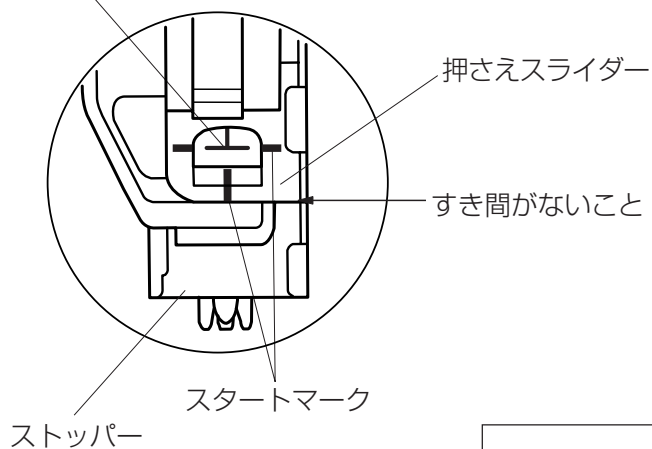
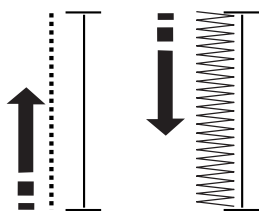
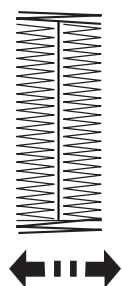
③

③ ボタンホール（BH）切りかえレバーを止まるまでいっぱいに引きさげます。

【A】

【A】

※ ボタンホール（BH）切りかえレバーをさげないでボタンホールをぬうと注意画面が表示されミシンが止まります。ボタンホール（BH）切りかえレバーを引きさげて再スタートします。

④

④ 押さえ上げをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。布を入れ、押さえのスタートマークと布に付けたマークの位置を合わせます。

※ ぬい始めに押さえスライダーとストッパーの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるとぬい終わったとき、位置ずれがおこることがあります。

⑤

⑤ ミシンをスタートさせます。
　ボタンホールをぬい終わったところで自動的に止まります。

【ぬい順序】

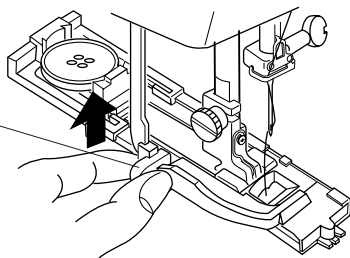
【1】第１ステップ・・・下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
【2】第２ステップ・・・下ぬいのあと、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
【3】第３ステップ・・・かんぬきと止めぬいをして自動的に止まります。

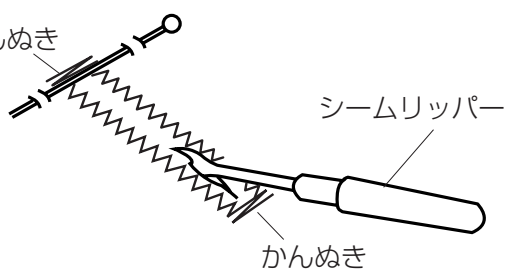
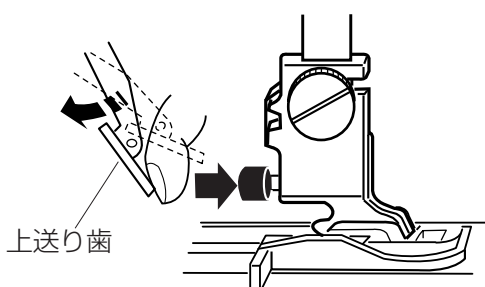
※ 引き続きボタンホールをぬう場合 、糸切りボタンを押して糸を切り、押さえ上げをあげます。
　そのままの状態で別の場所に押さえ上げをさげ、スタートします。

【重ねぬい】

（ボリューム感のあるボタンホールができます。）

一度目のボタンホールをぬい終わったら、押さえ上げをさげたまま、スタートすると自動的に重ねぬいをします。

⑥

⑥ ぬい終わったら、ボタンホール（BH）切りかえレバーを止まるまでいっぱいに押しあげてもどしてください。

⑦

⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、シームリッパーでかがった糸を切らないように、ボタン穴を切り開きます。

【ボタンホール押さえを外すとき】

ボタンホール押さえを外すときは、上送り歯を押さえホルダーの赤ボタンを押せる程度に少し持ちあげて外します。

ミシンのセット

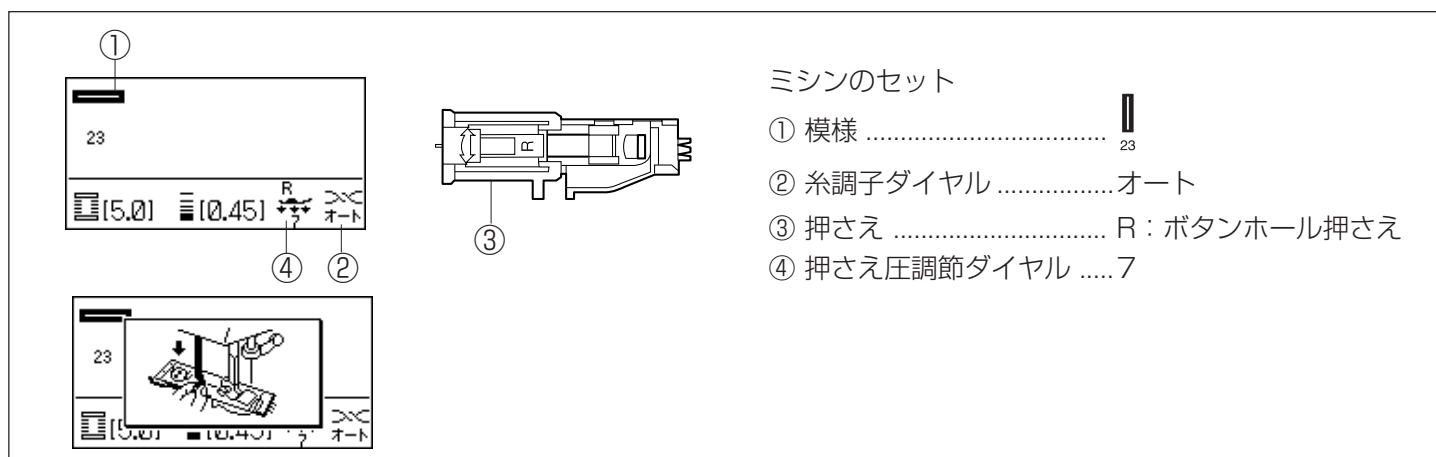
① 模様 23

② 糸調子ダイヤル ....オート

③ 押さえ .... R：ボタンホール押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

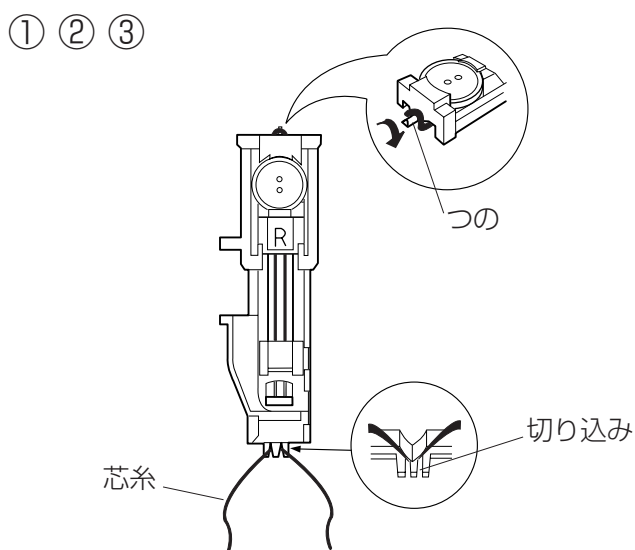
★芯入りボタンホール

① ② ③

※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってください。

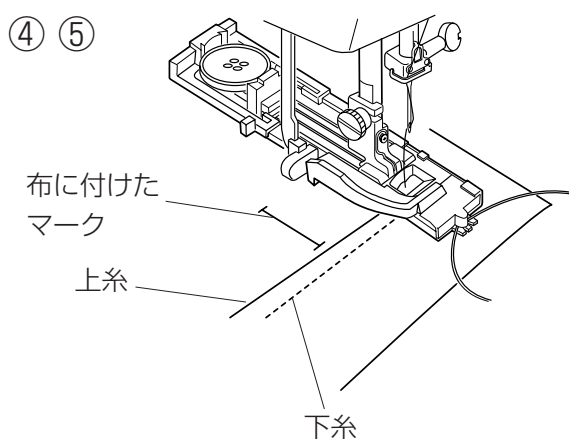
① 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。

② 押さえ前部の右側切り込みに芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押さえの下からうしろに引き、輪にしてつのにかけます。

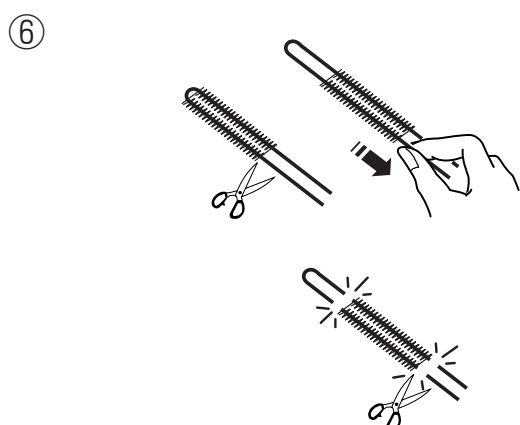
③ つのにかけた芯糸を押さえの下を通して、前部左側の切り込みにしっかりはさみます。

④ ⑤

④ 押さえのスタートマークと布に付けたマークの位置を合わせます。

⑤ ボタンホールをぬいます。

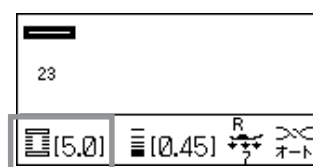
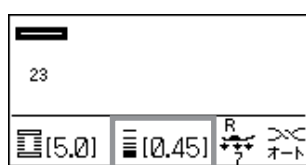
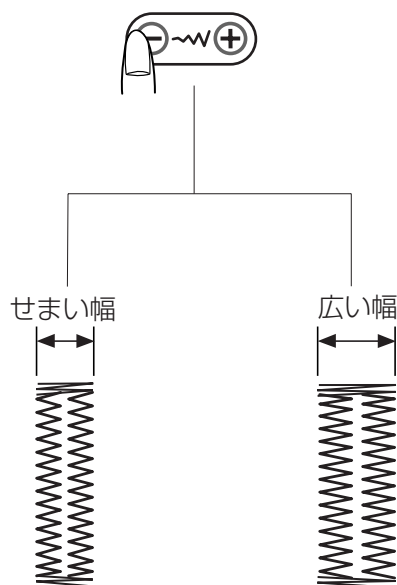
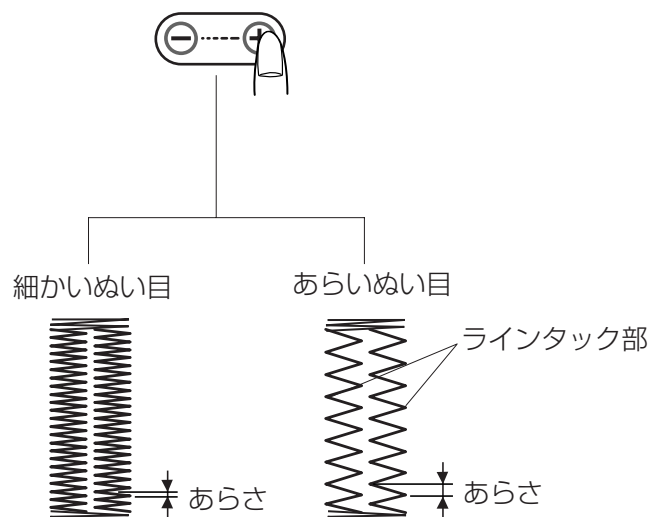
⑥

⑥ 芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

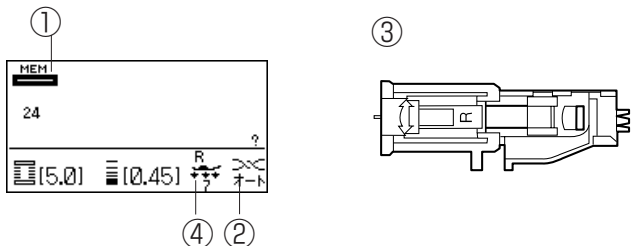
※ 両側の芯糸が引けない場合は、芯糸の両側を切ってください。

※ ぬい目の幅は芯糸に合わせてセットします。
(ボタン穴のあけ方は 54 ページをごらんください。)

★ボタンホールの幅をかえるとき

ぬい目の幅調節キーで調節します。

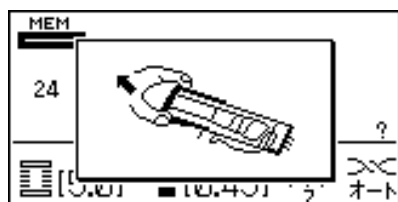
「＋」を押すと、ボタンホールの幅は広くなります。

「－」を押すと、ボタンホールの幅はせまくなります。

★ ボタンホールのあらさをかえるとき

ぬい目のあらさ調節キーで調節します。

「＋」を押すと、ぬい目のあらさはあらくなります。

「－」を押すと、ぬい目のあらさは細かくなります。

※ ぬい途中でボタンホールのあらさをかえたい場合、ラインタック部で止めてから行ってください。

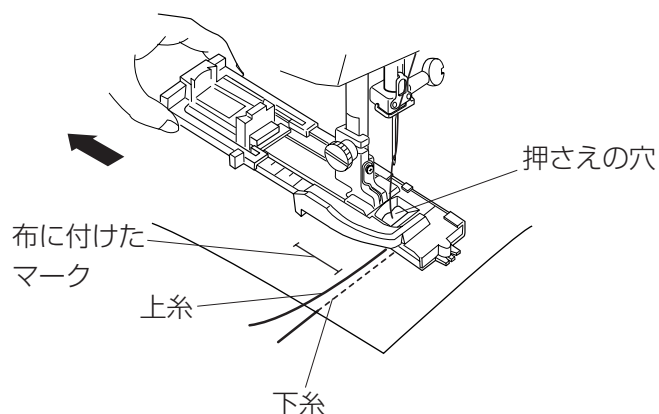
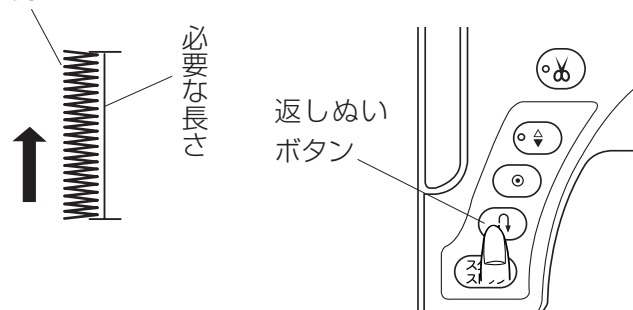
※ 電源を切ったときや他の模様を選択したとき、ボタンホール幅、ぬい目のあらさのセットは取り消されます。
（ぬい目の幅、ぬい目のあらさのオート値変更は 34 ページをごらんください。）

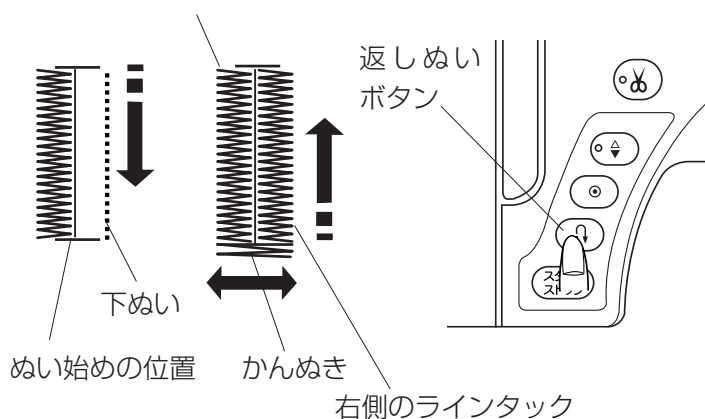
●スクエア（メモリー）ボタンホール（MEM）

（注意画面）

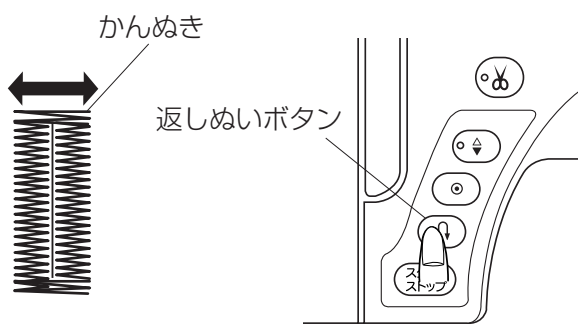
※ 模様を選ぶとボタン受け台を引き出してくださいの注意画面がでます。
※ ボタンホールの幅やあらさをかえたいときは、ぬい目の幅調節キー、ぬい目のあらさ調節キーを押してください。
※ 伸縮性のある布には裏に伸びにくい芯地を貼ります。
※ 必ず試しぬいをして正しくぬえることを確認してください。

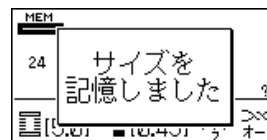
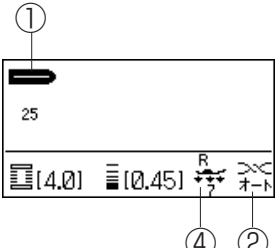
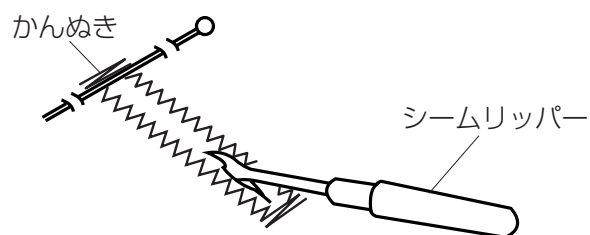
① ボタン受け台をいっぱいに引き出します。

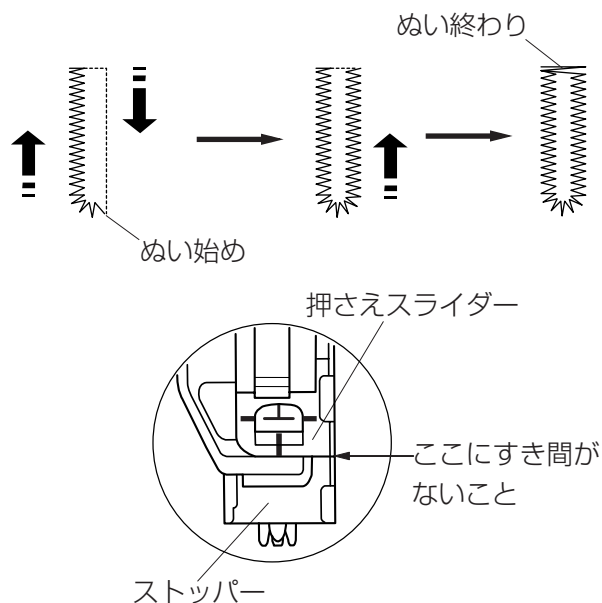
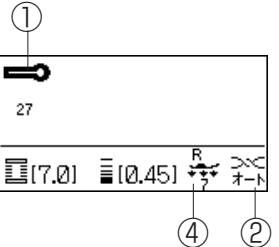
② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

③

③ 左側のラインタック部を必要な長さまでぬったら止めて、返しぬいボタンを押します。

※ ぬうときは、ゆっくりぬってください。

④ ぬい始めの位置にもどったら止めて、返しぬいボタンを押します。再びミシンをスタートして、かんぬきと右側ラインタック部をぬいます。

⑤ 左側のラインタック部の端までぬったらミシンを止めます。
返しぬいボタンを押します。

⑥ かんぬきと止めぬいをし、自動的に止まるまでぬいます。

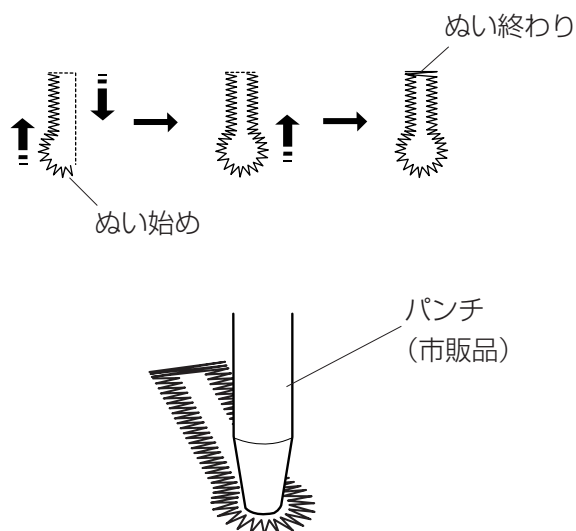
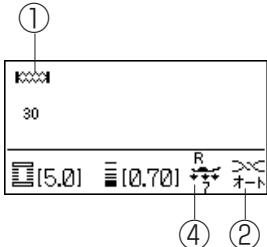
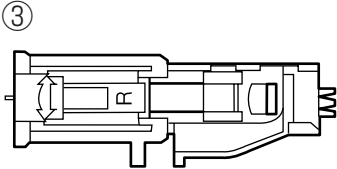
※ ぬい終わると、「サイズを記憶しました」と表示します。

※ 引き続きメモリーボタンホールをぬう場合、ミシンをスタートすると２度目からは同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。

※ 異なる大きさのボタンホールをぬうときには、記憶キーを押し、手順 ②～⑥ を行います。

⑦ かんぬきの内側にまち針をわたしてシームリッパーでかがった糸を切らないように切り開きます。

●ラウンドボタンホール

※ ぬい順序はスクエア（メモリー）ボタンホールと同じです。

【ボタンホールの幅をかえるとき】

自動セットの値 4.0 が表示されています。
ぬい目の幅調節キーを押して「2.5 ～ 5.5」まで 0.5 ずつかえられます。

【ボタンホールのぬい目のあらさをかえるとき】

ぬい目のあらさは 0.30 ～ 1.0 のはんいでかえられます。

●キーホールボタンホール

※ ぬい順序はスクエア（メモリー）ボタンホールと同じです。
※ キーホールボタンホールの場合は、パンチ（市販品）で穴をあけてからシームリッパーで切り開いてください。

【ボタンホールの幅をかえるとき】

自動セットの値 7.0 が表示されています。
ぬい目の幅調節キーを押して「5.5 ～ 7.0」まで 0.5 ずつかえられます。

【ボタンホールのぬい目のあらさをかえるとき】

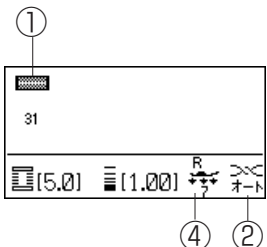
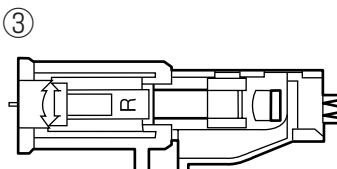
ぬい目のあらさは 0.30 ～ 1.0 のはんいでかえられます。

●ニットボタンホール

ミシンのセット
① 模様 30 32
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... R：ボタンホール押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

【ぬい順序】

① かんぬきと左側のラインタック部をぬいます。

② かんぬきと右側のラインタック部をぬい、止めぬいをして自動的に止まります。

【ボタンホールの幅をかえるとき】

自動セットの値5.0が表示されています。
ぬい目の幅調節キーを押して「2.5～7.0」まで0.5ずつかえられます。

【ボタンホールのぬい目のあらさをかえるとき】

ぬい目のあらさは模様30は0.50～1.0、模様32は0.50～2.5のはんいでかえられます。

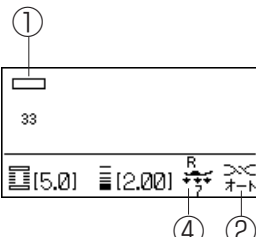
※ 左右のぬい目のあらさがそろわないときには「模様の形の整え方」（99ページ）をごらんください。

ミシンのセット
① 模様 31
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... R：ボタンホール押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

①
左側の
ラインタック
かんぬき
②
右側のラインタック

【ぬい順序】

① 左側のラインタック部とかんぬきをぬいます。

② かんぬきと右側のラインタック部をぬい、止めぬいをして自動的に止まります。

【ボタンホールの幅をかえるとき】

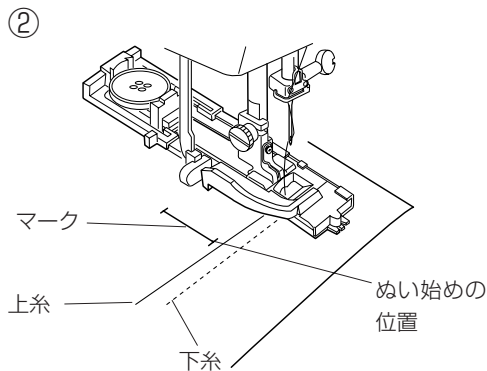
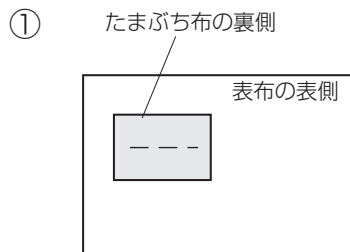
自動セットの値5.0が表示されています。
ぬい目の幅調節キーを押して「2.5～7.0」まで0.5ずつかえられます。

【ボタンホールのぬい目のあらさをかえるとき】

ぬい目のあらさは0.70～1.2のはんいでかえられます。

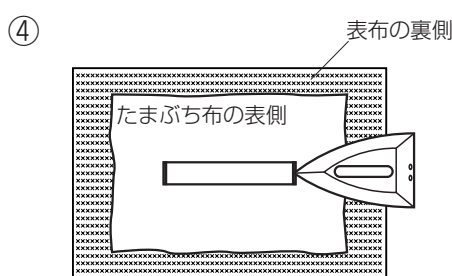
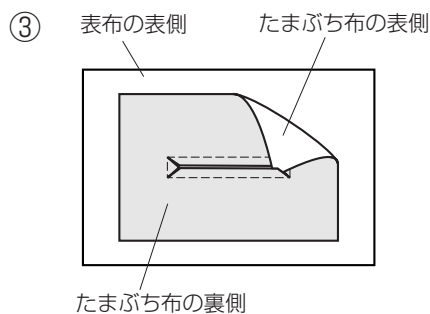
●たまぶちボタンホール

①

②

① たまぶち布と表布をしつけぬいで止めます。

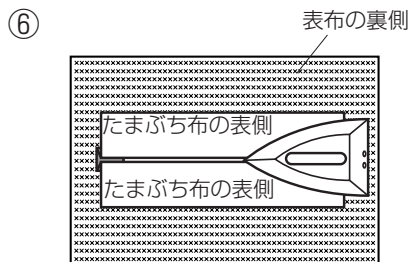
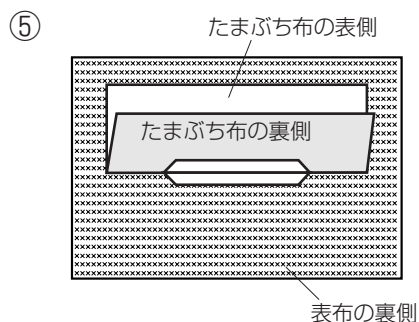
② ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげてスタートします。

③

④

③ ぬい終わったらＹ字型に切り込みを入れ、たまぶち布を裏側に出します。

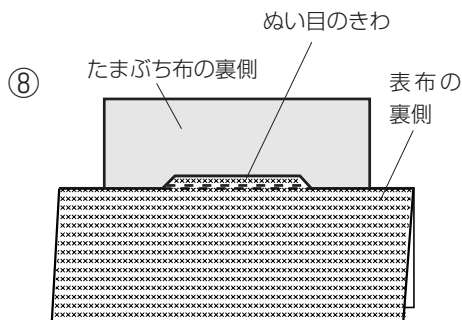
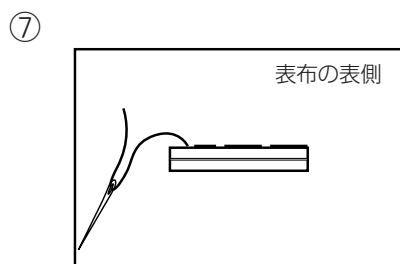
④ 布表が見えるまでたまぶち布を引き、アイロンの先で角を整えます。

⑤

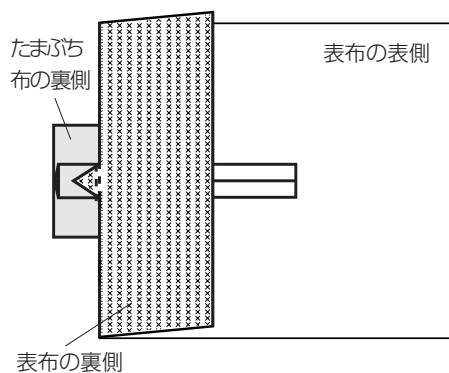
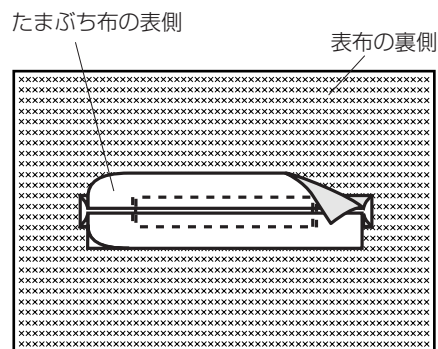
⑥

⑤ ぬいしろを正しく割ります。

⑥ アイロンで幅を整えます。

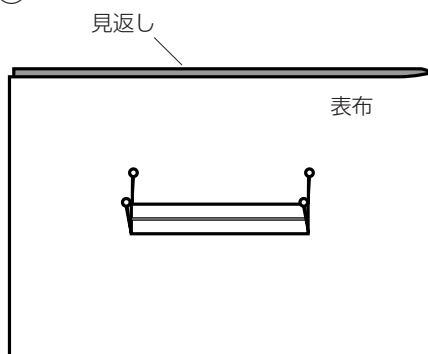
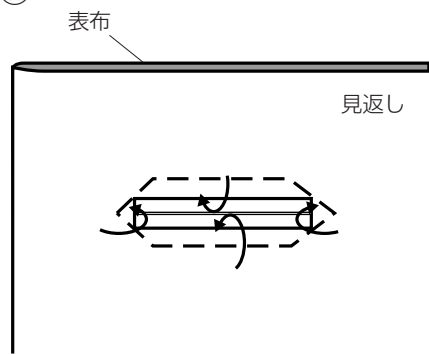
⑦

⑧

⑦ ぬい目にしつけをします。

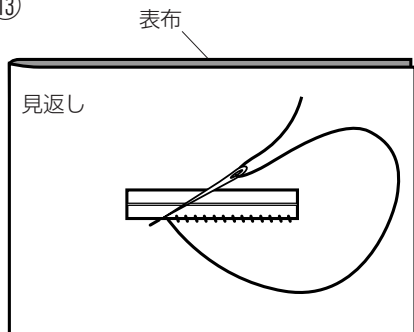
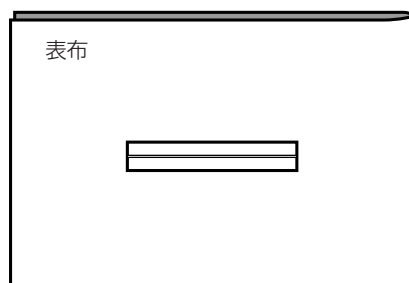
⑧ ぬい合わせたぬい目のきわをぬいます。

⑨

⑩

⑨ 三角の布に三重にぬいをします。

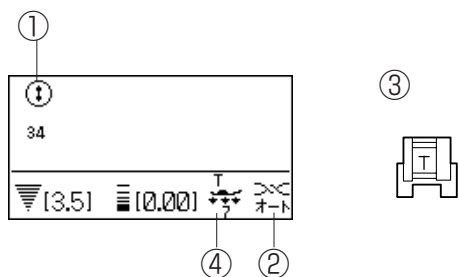
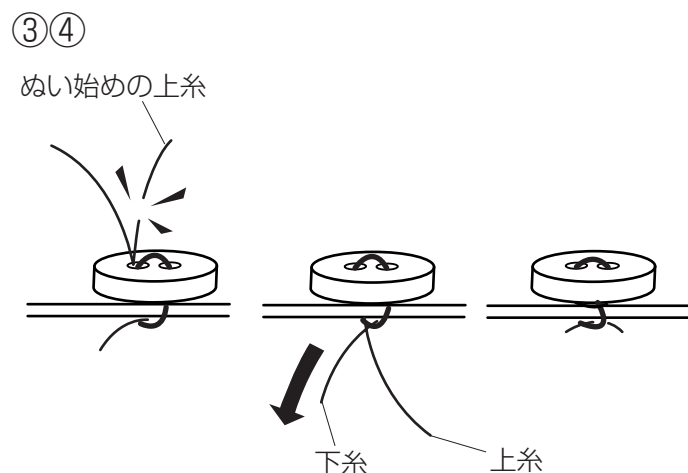
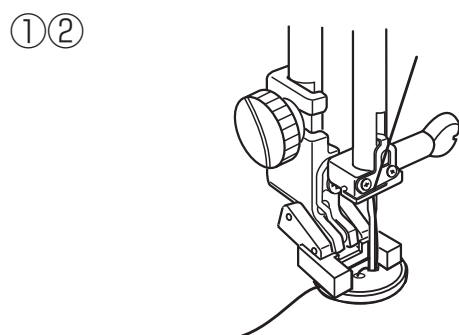
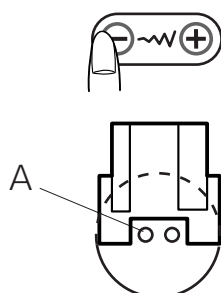
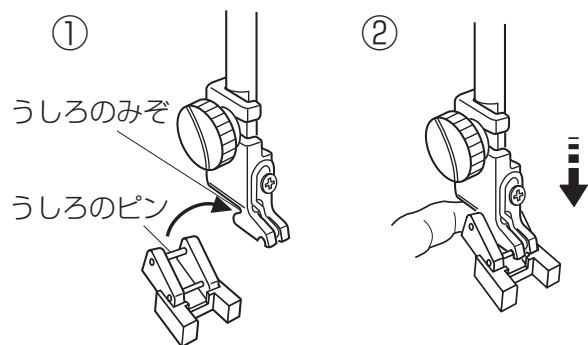
⑩ たまぶち布を穴から 1.0 ～ 1.5cm にたちおとします。
角は丸くたちおとします。

⑪

⑫

⑪ 見返しに、たまぶち穴の形のしるしを付けます。

⑫ 見返しの表から手順③のようにＹ字型に切り込みを入れて、出来上がりの幅に折り、切り込まれた布を見返しとたまぶち布の間に折り込みます。

⑬

⑭

⑬ 細かくまつります。

⑭ 完成です。

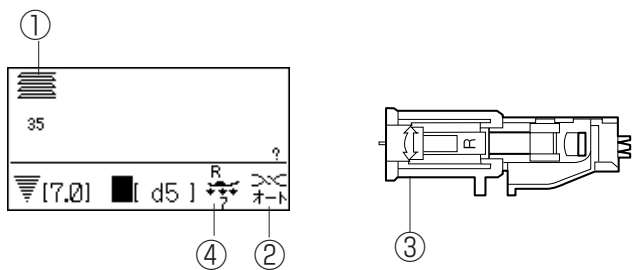
●ボタン付け

ミシンのセット
① 模様 34
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... T:ボタン付け押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7
※ 送り歯をさげます。(24ページをごらんください。)

⚠ 注意

押さえの取り付け、取り外しのときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
ケガの原因になります。

【ボタン付け押さえの外し方、付け方】

① 針と押さえ上げをあげ、押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。
② 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげ、押さえをつけます。
※ 押さえを外すときは、押さえホルダーの赤ボタンを押して外します。

⚠ 注意

針折れの原因となりますので、必ず針がボタン穴の左右におりることを確認してください。
ケガの原因になります。

【ボタン穴と針位置調整】

はずみ車を手で手前にまわして、針が左にきたときボタン穴の左の穴(A)におりるようにします。ぬい目の幅調節キーで左右のボタン穴に針が入るようぬい目の幅を調節します。
※ ぬい目の幅は、左針位置は固定され、右の針位置が変化します。

③④

ぬい始めの上糸

下糸　上糸

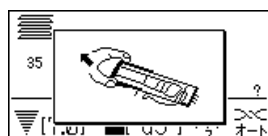
【ぬい】

① ボタンの左右の穴が真横にくるようにして押さえ上げをさげます。

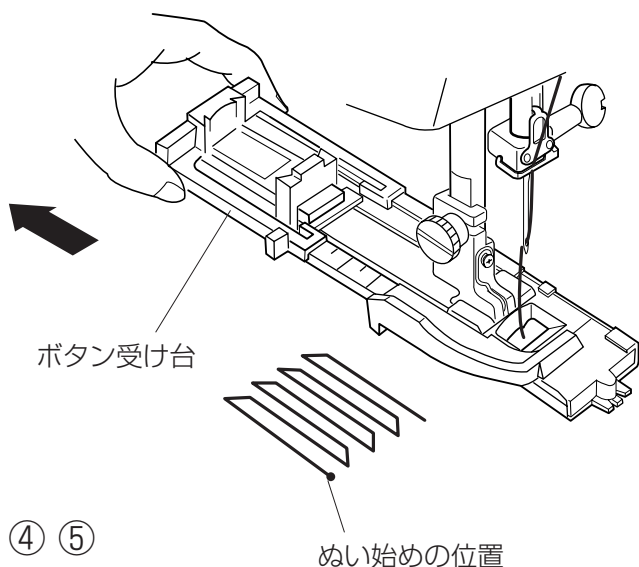
② はずみ車を手前にまわして針が左右の穴におりることを確かめます。

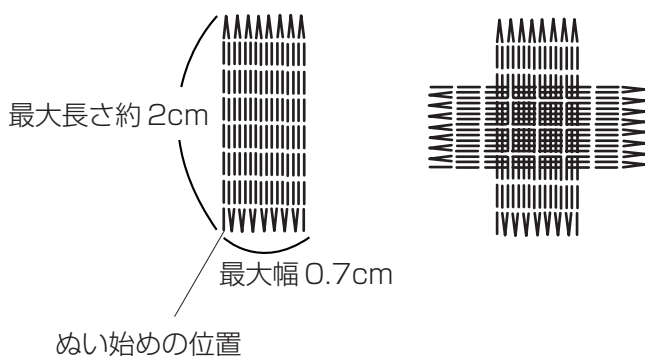
③ 自動的に止まるまでぬいます。
※ ぬい始めの上糸は、はさみで切り取ってください。

④ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10cmくらい残して切ります。
ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

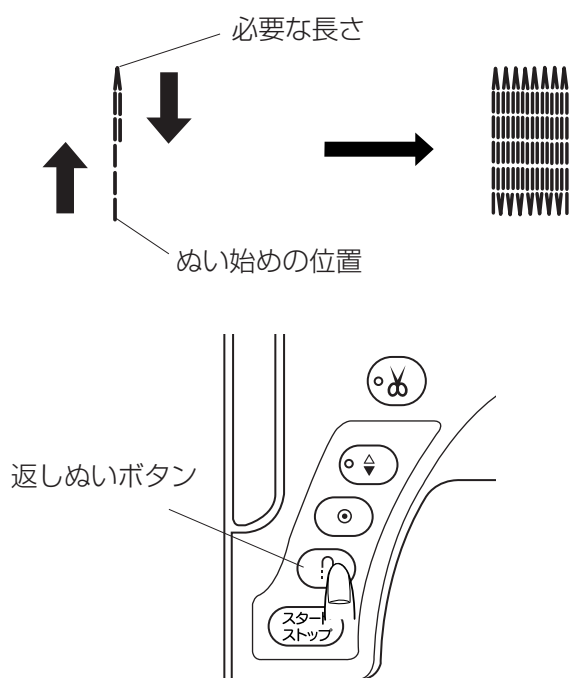
●ダーニング

※注意画面

※模様を選択すると、ボタン受け台を引き出す注意画面を表示します。

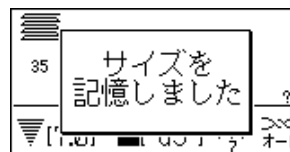
① ボタン受け台をいっぱいに引き出します。

② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

③ ぬう位置に押さえをセットします。

④ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげ自動的に止まるまでぬいます。

※ 1回のぬいで最大長さ約2cm、最大幅約0.7cmまでぬえます。

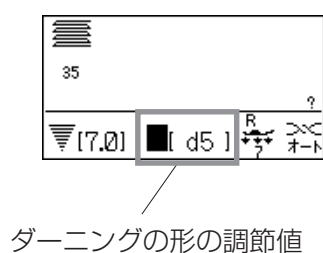
⑤ 布の向きをかえてくり返しぬいます。

【2cmより短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して自動的に止まるまでぬいます。

※ ぬい終わると、「サイズを記憶しました」と表示します。

【ダーニングサイズの記憶】

そのまま別の場所にぬうと、くり返し同じ大きさのダーニングがぬえます。

【ダーニングサイズの変更】

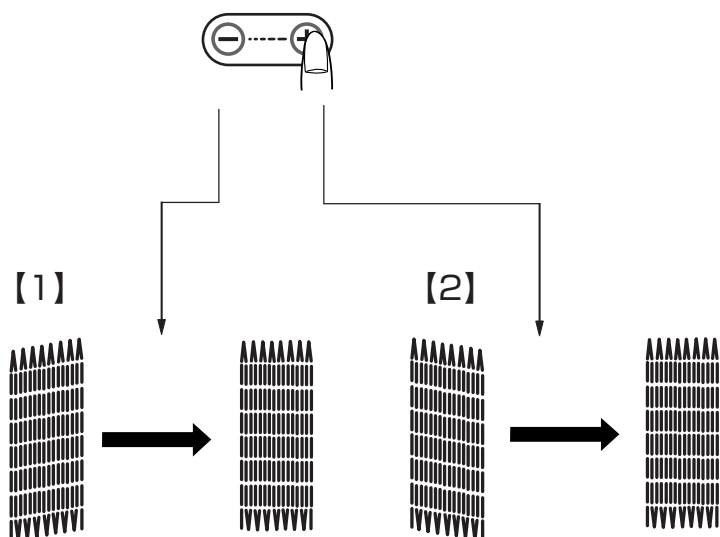
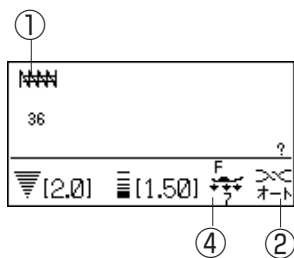
サイズの異なるダーニングをぬう場合、記憶キーを押してスタートし、必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して新しいサイズを記憶します。

ダーニングの形の調節値

【ダーニングの形の整え方】

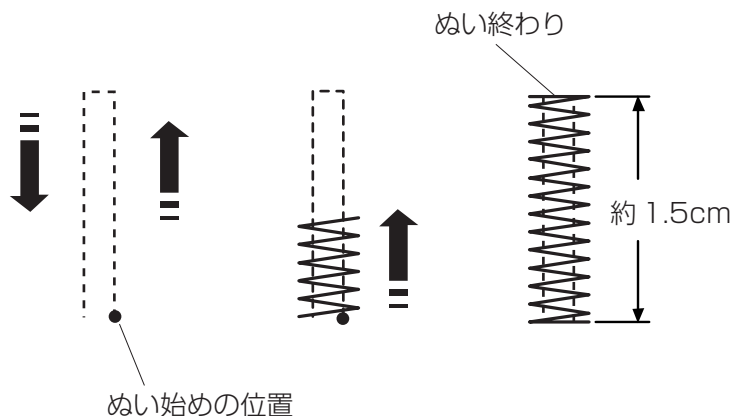
ダーニングのぬい始め（左側）と、ぬい終わり（右側）の高さがそろわないときは、ぬい目のあらさ調節キーを押して調節します。

【1】 左側が低いとき「－」を押します。

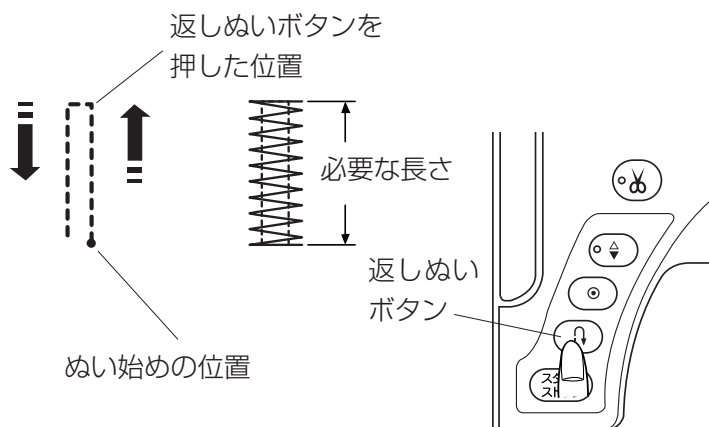
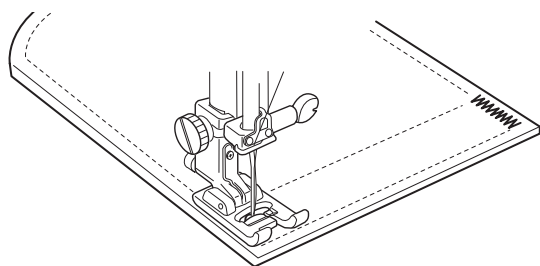
【2】 右側が低いとき「＋」を押します。

「d1」～「d9」のはんいで調節してください。

●かんぬき止め

ミシンのセット

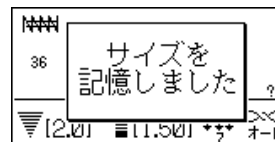
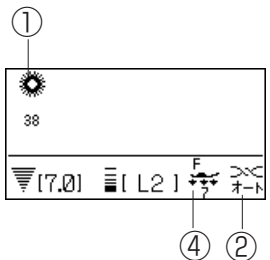
① 模様 36
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... F：サテン押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

※模様 37 は、あき止まりや、ポケットぐちの飾りを兼ねた補強ぬいに使用します。

ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。

1 回のぬいでオート値約 1.5cm が自動的にぬえます。

※ぬい始めの上糸、下糸は横に引き出しておきます。

【1.5cm より短い長さでぬうとき】

必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

※ ぬい終わると、「サイズを記憶しました」と表示します。

【かんぬき止めサイズの記憶】

そのまま別の場所にぬうと、くり返し同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

【かんぬき止めサイズの変更】

サイズの異なるかんぬき止めをぬう場合、記憶キーを押してスタートし、必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して新しいサイズを記憶します。

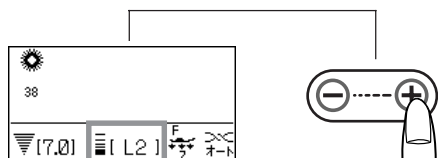
●アイレット

ミシンのセット

① 模様 38 39 40

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... F：サテン押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

自動的に止まるまでぬいます。

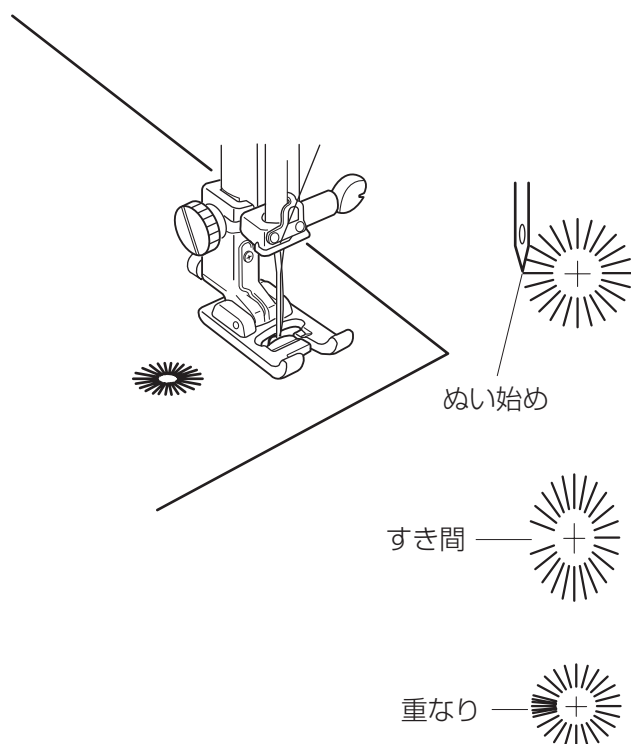
※ ぬい目の内側をパンチ(市販品)などで穴をあけます。パンチの穴の大きさは直径0.25cm以下のものをご使用ください。

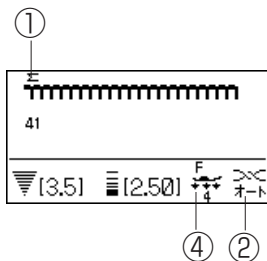
※ ぬい始めの上糸、下糸は横に引き出しておきます。

重なり

【アイレット形状の修正】

布によってアイレットの形がくずれるときに調節します。
ぬい目のあらさ調節ボタンを押して変更します。
「L1」「L2」「L3」が表示されます。

ぬい目にすき間があるときは「L1」にします。
ぬい目の重なりがあるときは「L3」にします。
初期の値（購入時のセット状態）は「L2」です。

◎アップリケ

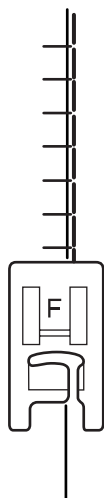
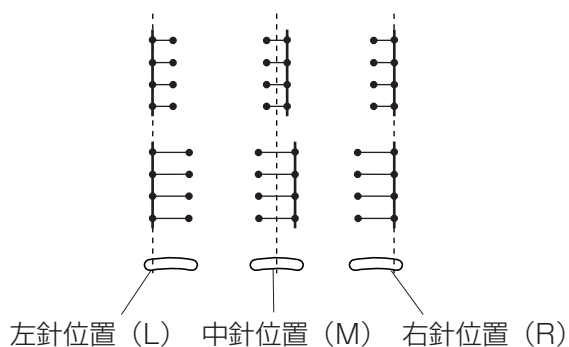
●アップリケ

ミシンのセット

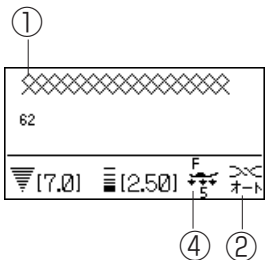
① 模様 .... 41 M

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... F：サテン押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 4

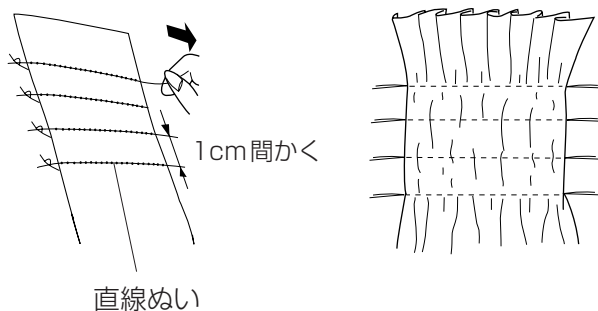
※その他、模様 42 M ～ 54 を使用ください。

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
針をアップリケ布の外側に落としてぬってください。

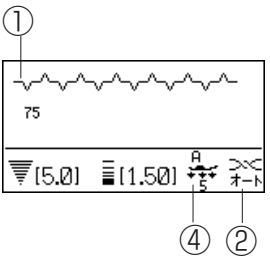
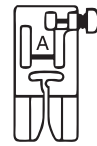
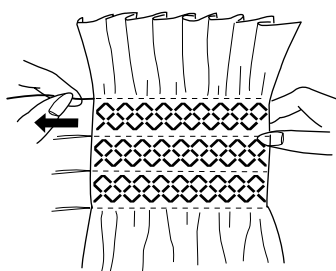
※ カーブのところや方向転換するところではミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を下位置にしたままで方向をかえるときれいに仕上がります。

※ 模様 41 M に付いてるＭは、中針位置を基準（固定）に、ぬい目の幅が変化します。
模様 44 R に付いてるＲは、右針位置を基準（固定）に、ぬい目の幅が変化します。
模様 49 L に付いてるＬは、左針位置を基準（固定）に、ぬい目の幅が変化します。

◎伝統的模様

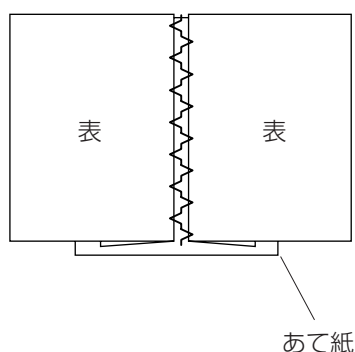
●スモッキング

ミシンのセット

① 模様 ....
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... F：サテン押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 5

【直線ぬい】

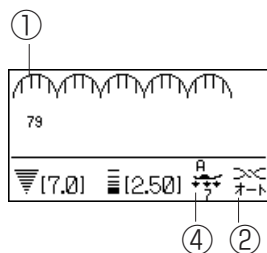
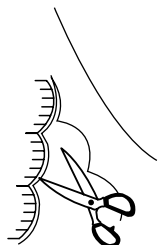
糸調子を弱くして、ぬい目のあらさが3.0～4.0の直線を1cm間かくで数本ぬいます。
上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。

【模様ぬい】

上記の直線ぬいを数本ぬったあと、直線ぬいと直線ぬいの間に模様ぬいしてから、直線ぬいの上糸と下糸をぬきとります。

●ファゴティング

ミシンのセット

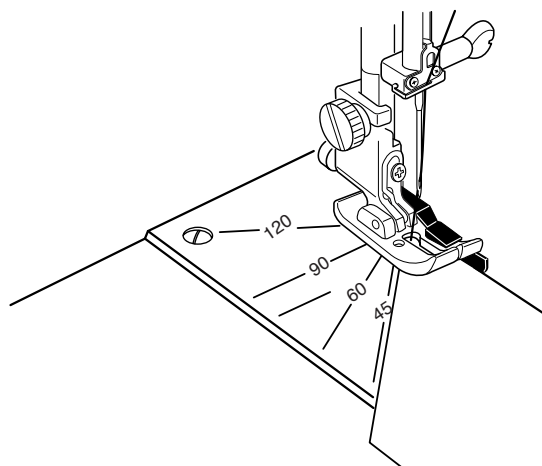
① 模様 ....
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... A：基本押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 5

① 布端と布端の間かくを0.3～0.4cmあけて、下にあて紙をおきます。

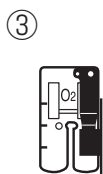
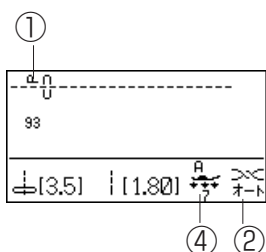
② 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。

③ あて紙をとります。

●スカラップ

布の表から布端を 1cm くらい残してぬいます。
糸を切らないように外側の布を切り落とします。

◎キルト

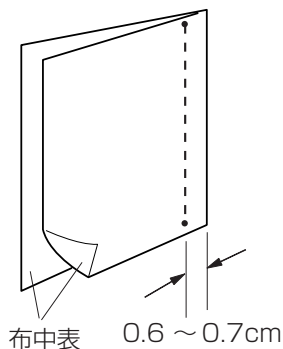
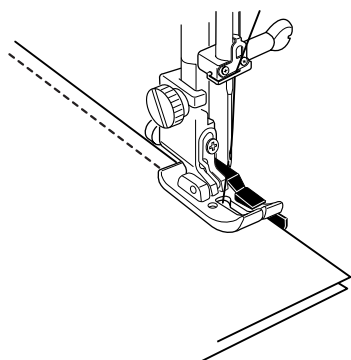
●針板角度目盛りの利用

パッチワーク布片の形状により、針板の角度目盛りに布端を合わせると印なしでぬえます。

●地ぬい

ミシンのセット

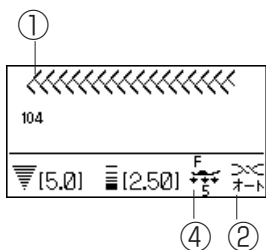
① 模様 93

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... O2：パッチワーク押さえ

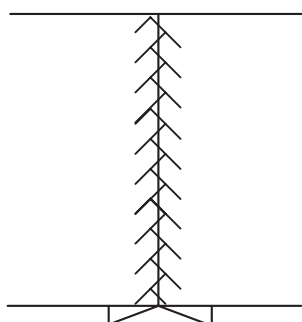
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

パッチワーク布片を中表に合わせ、ぬいしろを0.6～0.7cmとり、はぎ合わせます。

※ パッチワーク押さえを利用すると､ぬいしろが自動的に決まりますので便利です。

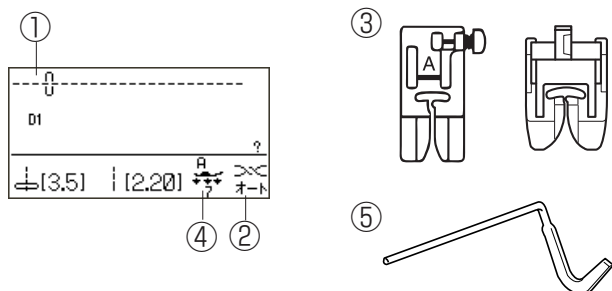
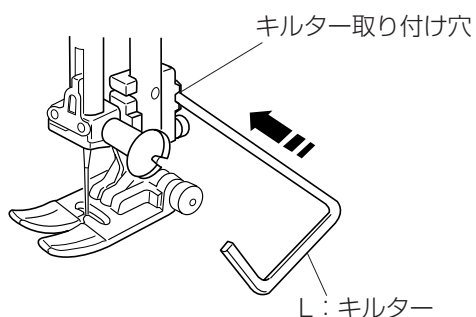
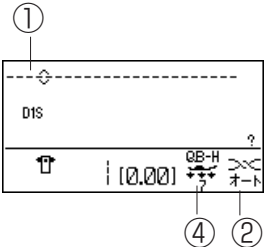
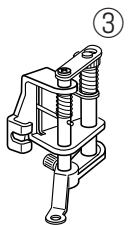
●パッチワーク

ミシンのセット

① 模様 104

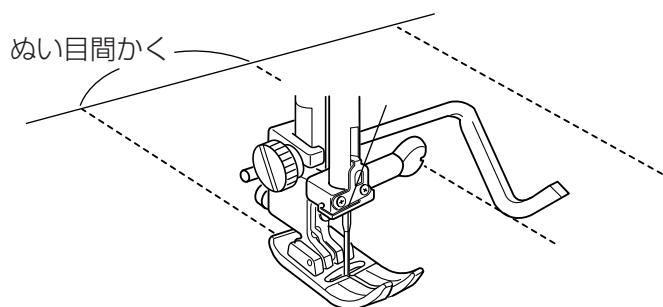
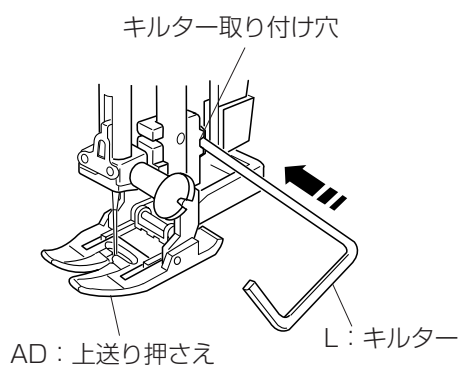
② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... F：サテン押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 5

布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

●キルティング

【キルターの取り付け方】

キルターを押さえホルダーの取り付け穴に差し込み、ぬい目の間かくに合わせます。

※キルターは前にぬったぬい目をたどるのに使います。

●フリーキルティング

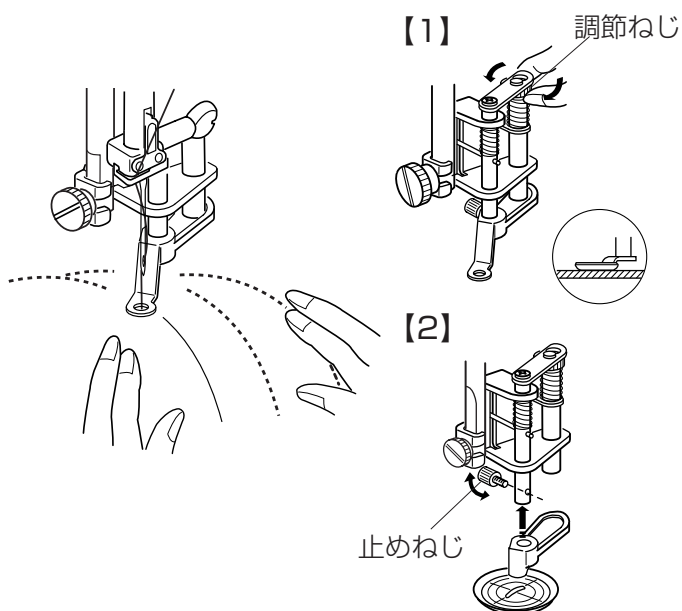
ミシンのセット

① 模様 D1S

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... QB-H：交換式フリーキルト押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

※ 送り歯をさげてください。（24 ページをごらんください。）

交換式フリーキルト押さえの取り付けは、40ページをごらんください。

図案にそって布を両手で案内しながらキルティングします。

※布を動かす量は、1針あたり3mm以下を目安に行ってください。

※前あきフリーキルト押さえを使用するときは、布を手前側に強く引っ張らないでください。
針折れ、ケガ、故障の原因になります。

【1】押さえ高さの調節

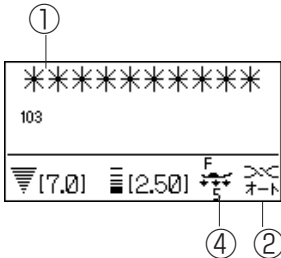
押さえをさげ、調節ねじをまわして押さえ高さを調節します。

押さえ高さは、押さえの下面がぬう布に軽く触れるぐらいに調節します。

【2】押さえの交換

①針と押さえをあげ、調節ねじをまわして、押さえをいちばん下までさげます。

②止めねじをゆるめ、押さえを外します。

③使用する押さえを取り付け、止めねじをしめます。

【3】押さえの用途

（丸穴フリーキルト押さえ・前あきフリーキルト押さえ）

フリーキルトの基本的な押さえです。

前あきの押さえは、手元が見えやすいので細かな作業に適しています。

（透明樹脂フリーキルト押さえ）

透明で手元が見やすく、安定して布を押さえるので、段差のある作品にも適しています。

また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。

【3】

丸穴フリーキルト押さえ	前あきフリーキルト押さえ	透明樹脂フリーキルト押さえ

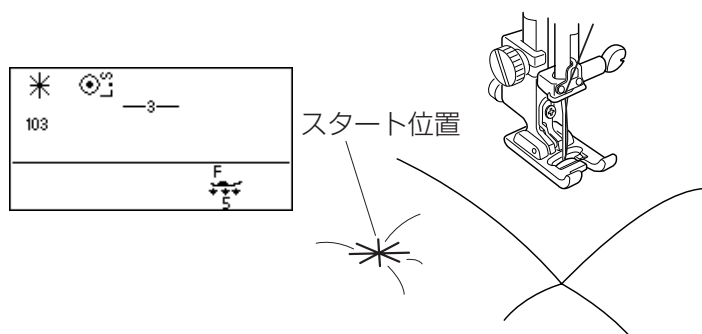
●ワンポイント（とじぬい）

ミシンのセット

① 模様 103

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... F：サテン押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 5

厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

① 模様 103 を選んで、記憶キーを押します。

② 止めぬい記憶キーを押します。

③ ミシンをスタートします。
模様を 1 つぬって自動的に止まります。

◎サテン

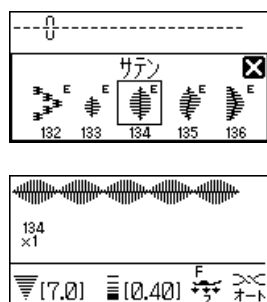
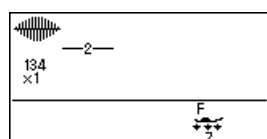
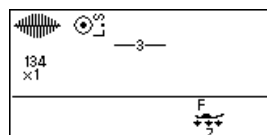
●ワンサイクルぬいの例

①

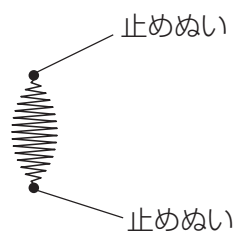
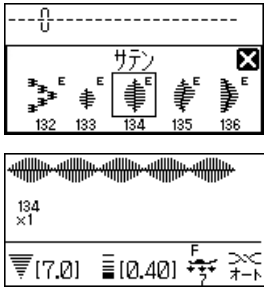
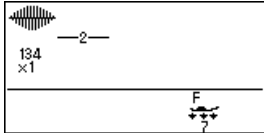
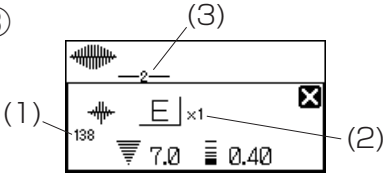
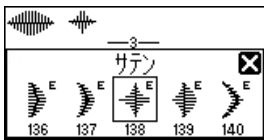
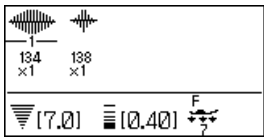
① 模様 134 を選びます。

②

② 記憶キーを押します。

③

③ 止めぬい記憶キーを押します。
※ 止めぬいの記憶後は模様を記憶することはできません。

④

④ ミシンをスタートすると模様をひとつだけぬったあと、自動的に止めぬいをして止まります。

●組み合わせ（記憶）連続模様ぬいの例

例．模様 134 138 の組み合わせ

① 模様 134 を選びます。

②

② 記憶キーを押します。

記憶
M

③

③ 模様 138 を選びます。

（1）模様番号
（2）模様の長さ倍率表示
（3）記憶模様数の順番表示

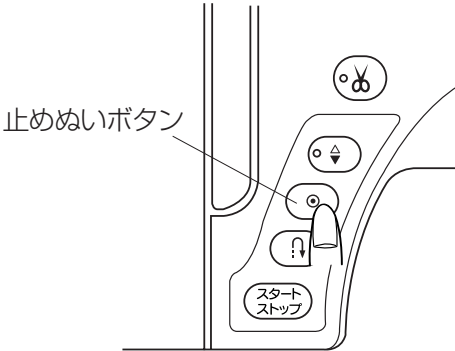
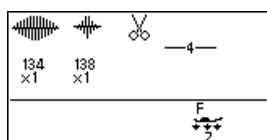
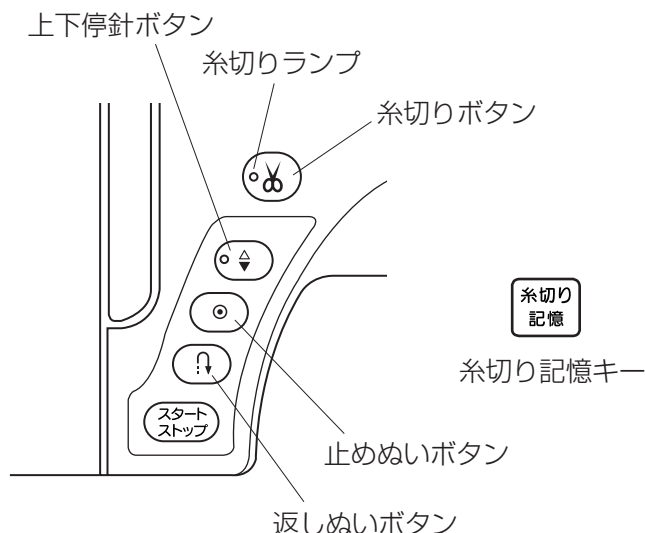
④

記憶
M

④ 記憶キーを押します。
※ 確定ボタンでも記憶できます。

⑤

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬい終わり
最後の模様のぬい途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと自動的に止めぬいをして止まります。

糸切り記憶キー

【組み合わせ連続模様ぬいに自動糸切り記憶をした場合】

組み合わせた模様の最後に糸切り記憶キーを押します。
（ ）マークが表示されます。
ミシンをスタートすると模様 138 をぬったあと自動的に止めぬいをして止まり、糸切りをします。

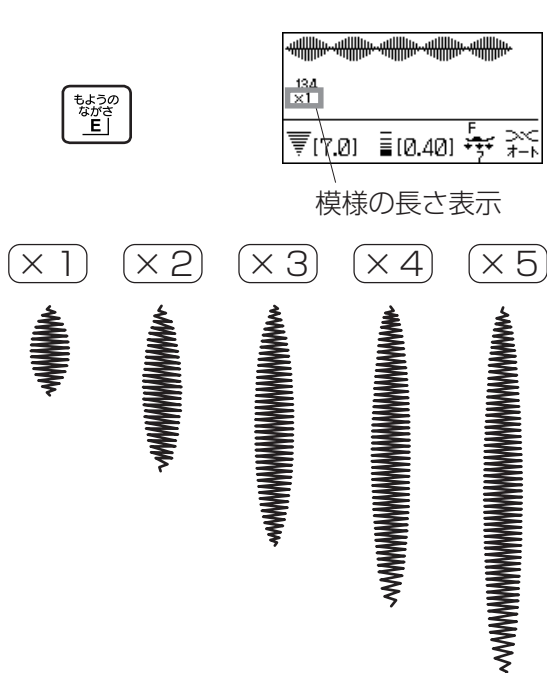
【その他の自動糸切り】

《ボタンホールなどの自動糸切り》
ボタンホールを選択後、糸切り記憶キーを押します。
糸切りランプが点灯します。ボタンホールがぬい終わると自動的に糸切りをします。

【一般模様の自動糸切り】
模様を選択後、糸切り記憶キーを押します。糸切りランプが点灯します。ぬい終わりに止めぬいボタンを押すと止めぬい後に自動的に糸切りをします。また、返しぬいボタンを押したときにも止めぬい後に自動的に糸切りをします。

※ 直線模様、ジグザグ模様は返しぬいボタンを押すと返しぬいをしますので、止めぬいボタンを使用してください。

●模様の長さ調節

ミシンのセット
① 模様 134
② 糸調子ダイヤル .... オート
③ 押さえ .... F：サテン押さえ
④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

例．模様 134

① 模様 134 を選びます。

② もようの長さ調節キーを押します。
模様の長さは「×１」「×２」「×３」「×４」「×５」で表示されます。「×５」の次は「×１」にもどります。
１回押すごとに模様選択画面の長さ表示がかわります。

※ ぬい目の幅、ぬい目のあらさをかえると模様はさらに変化します。

③ ミシンをスタートしてぬいます。

※ ぬい途中で止めぬいボタンを押すとその模様を完成させたあと自動的に止めぬいをして止まります。

※ 模様の長さ調節はサテン模様全てで使えます。

●反転を使った連続模様ぬいの例

(例) 模様 137

①

① 模様 137 を選びます。

②

記憶
M

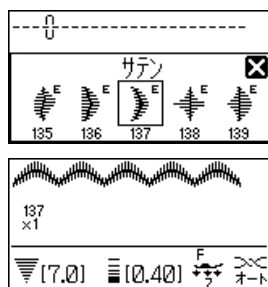
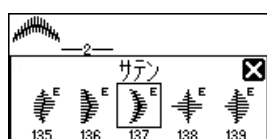
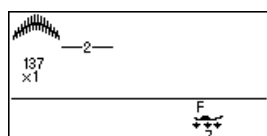
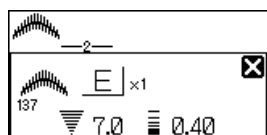
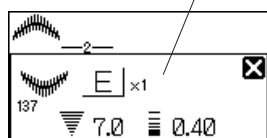
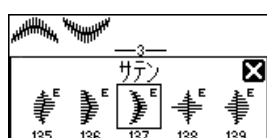
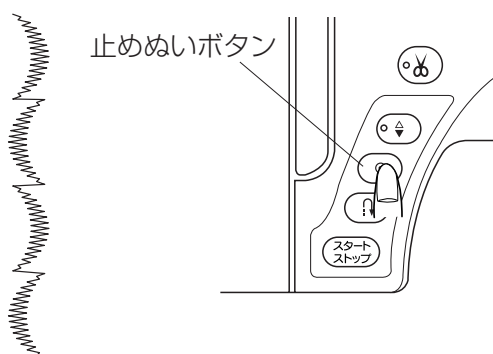
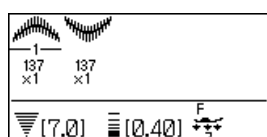
② 記憶ボタンを押します。

③

③ 模様 137 を選びます。

④

模様選択ウインドウ画面

反転

④ 反転キーを押します。

※ 模様選択ウインドウ画面が出ているときは、ぬい目の幅、ぬい目のあらさ、模様の長さを変更することができます。

⑤

記憶
M

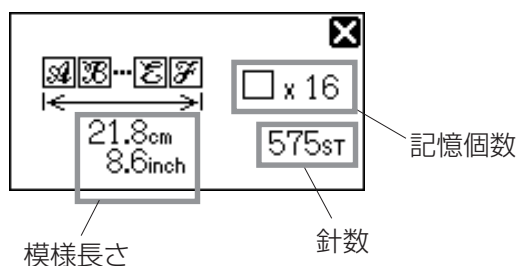
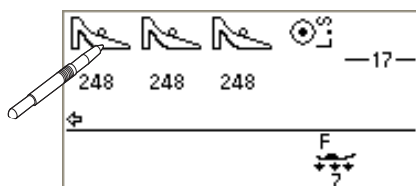
⑤ 記憶キーを押します。
※ ジョグダイヤルの確定ボタンでも記憶できます。

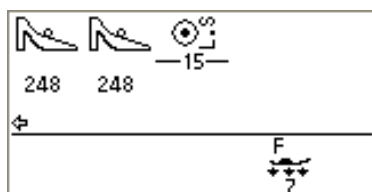
⑥

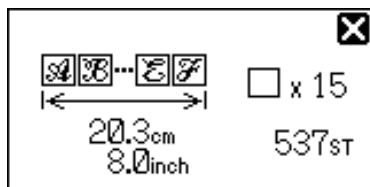
⑥ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬい終わり
最後の模様のぬい途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと自動的に止めぬいをして止まります。

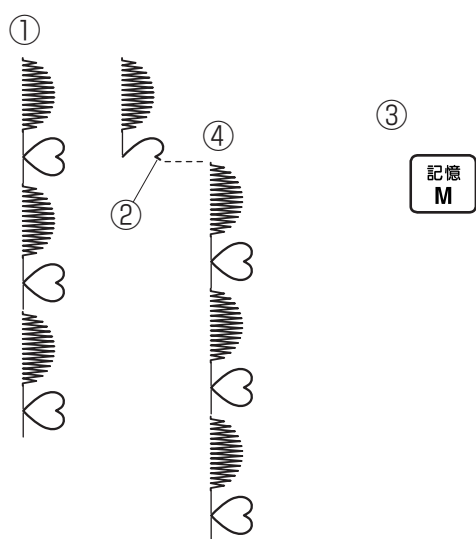
●模様長さ表示の機能説明

① 模様を記憶します。

② 模様表示部をタッチペンで触れると、模様長さが表示されます。

※模様長さはぬう布等により、かわりますので目安として使用してください。また、ぬう布のはぎれを使い、必ず試しぬいをして、実際の模様長さを確認します。

③ 20cm より長いので、模様を 1 つ削除します。

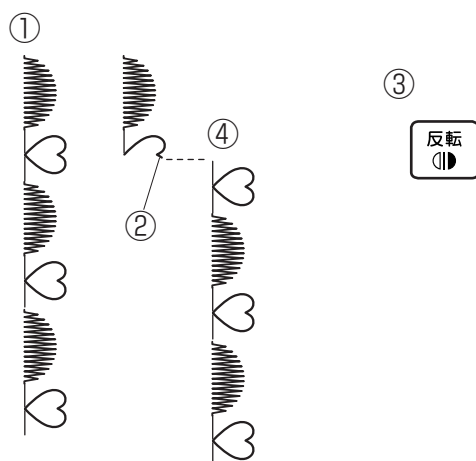
※ 模様の削除は、90 ページをごらんください。

④ 模様表示部をタッチペンで触れ、模様長さの確認をします。

※ 必要により、ぬい目のあらさをかえても長さ調節ができます。

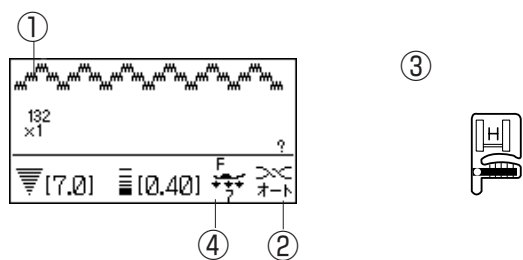
●記憶ぬいを途中でやめたとき

【記憶ぬいのはじめにもどすには】（先頭頭出し）

ぬっている途中でミシンを止め、記憶キーを押すと記憶模様のはじめにもどります。

① 記憶模様
② ミシンを止めた位置
③ ミシンを止めたら記憶キーを押します。
④ ミシンをスタートさせると、記憶した模様のはじめからぬっていきます。

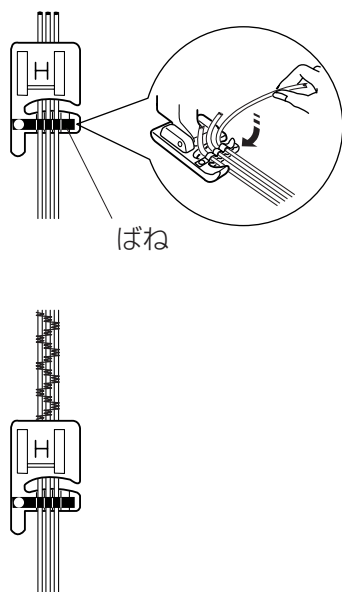
【ぬいかけた模様のはじめからぬうときは】（途中頭出し）

ぬっている途中でミシンを止め、反転キーを押すと、ぬいかけた模様のはじめにもどります。

① 記憶模様
② ミシンを止めた位置
③ ミシンを止めたら反転キーを押します。
④ ミシンをスタートさせると、ぬいかけていた模様のはじめからぬっていきます。

●コーディング

ミシンのセット

① 模様 132

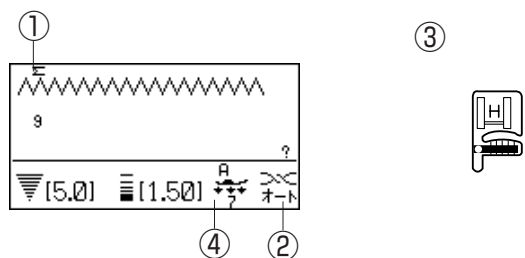
② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... H：ひも付け押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

【3本コードのとき】

① コードを押さえのばねの下にくぐらせ、みぞに通します。

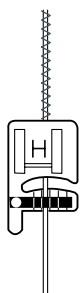
② コードを押さえの下にくぐらせ、押さえのみぞに入れます。

③ コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにまたがるようにぬいます。

ミシンのセット

① 模様 9

② 糸調子ダイヤル .... オート

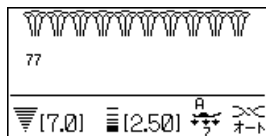
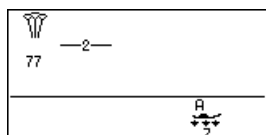
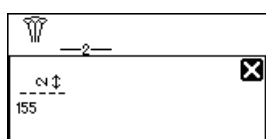
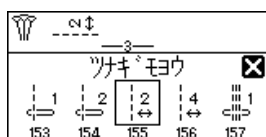
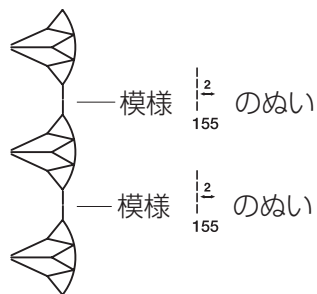
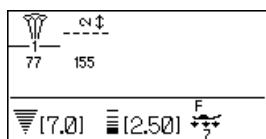
③ 押さえ .... H：ひも付け押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

【1本コードのとき】

押さえの中央のみぞを使います。
ぬい目の幅を小さく調節してぬいます。

◎つなぎ模様

●つなぎ模様

例．模様 77 と模様 155 の組み合わせ

① 模様 77 を選びます。

② 記憶キーを押します。

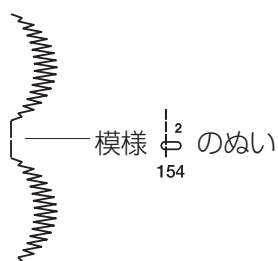
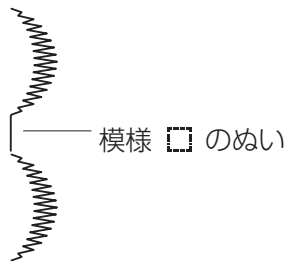
③ 模様 155 を選びます。

④ 記憶キーを押します。
※確定ボタンでも記憶できます。

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

※ 模様 155 と模様 156 は直線つなぎ模様です。
前の模様のぬい終わりの位置で前の模様と同じあらさのぬい目を２針または４針増やすことができます。
模様 158 は、三重ぬいで、ぬい目を２針増やすことができます。
あらさの小さいサテン模様と直線つなぎ模様 155 156 158 を組み合わせると直線つなぎ部のぬい目が細かくなりますので、サテン模様では固定されたあらさのつなぎ模様 151 152 153 154 157 を使用します。

①　模様 154 のぬい

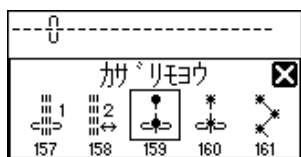
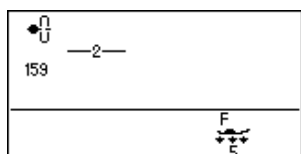
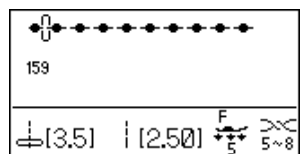
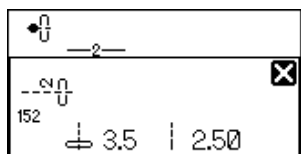
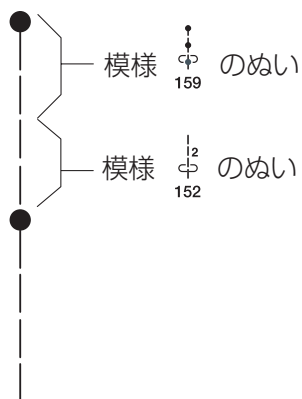
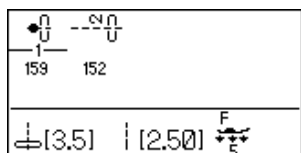
②　模様 □ のぬい

【その他のつなぎ模様】

① 固定されたあらさ（2.5mm）でぬい目を増やしたい場合は、模様 151 152 153 154 を使います。

※ 模様 157 の場合は、あらさ（5.0mm）になります。

② 模様と模様の間かくをあけたい場合は、模様 □（スペース）を使用します。

◎飾り模様

●直線模様（フレンチノット）の記憶

例．　模様 159 と模様 152 の組み合わせ

① 模様 159 を選びます。

② 記憶キーを押します。

③ 模様 152 を選びます。

④ 記憶キーを押します。
※　確定ボタンでも記憶できます。

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

●ボーダーガイド押さえの使い方

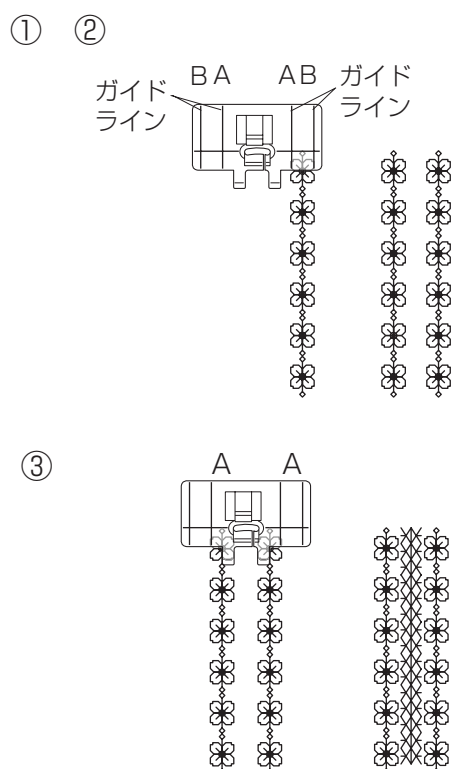
ミシンのセット

① 模様 ....

② 糸調子ダイヤル .... オート

③ 押さえ .... ボーダーガイド押さえ

④ 押さえ圧調節ダイヤル 7

※ ボーダーガイド押さえのガイドラインを利用して、模様をまっすぐにぬうことができます。

例. 模様 228 、模様 61 の組み合わせ

① 模様228を1列ぬいます。

② 前にぬった模様をガイドライン A、B の間に合わせながら、同じ模様 228 をぬいます。

③ 左右の模様228にガイドラインAを合わせながら、間に次の模様61をぬいます。

※ 試しぬいをしてください。

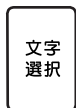
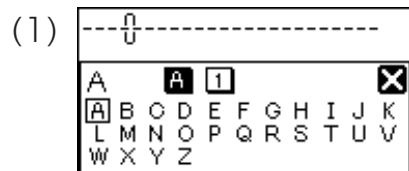
◎文字ぬい

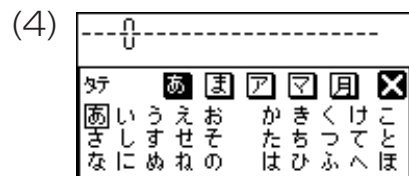
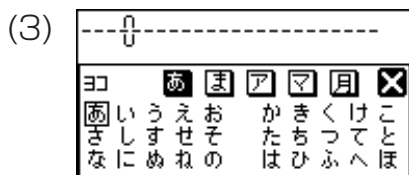
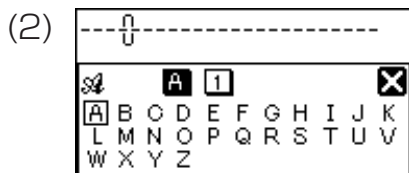
●文字選択

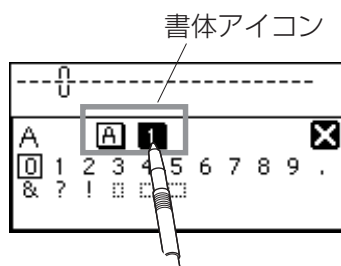
(1)

(2)

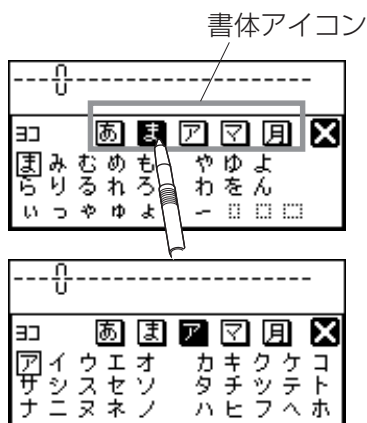
(3)

(4)

文字選択キー

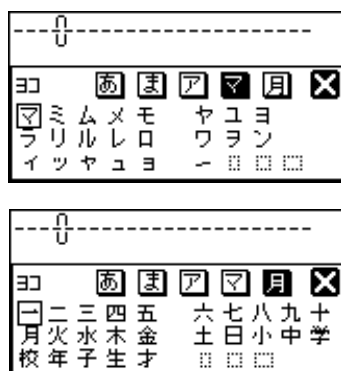
文字の組合わせ模様(文字列)を作成することができます。
文字選択キーを押す毎に、

(1)ブロック体アルファベット
(2)スクリプト体アルファベット
(3)ひらがな(ヨコ)
(4)ひらがな(タテ)

の順に切りかわります。

【アルファベットと数字の切りかえ】

① 2つに分かれた書体アイコンキーをタッチペンで押して、選びます。
※ ジョグダイヤルをまわしても選べます。
アルファベット「Z」の次が、数字になります。

② ジョグダイヤルまたは、タッチペンで文字を選びます。

【ひらがな、カタカナ、漢字の切りかえ】

① 5つに分かれた書体アイコンキーをタッチペンで押して、ひらがな、カタカナ、漢字を選びます。
※ ジョグダイヤルをまわしても選べます。
ひらがな(ヨコ)「ほ」の次が、ひらがな「ま」になります。

② ジョグダイヤルまたは、タッチペンで文字を選びます。

【文字ぬいの注意】

1. 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
2. 針は、ジャノメブルー針を使用してください。
3. 伸びる布地、薄手の布地などのときには、布の裏に市販品の芯地を貼るか、または、トレーシングペーパーや薄い紙を布の下に敷いてぬってください。

●ぬい例

(横書きのとき)　(縦書きのとき)

★ひらがな（ヨコ/タテ）
例.がっこう

① 文字選択キーを押して、ひらがな（ヨコ）を選びます。
※ 縦書きのときは、ひらがな（タテ）を選びます。

② 文字「か」を選びます。

③ もようながさキーを押して、「゛」（濁点）を選びます。

④ 記憶キーを押します。

⑤ 文字選択キーを押して、「ま」のアイコンを選んで文字「っ」を選択します。

⑥ 記憶キーを押します。

⑦「あ」のアイコンを選んで文字「こ」を選びます。

⑧ 記憶キーを押します。

（横書きのとき）　　　　　　　（縦書きのとき）

⑨

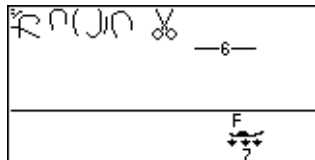
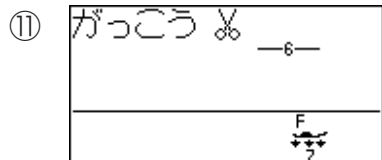
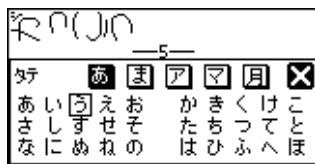
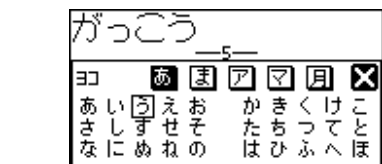
⑨ 文字「う」を選びます。

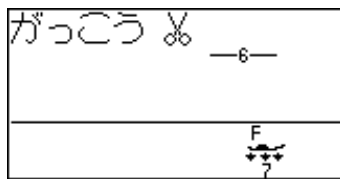
⑩

⑩ 記憶キーを押します。

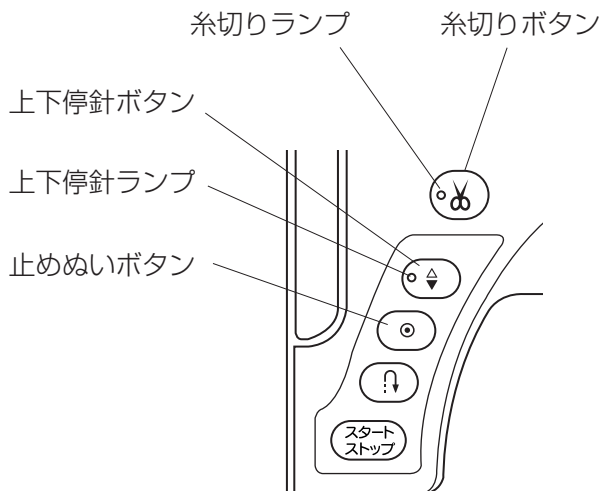
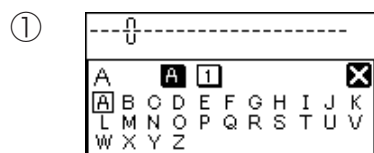
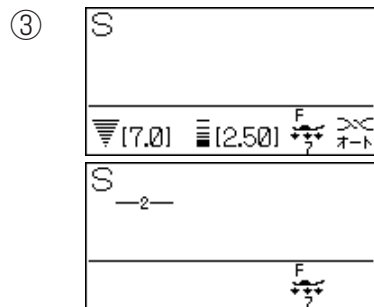
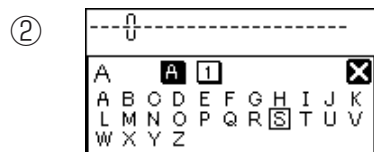
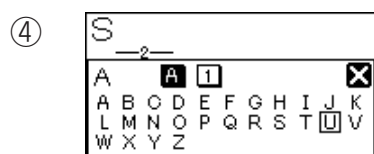
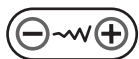
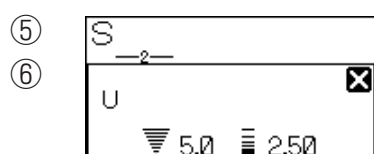
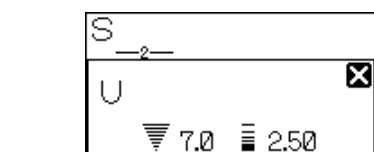
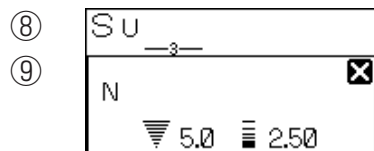
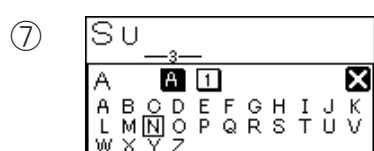
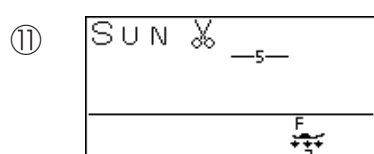
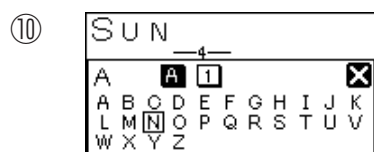
⑪

⑪ 糸切り記憶キーを押します。
※糸切り LED が点灯します。

⑫

⑫ ミシンをスタートさせ、ぬいます。
（ぬい終わると自動的に上糸と下糸が切れます。）

【自動糸切り】

1. 文字列（模様列）の自動糸切り
   文字列を入力後、糸切り記憶キーを押します。
   糸切りランプが点灯し、画面の文字列の最後に（ ✂ ）マークが表示されます。文字をぬい終わると自動的に糸切りをします。

2. 一般模様の自動糸切り
   模様を選択後、糸切り記憶キーを押します。
   糸切りランプが点灯します。
   ぬい終わりに近づいたら止めぬいボタンを押します。
   止めぬい後に自動的に糸切りをします。

3. マニュアル糸切り
   模様を選択し、上下停針ボタンを押して、下停止設定にします。上下停針ランプが点灯します。ぬい終わったら、糸切りボタンを押して糸切りをします。
   上停止設定の場合には、糸切り時に針穴が目立つ場合があります。

★ 文字サイズの縮小

例 .SUN　ブロック体（アルファベット）

※　文字や数字を選んでから、ぬい目の幅調節キー「ー」を押すと、文字サイズを約 2/3 に縮小します。

① 文字選択キーを押して、ブロック体（アルファベット）を選びます。

② 文字「S」を選びます。

③ 記憶キーを押します。

④ 文字選択キーを押して、文字「U」を選びます。

⑤ ぬい目の幅調節キー「ー」を押します。

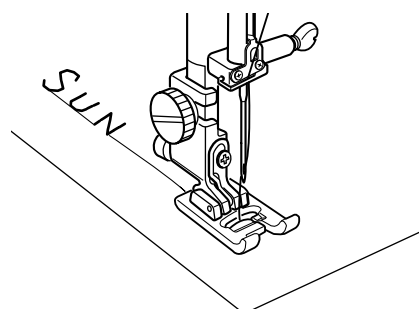
⑥ 記憶キーを押します。

⑦ 文字「N」を選びます。

⑧ ぬい目の幅調節キー「ー」を押します。

⑨ 記憶キーを押します。

⑩ 糸切り記憶キーを押します。
　※糸切り LED が点灯します。

⑪ ミシンをスタートさせ、ぬいます。
　（ぬい終わると自動的に上糸と下糸が切れます。）

★ ひらがな、漢字の組み合わせ

例 . まゆ一才

① 文字選択キーを押して、ひらがな（タテ）を選び、「ま」のアイコンを選んで、文字「ま」を選びます。

② 記憶キーを押します。

③ 文字選択キーを押して、文字「ゆ」を選びます。

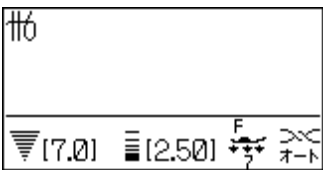
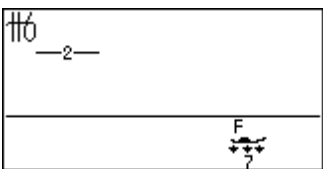
④ 記憶キーを押します。

⑤「月」のアイコンを選んで、文字「一」を選びます。

⑥ 記憶キーを押します。

⑦ 文字「才」を選びます。

⑧ 記憶キーを押します。

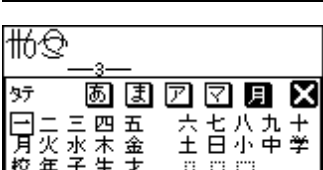
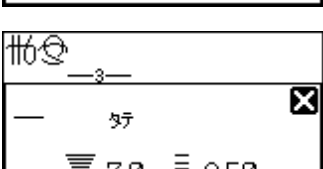
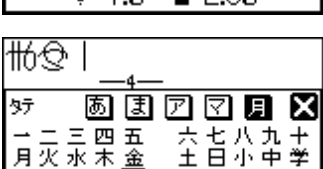
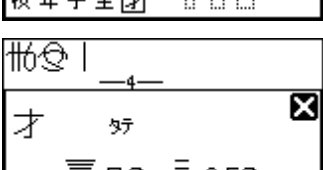
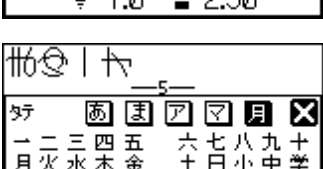
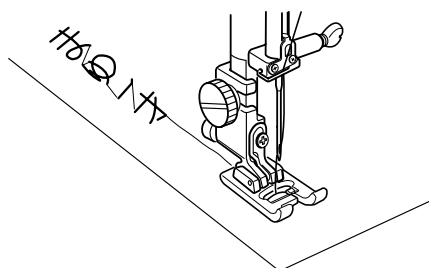
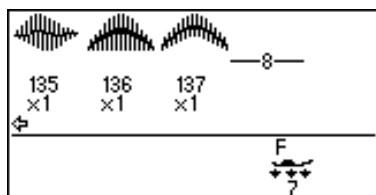
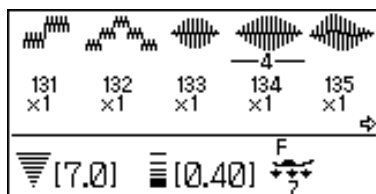
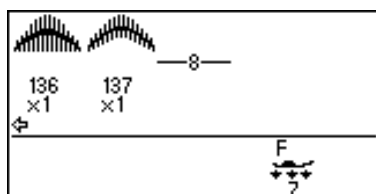
⑨ 糸切り記憶キーを押します。
※糸切り LED が点灯します。

⑩ ミシンをスタートさせ、ぬいます。
（ぬい終わると自動的に上糸と下糸が切れます。）

◎編集機能（1）

● 記憶の確認

例．模様 131 ～ 137 を記憶したとき

①

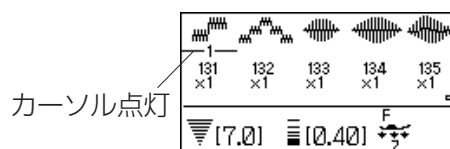
編集 EDIT

① 編集キー「←」でカーソルを左へ移動させて模様を確認します。

②

編集 EDIT

② 編集キー「→」でカーソルを右に移動できます。

※ ⇦ マークは模様 135 の前に模様が記憶されていることを示します。
※ ⇨ マークは模様 135 のうしろに模様が記憶されていることを示します。
※ ぬい始めると 、カーソルはぬう模様の位置で点灯状態になります。

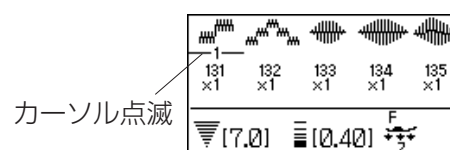
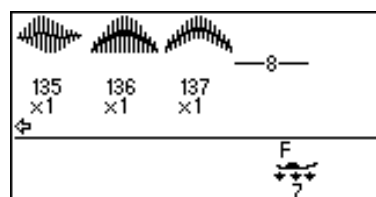
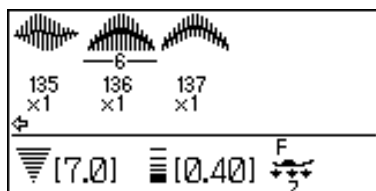
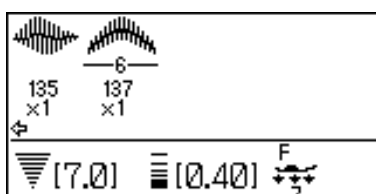
カーソル点灯

※ ぬったあとに編集したい場合は、編集キーを押し、カーソルを点滅させます。
カーソルは先頭模様に移り点滅します。

カーソル点滅

●記憶の修正

★模様の削除

例．模様 131 ～ 137 を記憶して模様 136 を削除

①

編集 EDIT

① 編集キー「←」で削除する模様 136 にカーソルを合わせます。

②

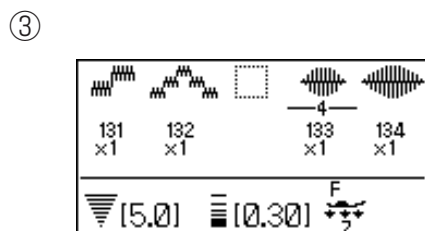
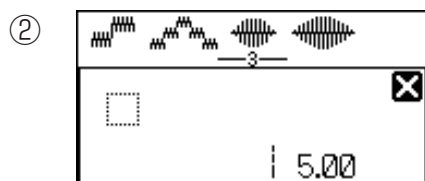
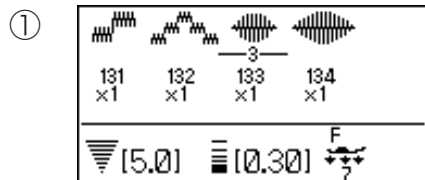
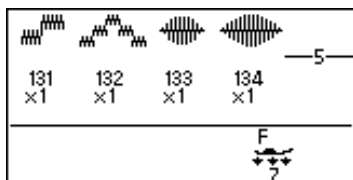
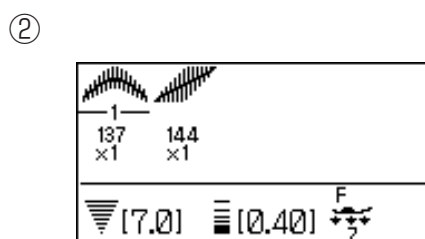
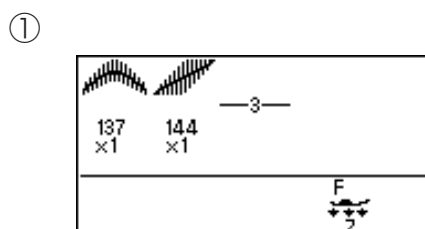
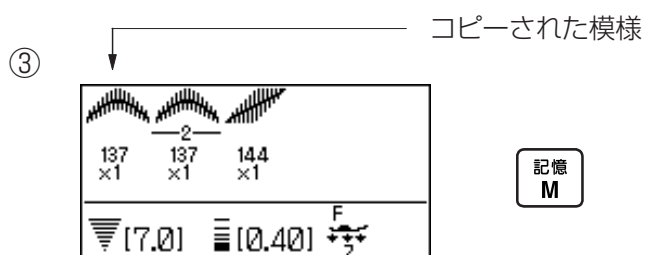
とりけし C

② とりけしキーを押します。

※ とりけしキーを長く押していると、全て削除され、ジツヨウモヨウのD1 模様になります。
文字ぬいのときは、最後に記憶した書体の最初の文字になります。

★模様の挿入

例．　模様 131 ～ 134 を記憶して模様 132 と模様 133 の間に ⬚ スペース）を挿入

①

① 編集ボタン「←」で挿入したい場所の次の模様 133 にカーソルを合わせます。

②

② ⬚（スペース）を選びます。

③

③ 記憶ボタンを押すとスペースが挿入されます。
※ 確定ボタンを押しても挿入されます。

★模様のコピー（記憶）

例．　記憶した模様 137 のコピー

①

① 模様 137 144 を記憶します。

②

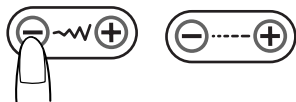
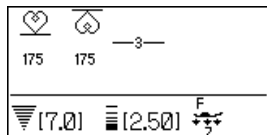
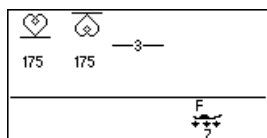
② 編集ボタン「←」でカーソルを模様 137 に合わせます。

③

コピーされた模様

③ 記憶ボタンを押すと模様 137 がコピー（記憶）されます。

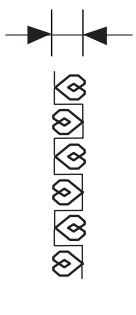
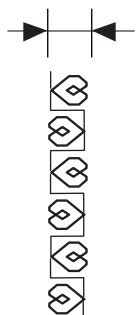
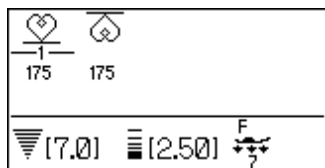
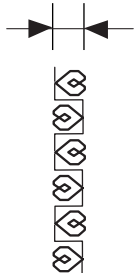
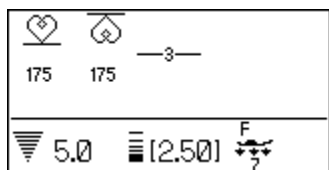
◎編集機能（2）

●統一マニュアル方式

記憶された複数模様全体を１つの模様として、ぬい目の幅、ぬい目のあらさを一括調節（同じ幅、あらさでぬい上げる）する方法です。

【ぬい始める前に統一マニュアル値を変更する場合】

例．　模様 175 、 175（反転）の組み合わせ

②

① カーソル表示が右端にあるとき、ぬい目の幅調節キーまたは、ぬい目のあらさ調節キーを押して変更します。
② ミシンをスタートしてぬいます。

【ぬったあとに統一マニュアル値を変更する場合】

①

175　175
[7.0]　[2.50]

③

① 編集ボタンを押しカーソルを点滅させたあと、カーソル位置を右端にします。
② ぬい目の幅調節キー 、または、ぬい目のあらさ調節キーを押して変更します。
③ ミシンをスタートしてぬいます。

②

※ ぬい始めの針位置が異なる模様を組み合わせ、ぬい目の幅を小さくしたとき針位置は図のようになります。

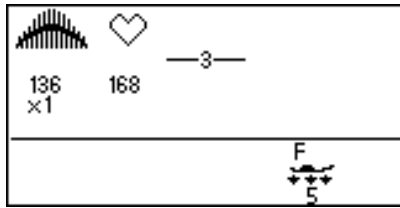
(1) 左針位置模様 175 と中針位置模様 172 の組み合わせ
...... 左針位置（左合わせ）に統一されます。

(2) 中針位置模様 172 と右針位置模様 175（反転）の組み合わせ
...... 右針位置（右合わせ）に統一されます。

(3) 左針位置模様 175 と右針位置模様 175（反転）の組み合わせ
...... 中針位置（中合わせ）に統一されます。

(4) 左針位置模様 175 と中針位置模様 172 と右針位置模様 175（反転）の組み合わせ
...... 中針位置（中合わせ）に統一されます。

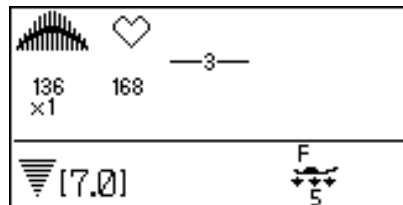
※ 直線系の模様のぬい位置も統一針位置になります。

【サテン模様とスーパー模様の組み合わせの場合】

例．　模様 136（サテン模様）、
模様 168（スーパー模様）

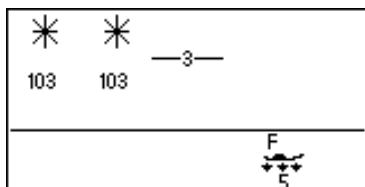
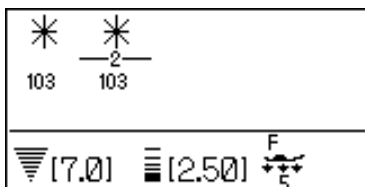
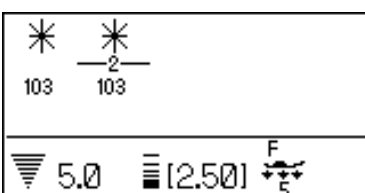
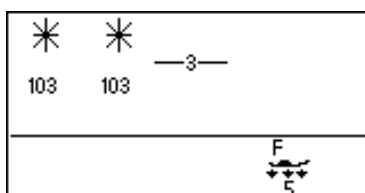
※スーパー模様は前進ぬいと後進ぬいがある模様です。

① 模様 136 と 168 を記憶します。

② ぬい目の幅調節キーを押して、ぬい目の幅を統一変更します。

※ ぬい目のあらさはオート値設定になります。

③ ミシンをスタートしてぬいます。

※ 模様の間かくを調節する場合は、⬚（スペース）を使用します。

●個別マニュアル方式

記憶された個々の模様について、ぬい目の幅、ぬい目のあらさ、模様の長さを異なるサイズでぬいたい場合に調節する方法です。

例．　模様サイズを１個所変更する場合（模様 103）

①

① 模様 103 を２個記憶します。

②

②「編集 キー」（←）を押して、変更する模様にカーソルを合わせます。

③

③ ぬい目の幅調節キーを押して「5.0」にセットします。

④

④ ミシンをスタートしてぬいます。

※ 個々の模様の下にカーソルを合わせると、設定したマニュアル値が画面の中央に表示されます。
（オート値を変更していない場合は [ ] 付きで表示されます。）

※ 最後の模様の次の位置にカーソルを移動させ、ぬい目の幅調節キー、ぬい目のあらさ調節キーを押すと、個別マニュアルはキャンセルされ、統一マニュアル方式になります。

◎保存／呼出し機能

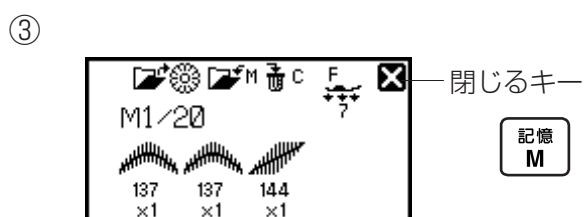
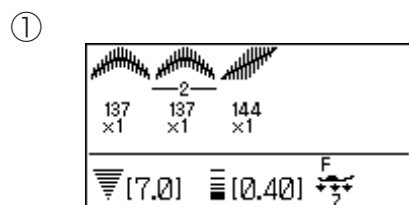
●模様の保存

模様の記憶、編集したものを保存しておくと、保存／呼出キーで呼び出して、ぬうことができます。
合計 20 保存できます。

【保存の方法】

①

① 保存したい模様を記憶します。

②

（保存／呼出画面）

② 保存／呼出キーを押します。
※ 保存／呼出画面が表示され、M1（メモリー）の内容を表示します。購入時は何も保存されていないので M1 の下側には何も表示されません。
※ M1（メモリー）～M20（メモリー）を選ぶときは、ジョグダイヤルをまわします。
※ 保存／呼出キーを押しても選べます。M20(メモリー)の次は、ぬい実行画面になります。

③

閉じるキー

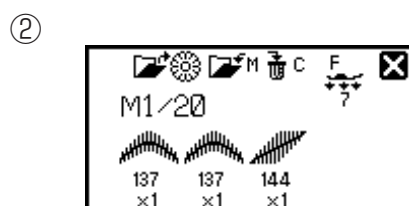
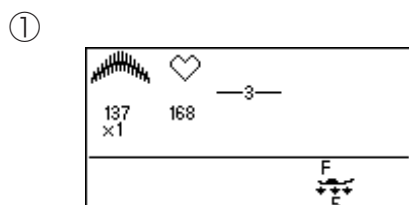
③ 記憶キーを押します。
（画面の M アイコンを押しても記憶できます。）
※ ピッとブザーが鳴り砂時計が出て、模様が記憶されます。砂時計が出ているときに電源を切らないでください。
※ 保存画面を中断したい場合には、閉じるキーを押します。

【保存の上書き方法】

M1（メモリー）～M20（メモリー）すべてに保存されている場合には、上書きしてもよいメモリーを表示させ上書きします。

①

① 保存したい模様を記憶します。

②

② 保存／呼出キーを押します。
上書きしてもよいメモリーをジョグダイヤルをまわして選びます。

③

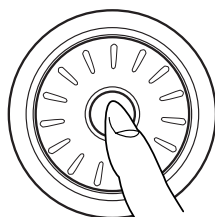
③ 記憶キーを押します。
（画面の M アイコンを押しても記憶できます。）
※ ピッとブザーが鳴り砂時計が出て、模様が記憶されます。砂時計が出ているときに電源を切らないでください。

●模様の呼出し

【呼出し方法】

①

②

③

① 保存／呼出キーを押します。

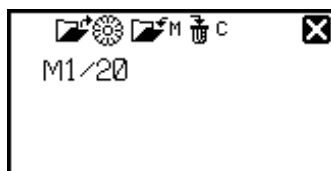
② 保存したメモリーをジョグダイヤルをまわして選びます。

③ ジョグダイヤルの確定ボタンを押すと、保存した内容が呼び出されます。
(画面の アイコンを押しても呼び出されます。)

【保存の削除方法】

①

②

③

① 保存／呼出キーを押します。

② 削除したいメモリーをジョグダイヤルをまわして選びます。

③ とりけしキーを長押しすると、保存した内容が削除されます。

(画面の C アイコンを長押ししても、保存した内容が削除されます。

◎２本針ぬい

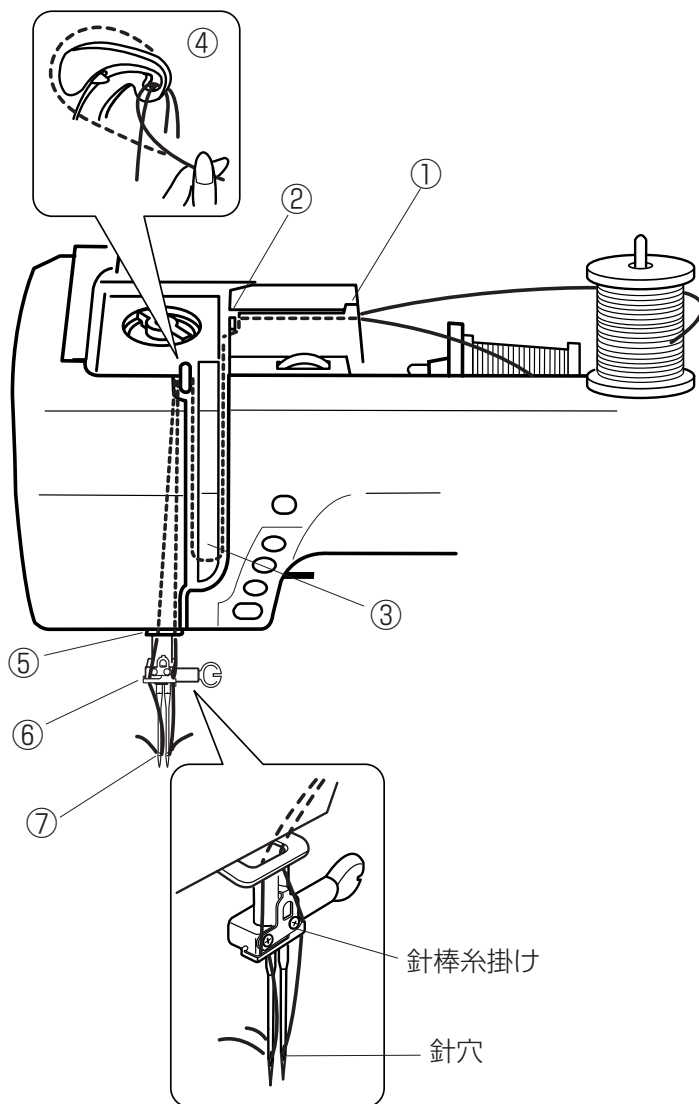
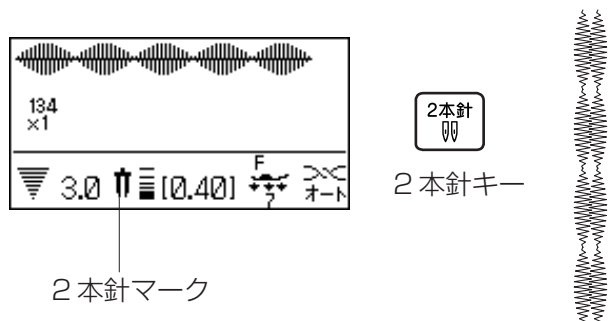
※ ２本針ぬいを行うときには必ず２本針キーを押し、試しぬいをしてください。
※ 針の取りかえは電源スイッチを切って行ってください。
※ ２本針ぬいのとき押さえはA:基本押さえ、またはF:サテン押さえをご使用ください。
※ ２本針ぬいのときは、糸は60番および60番より細い糸を使用してください。

【糸の通し方】

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①〜⑦の順序で正しくかけてください。

①〜⑤の糸の通し方は１本針のときと同じです。
（19ページをごらんください。）

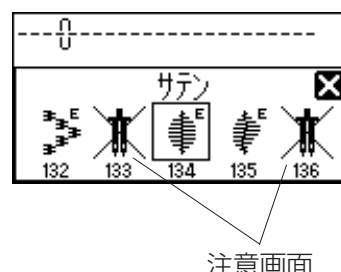
⑥ 針棒糸掛けに左右に分けてかけます。

⑦ ２本針に左右に分けて糸を通します。
※ 針穴に糸を通すときは、糸通しは使えませんので針の手前から向こう側に手で通してください。

・ 模様を選び、2 本針キーを押します。
2 本針マークが表示されます。
・ ぬい目の幅は 3.0mm に制限されます。
・ 直線系の模様の場合は、針位置が 2.0 〜 5.0 表示に制限されます。

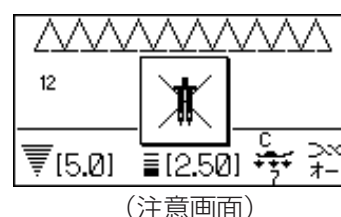
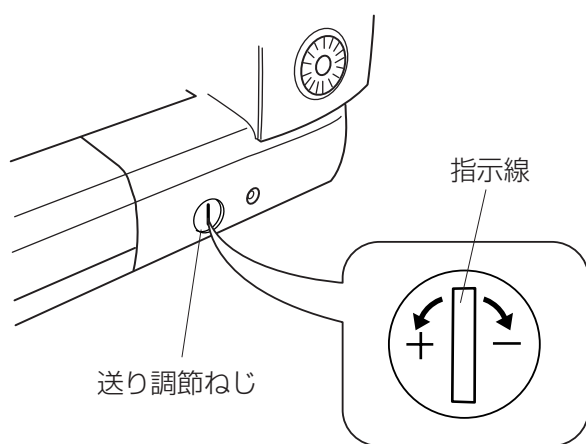
※ ぬい方向をかえるときは、針を上げて布の方向をかえてください。

D1 D2 D3 D4 5 6 7 9 10 11 13 18 19 20 21
41 42 43 45 46 47 48 49 50
55 62 66 68 69 70 71 72 73 75 79 81 87
93 94 95 96 100 102 104 105 106 107 109 110 111 112 114
115 116 117 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130
131 132 134 135 137 138 139 140 141 143 144 146 147 148 149
151 152 153 154 157
172 175 176 179 181 185 192 194 195 202 204 211 212
214 217 218 219 221 222 223
230 231 232 233 234 241 242 243 244
245 248 249 250

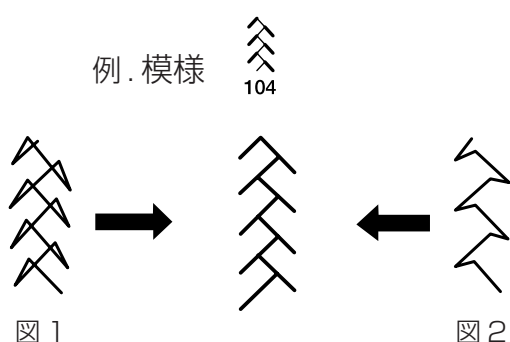
※ 2 本針ぬいをするときは、左図の模様から選んでください。
※ 模様の組み合わせはできません。

※ 2 本針キーを押してから、模様を選ぶと 2 本針ぬいできない模様は、模様番号の上に注意画面が表示します。

注意画面

※ 2 本針ぬいに適さない模様を選択したときには注意画面面が表示されます。

（注意画面）

◎模様の形の整え方

布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

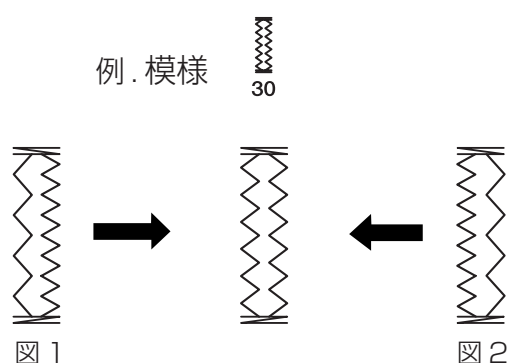
※ 指示線をまっすぐにした位置が、模様を正しくぬえる目安の位置です。

【1】スーパー模様の形の整え方

模様が伸びたり、つまったりして形が整わないときは、次の方法で調節します。

※ スーパー模様は前進ぬいと後進ぬいがある模様です。

※ 押さえはF:サテン押さえを使用します。

図１のように模様がつまっているときは送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図２のように模様が伸びているときは送り調節ねじを「−」方向にまわします。

【2】ニットボタンホール 30 32 の左右のぬい目のあらさの整え方

※ 押さえはR:ボタンホール押さえを使用します。

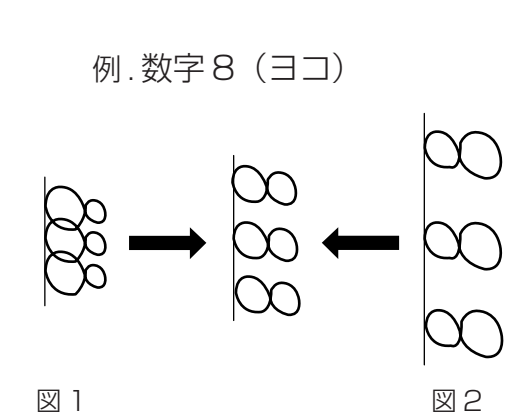
図1のように左側があらいときは送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように右側があらいときは送り調節ねじを「−」方向にまわします。

【3】

例.数字８（ヨコ）

図１

図２

【3】文字、数字の形の整え方

文字が伸びたり、つまったりして形が整わないときは、次の方法で調節します。

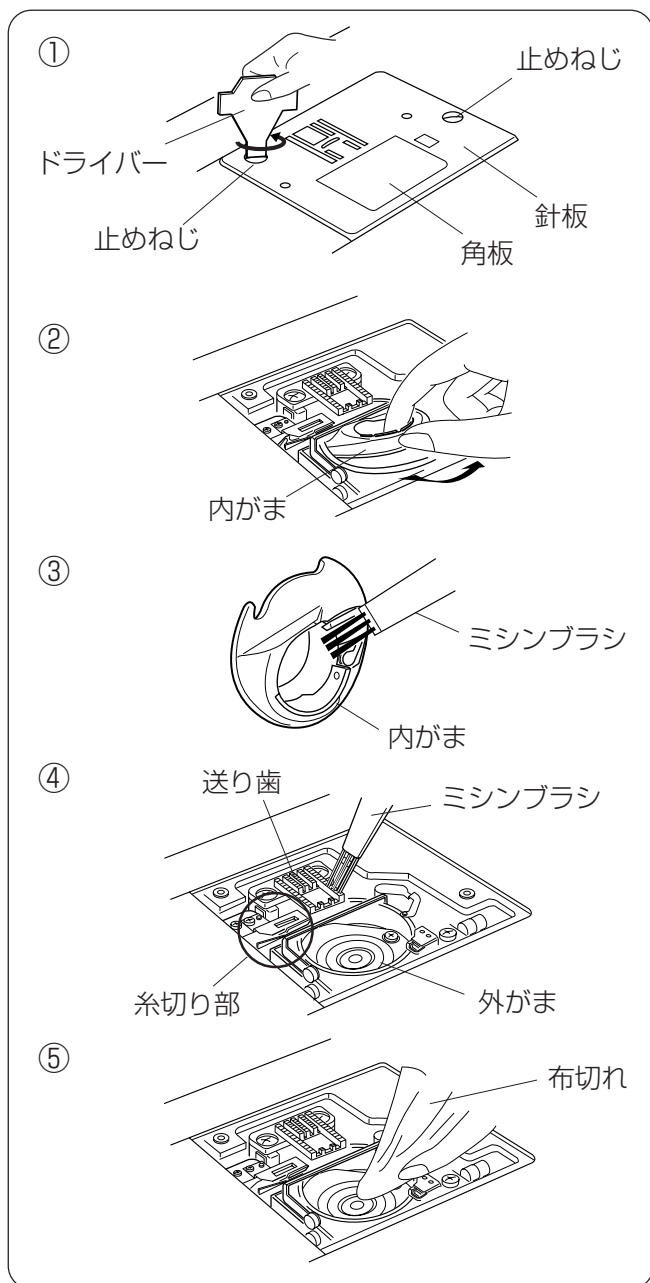
※ 押さえはF:サテン押さえを使用します。

図１のように文字がつまっているときは送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図２のように文字が伸びているときは送り調節ねじを「−」方向にまわします。

※ 上の調節を行って、ぬいが終わったら送り調節ねじをもとの位置（標準位置）にもどしてください。

◎ミシンのお手入れ

●かまと送り歯、糸切り部の掃除

⚠ 注意
• お手入れのときは必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。 • 説明がある場所以外は分解しないでください。 **感電・火災・ケガの原因になります。**

※ 針板を外す前に、必ず直線ぬい用針板が開いているか確認してください。（35 ～ 36 ページ参照）

① 針と押さえを外し、角板とボビンを外します。
止めねじ（2ヶ）を外し針板を外します。

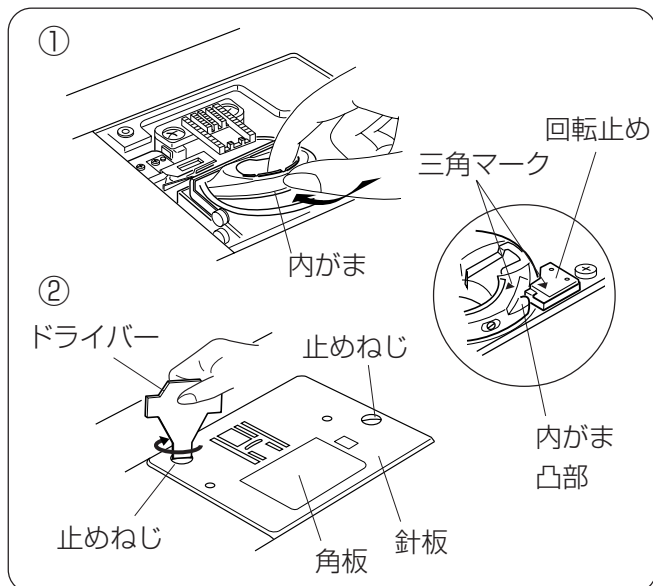
② 内がまの手前を上に引きながら外します。

③ 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

④ 送り歯、糸切り部のごみをミシンブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。

⑤ 外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸いとってください。

●内がまと針板の組み付け

① 内がまを差し込みます。
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせて、内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

② ボビンを入れ、針板を止めねじで取り付けます。

※ お手入れが終わったら忘れずに角板、針、押さえを付けてください。

◎こんな表示が出た場合

警告音とともに下の表示があった場合２秒間表示、または正しい操作が行われるまで表示されます。対処方法にしたがってください。

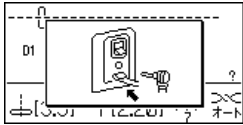
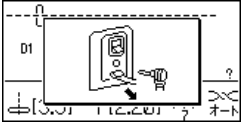
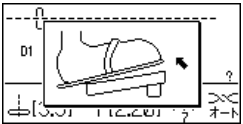
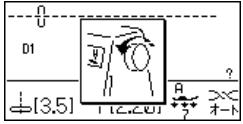
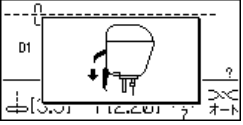
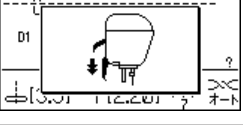
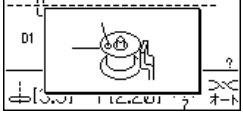
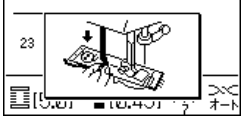
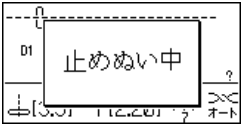
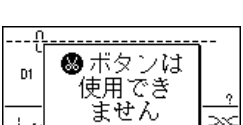
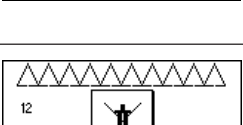
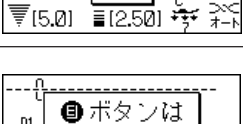
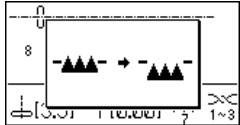
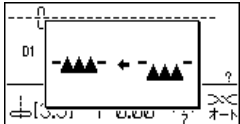
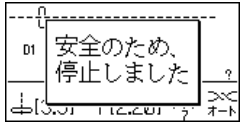
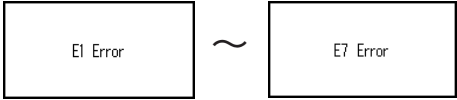
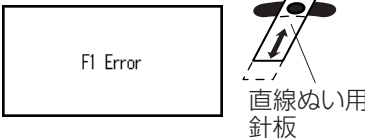
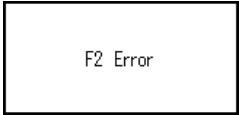



表　示	対　処　方　法
	フットコントローラーを使用しているとき､ぬい途中で接続が外れたときに表示され､ミシンが止まります。プラグを接続して再スタートしてください。
	フットコントローラーを接続してスタート／ストップボタンを押すと表示されます。 フットコントローラーの接続を外してください。
	フットコントローラーを踏みこんだまま電源を入れたときに表示されます。 踏み込みを外してください。
	針が下位置で電源を入れたときに表示されます。 はずみ車を手で手前にまわして針をあげてください。
	押さえ上げをさげないでミシンをスタートすると表示されます。 押さえ上げをさげてスタートしてください。 特にニーリフトの操作には注意してください。
	下糸巻きにセットしたとき表示されます。
	ボタンホール（BH）切りかえレバーをさげないでボタンホールをぬうと表示され、ミシンが止まります。 ボタンホール（BH）切りかえレバーを引きさげて再スタートしてください。
止めぬい中	止めぬい中にミシンを止めたときに表示されます。 再スタートして最後までぬってください。
ボタンは使用できません	下記の場合に糸切りボタンを押すと表示されます。 １　電源投入時 ２　ぬいを行わずに続けて４回糸切りを行ったとき 糸切りボタンは模様をぬい終わったあと､ミシンを止めてから押してください。
	2本針ぬいに適さない模様を選んだときに2本針キーを押すと表示されます。 模様を選び直してください。
ボタンは使用できません	模様の長さの調節ができない模様のとき､もようのながさキーを押すと表示されます。 模様の長さはサテン模様のみ変更できます。

表示	対処方法
Ⓜボタンは 使用でき ません	記憶できない模様のとき、記憶キーを押すと表示されます。 記憶できる模様を選び直してください。
(送り歯表示)	しつけぬいなど送り歯をさげてぬう場合に、送り歯があがっていると表示されます。送り歯をさげてください。
(送り歯表示)	1. 送り歯をあげてぬう場合に、送り歯がさがっていると表示されます。 送り歯をあげてください。 2. 直線、ジグザグ等、フリーキルト可能な模様で、送り歯をさげた状態でスタートしたとき、1回だけ表示されます。そのまま、スタートしてください。 3. フリーキルト禁止模様で､送り歯をさげた状態でスタートしたとき表示されます。 送り歯をあげてスタートしてください。
安全のため、停止しました	1. 安全装置の作動により、ミシンモータが緊急停止したとき、およびその後15秒間のあいだに再スタートしようとすると表示されます。 この時間はミシンの操作ができませんのでしばらくおまちください。 2. 糸がらみなどがあったときには電源を切り、不要な糸を取り除いてください。 3. ぬい途中にドロップつまみを操作すると表示され、ミシンが止まります。 ぬい途中には、ドロップつまみを操作しないでください。 4. 糸巻き中に軸をもどすと表示されます。 ぬい途中に糸巻き軸を右に移動すると表示されます。 5. ぬい途中に押さえ上げをあげると表示され、ミシンが止まります。 押さえ上げは、ぬい終わってからあげてください。
E1 Error ～ E7 Error	ミシンが正しく作動しなかった場合に表示されます。 電源を切り、針板を外し、かまや送り歯に糸がからんでいないか確認します。 直らない場合は電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。
F1 Error 直線ぬい用針板	直線ぬい用針板が作動しなかった場合に表示されます。 電源を切り、針板を外して、かまと送り歯の掃除を行い、電源を入れ直します。針板を外すときは、直線ぬい用針板がもどっているか確認してください。
F2 Error	模様D1S、D2S、D3Sを選択したとき、正しく針位置が中針位置にならない場合に表示されます。 電源を切り、糸が針棒などにからんでいないか確認をします。
液晶画面の一部表示がずれる。 不要な表示が出る。 画面表示がかわらない。	電源スイッチを入れ直します。

★ブザー音の種類

ブザー音	内容
ピッ	正しい操作をしたときの受付音です。
ピピッ	記憶した模様等をとりけしキーを長く押して終了させる音です。
ピピピッ	不正な操作をしたときの禁止音、またはミシン異常時の警告音です。
ピーッ	E1～E7、F1、F2Error表示されたときの音です。
ピッ・ピピピーッ	ボタンホールぬいが終わったときの終了音です。

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

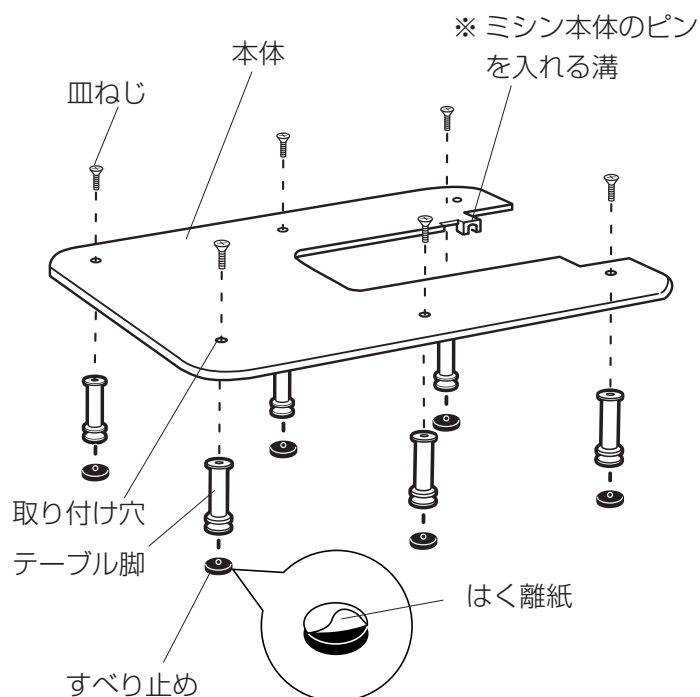
調子が悪い場合	そ の 原 因	直し方
上糸が切れる	1．上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 2．上糸調子が強すぎる。 3．針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4．針の付け方がまちがっている。 5．ぬい始めに上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6．糸がかまなどにからまっている。 7．針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 8．糸こまに上糸が引っかかっている。	19ページ参照 23ページ参照 22ページ参照 22ページ参照 31ページ参照 100ページ参照 22ページ参照 糸こま押さえを付ける
下糸が切れる	1．下糸の通し方がまちがっている。 2．内がまの中にごみがたまっている。 3．ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。	18ページ参照 100ページ参照 ボビンを交換する
針が折れる	1．針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2．針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 3．ぬい終わったとき布を手前に引いている。 4．布に対して針が細すぎる。 5．模様に合った押さえを使用していない。	22ページ参照 22ページ参照 布を向こう側に出す 22ページ参照 指定の押さえに交換する
ぬい目がとぶ	1．針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2．布に対して針と糸が合っていない。 3．伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャノメブルー針（市販ＳＰ針）を使っていない。 4．上糸のかけ方がまちがっている。 5．品質の悪い針を使用している。	22ページ参照 22ページ参照 22ページ参照 19ページ参照 針を交換する
ぬい目がしわになる	1．上糸調子が合っていない。 2．上糸下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3．布に対して針が太すぎる。 4．布に対してぬい目があらすぎる。 5．押さえ圧が合っていない。 ※ 特にうすい布をぬうときは下側に紙をあてててぬってください。	23ページ参照 18,19ページ参照 22ページ参照 ぬい目を細かくする 24ページ参照
布送りがうまくいかない	1．送り歯に糸くずがたまっている。 2．ぬい目が細かすぎる。 3．送り歯があがっていない。	100ページ参照 ぬい目をあらくする 24ページ参照
ぬい目に輪ができる	1．上糸調子が弱すぎる。 2．糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。	23ページ参照 22ページ参照
ミシンがまわらない	1．電源のつなぎ方がまちがっている。 2．かまに糸やごみがたまっている。 3．ボビンに糸がからまっている。 4．押さえ上げがさがっていない。	6ページ参照 100ページ参照 ボビンの糸を確認する 10ページ参照
ボタンホールがうまくいかない	1．布に対してぬい目のあらさが合っていない。 2．伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。 3．ボタンホール（BH）切りかえレバーがさがっていない。	56,59,60ページ参照 52ページ参照 53ページ参照
音が高い	1．かまの部分に糸くずが巻きこまれている。 2．送り歯にごみがたまっている。 3．電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音がでる。	100ページ参照 100ページ参照 異常ではありません
ぬいずれがおこる	1．押さえ圧が合っていない。	24ページ参照
糸切りランプが点滅する	1．糸切りを終える前に押さえ上げをあげている。 2．糸くずがたまっている。	糸切りボタンをもう一度押す 100ページ参照
糸切りボタンでうまく糸が切れない	1．使用している糸が太すぎる 2．糸がからまっている	9ページ参照 100ページ参照

※ 静かな部屋で使うと「ウイーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと表示窓と選択ボタンの部分の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

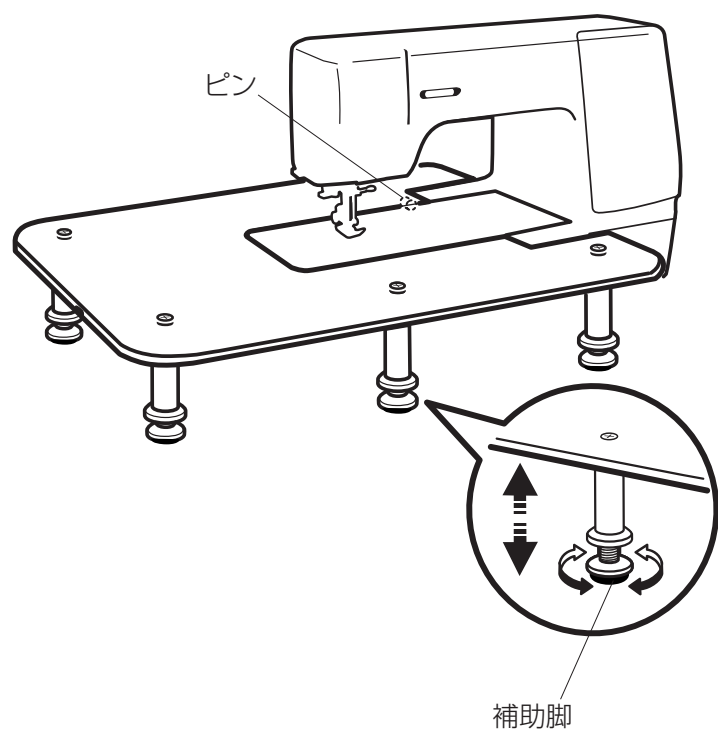
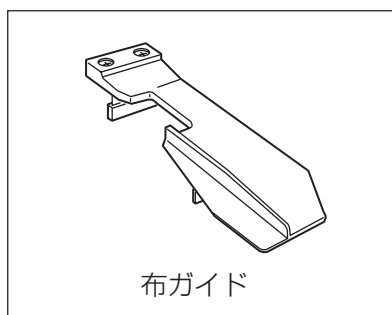
◎オプション品の紹介
（ワイドクリアテーブル、布ガイドセット）

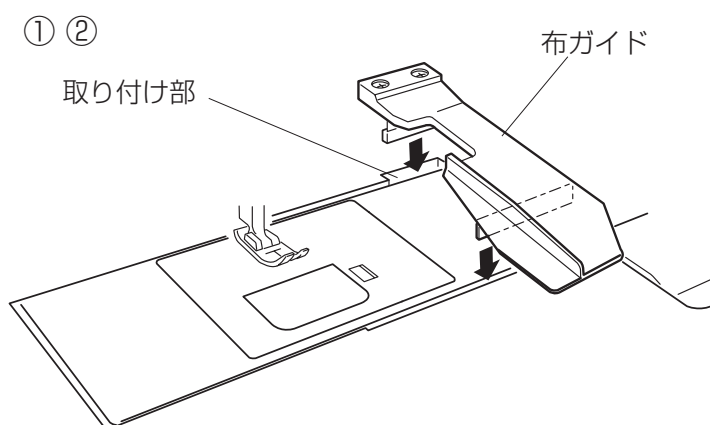
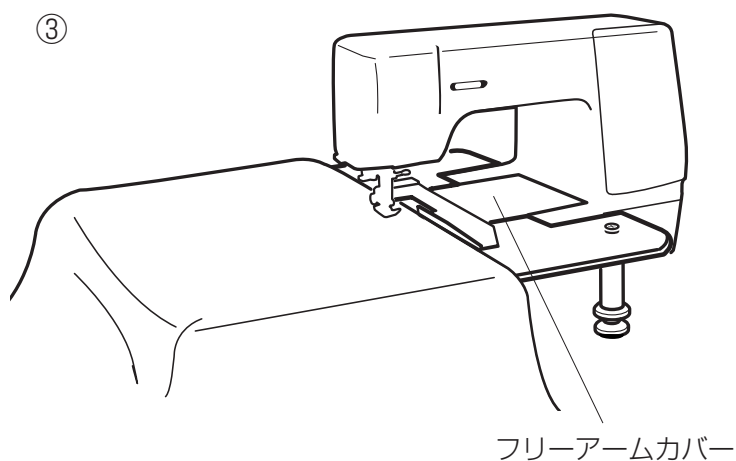
カーテンやテーブルクロス、ワンピースの裾など、大きな布をまっすぐぬうのに便利です。

⚠ 注意
ワイドクリアテーブルをアイロン台等、他の目的で使用しないでください。 **破損やケガの原因**になります。

ワイドクリアテーブルの組み立て

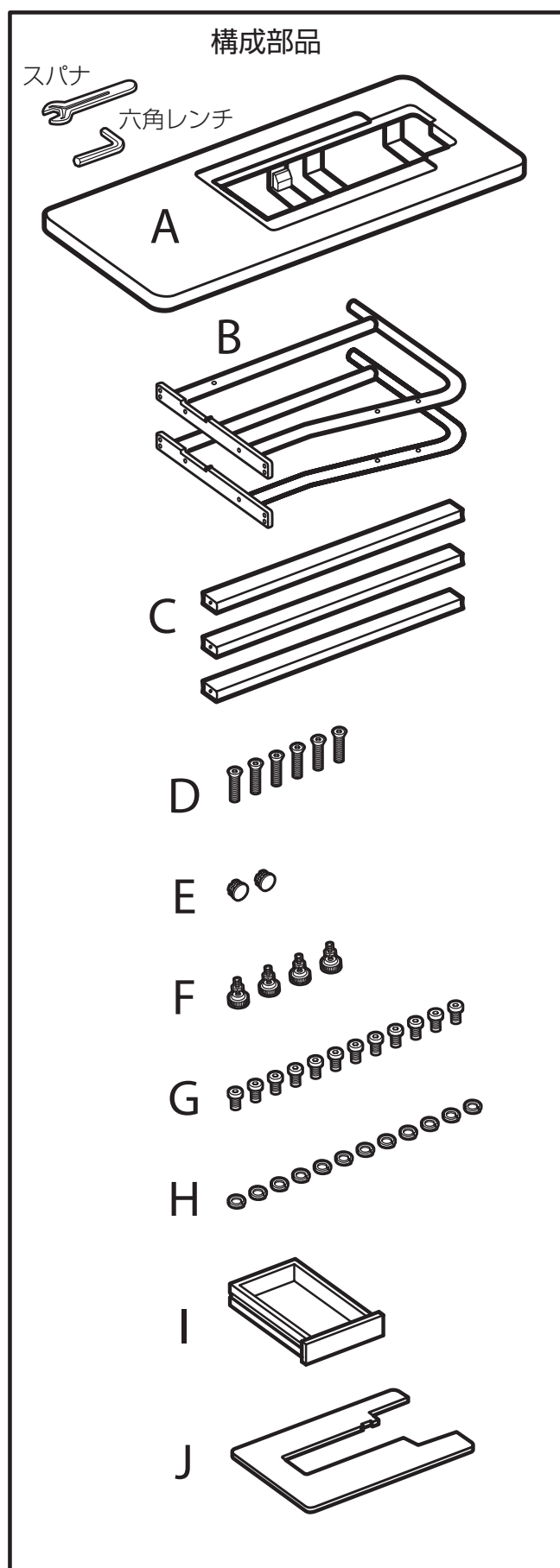
構成部品
本体 .... 1 個
テーブル脚 .... 6 個
皿ねじ .... 6 個
すべり止め .... 6 個

① はく離紙をはがして、テーブル脚にすべり止めを付けます。
② テーブル脚をテーブルの取り付け穴に合わせ、皿ねじで取り付けます。

ミシン本体への取り付け

① テーブルを両手で持ち、ミシン本体にはまるように上からセットします。
※ ミシン本体に付いているピンが、ワイドクリアテーブルの溝に入っていること。
② テーブルの高さを、ミシン本体の高さと同じになるように、補助脚をまわして調節します。

布ガイドは、布端をガイドする事で、布端から等間かくにぬうことができます。
※布ガイドは、ワイドクリアテーブルと一緒に使用します。

布ガイドの取り付け

① 補助テーブルを外して、ワイドクリアテーブルを取り付けます。
② 布ガイドをフリーアームの上から、ワイドクリアテーブルの取り付け部に差し込みます。

③ 布を針板、またはフリーアームカバーのガイドラインに合わせ、布ガイドをスライドさせ、布端に合わせます。

※ 布ガイドを外すときは、布ガイドを右へスライドさせ、ワイドクリアテーブルの取り付け部から外します。

（スタンドテーブルセット）

A テーブル天板　：1 枚

B 脚　：2 個

C フレーム　：3 個

D ねじ（長）　：6 個

E キャップ　：2 個

F アジャスター（ナット含む）　：4 個

G ねじ（短）　：12 個

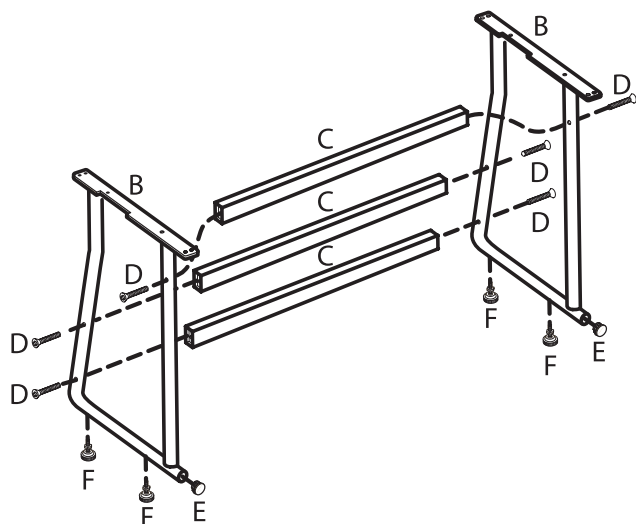
H ばね座金　：12 個

I 引き出し　：1 個

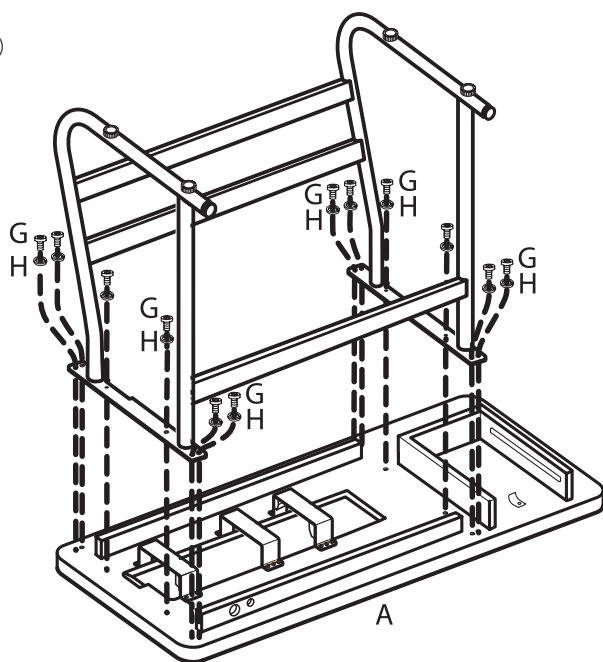
J テーブル中板　：1 枚

※部品がそろっているかご確認ください。

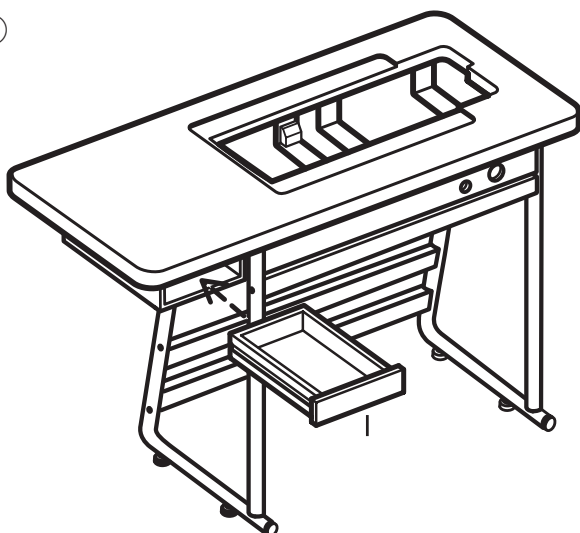
組み立て手順

①

① 脚（B）にフレーム（C）をねじ（長）（D）で左右6箇所をねじ止めし、キャップ（E）とアジャスター（F）を取り付けておきます。

※ ねじは付属の六角レンチでしめてください。

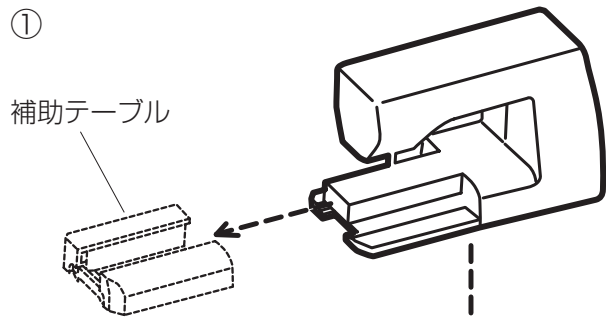
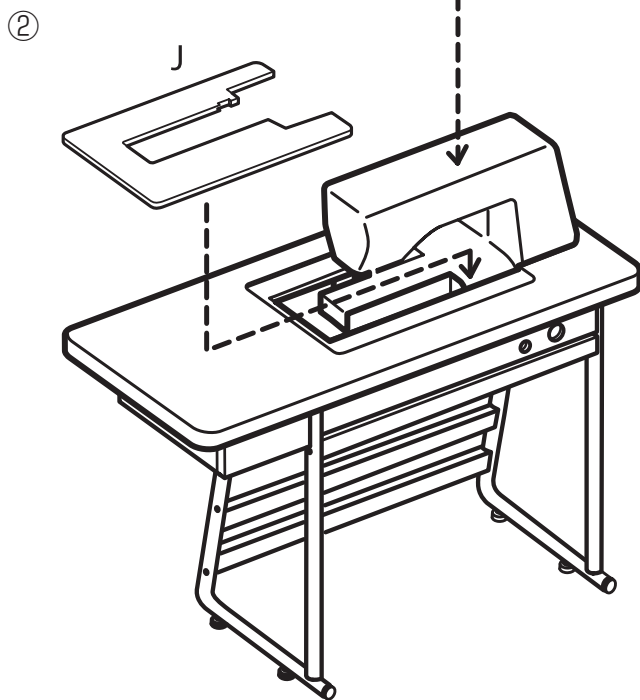
②

② フレームを取り付けた脚をテーブル天板（A）の裏側に、ばね座金（H）をはさんで、ねじ（短）（G）でねじ止めします。

※ ねじは付属の六角レンチでしめてください。

③

③ 引き出し（I）を取り付けます。

※ テーブルのガタツキはアジャスターで調節してください。調節後、付属のスパナでナットをしめ付けて固定してください。

ミシンのセット

① ミシンの補助テーブルを外します。

② テーブル中板（J）を取り付けます。

仕　　　様	
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	50W
外形寸法	幅 51.9cm ×奥行 23.0cm ×高さ 31.6cm
質　　量	12.3kg（本体）
使　用　針	家庭用　HA X 1
最高ぬい速度	毎分 700 針 フットコントローラー使用時　毎分 1000 針（直線模様）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より 1 年間です）およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとでも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
  ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
  1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
  5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社
〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
お客様相談室　TEL. 0120-026-557（フリーダイヤル）
042-661-2600
受付　平日　9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00
（土・日・祝日・年末年始を除く）
ホームページ　http://www.janome.co.jp
メールでのお問い合わせ　customer@gm.janome.co.jp